町田市生涯学習センターのあり方見直し方針

町田市生涯学習センター　キャラクター

マニャミン

マナブゥ

町田市生涯学習センター

《目次》

Ⅰ　あり方見直し方針検討の背景　・・・ 4

Ⅱ　町田市生涯学習センターの沿革　・・・ 5
1　町田市生涯学習センター設立の経緯　・・・ 5
2　社会的背景　・・・ 6
（1）社会教育と生涯学習　・・・ 6
（2）近隣自治体の状況　・・・ 6

Ⅲ　現状分析　・・・ 8
1　施設・地理的環境　・・・ 8
2　利用者数・利用率　・・・ 8
3　事業の実績と課題　・・・ 8
4　市民の声　・・・11
（1）生涯学習センター利用者アンケート結果　・・・11
（2）２０２０年度市政モニターアンケート結果　・・・11
（3）ワークショップ「本音で話そう生涯学習センターと未来のこと」　・・・12

Ⅳ　町田市生涯学習センターの課題　・・・13

Ⅴ　町田市生涯学習センターの目指す姿　・・・14
1　市民がいつでもどこでも学ぶための情報を得ることができる環境がある・・・14
2　多様な市民が地域や時間の制約なく学んでいる　・・・14
3　市民が学んだ知識を自身の生活に活かすことができている　・・・14

Ⅵ　町田市生涯学習センターの目指す姿実現のための事業の見直し　・・・16
1　生涯学習審議会答申　・・・16
2　利用者意見・市民意見　・・・17
3　事業の見直し　・・・18

Ⅶ　効率的・効果的な管理運営体制の検討　・・・20
1　管理運営体制の現状　・・・20
（1）機能と業務内容　・・・20
（2）施設の特性　・・・20
（3）管理運営　・・・20
2　利用者意見・市民意見　・・・21
3　管理運営体制の課題　・・・22
4　生涯学習審議会答申　・・・22
（1）民間活力の導入　・・・22

（２）効果的・効率的な運営を推進する実行体制の整備　・・・22
５　管理運営体制の見直し　・・・22
（１）運営手法の見直し　・・・22
（２）組織体制等の見直し　・・・22

資料編　・・・23

資料１　他自治体における生涯学習に関する施設の設置条例　・・・24

資料２　他自治体における生涯学習センター類似施設の設置状況　・・・26

資料３　他市事例抽出シート　・・・30

資料４　町田市における生涯学習の見取り図　・・・36

資料５　２０２０年度町田市生涯学習センター事業一覧　・・・40

資料６　利用者アンケート結果　・・・46

資料７　市政モニター結果　・・・70

資料８　ワークショップ報告　・・・82

Ⅰ　あり方見直し方針検討の背景

町田市生涯学習センターは、市民の学習活動を総合的に支援する教育機関として、２０１２年４月に開館しました。町田市の中心市街地に位置し、市民の学習活動の拠点として、開館以来、多くの市民に親しまれています。また、子どもから高齢者まで、幅広い世代に学習機会を提供するほか、市内外を問わず様々な学習に関する情報の収集・提供、さらには生涯学習に関する計画の策定など、町田市の生涯学習の推進役を担ってきました。

しかしながら、近年の急激な社会環境の変化は市民の学習環境にも大きな影響を与え、テーマや手法、場所や機会など学びに関するニーズが一層多様化しつつあります。開館以来、町田市生涯学習審議会や社会教育委員の会議、生涯学習センター運営協議会から役割や施策の進め方など、その時々に必要な指摘をいただいてきましたが、十分に対応しきれていない経緯があります。

また、新型コロナウイルス感染症の流行は、デジタル環境の急速な拡大やグローバル化進展の契機となりました。生涯学習分野においては、対面を基本とした従来の学習様式に一石を投じるとともに、急速に進むデジタル化を背景にしたデジタルデバイドなどの社会的課題が浮き彫りになりました。

一方、町田市では行政経営上の課題解決に向けた取組をまとめた「町田市５ヵ年計画１７－２１（町田市経営改革プラン）」や公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための方針となる「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」、さらには、その実行計画である「町田市公共施設再編計画」を策定し、市全体で行政サービスの効率化や公共施設の再編に向けた取組を進めています。

「町田市５ヵ年計画１７－２１（町田市経営改革プラン）」では、２０２１年度までに町田市生涯学習センターの役割や事業内容を改めて見直すとともに、効率的・効果的な管理運営手法を検討し方向性を決定するとしています。

今回の町田市生涯学習センターのあり方見直しにあたっては、第４期町田市生涯学習審議会から「町田市生涯学習センターに求められる役割について」、第５期町田市生涯学習審議会から「今後の町田市生涯学習センターのあり方について」の２つの答申をいただいています。本方針の検討は、これらの答申を踏まえ、現状や課題を分析し、効率的・効果的な管理運営と将来を見据えた町田市生涯学習センターのあり方について整理を行うものです。

なお、「新たな学校づくり推進計画」の策定や「（仮称）町田市町田駅周辺公共施設再編構想」が２０２２年３月に策定される予定であることなど、公共施設の再編に向けた新たな動きがあることから、本方針は概ね１０年間を視野に入れ、現在の立地で運営することを前提とします。今後の公共施設再編計画の検討状況や町田センタービルの状況変化に併せ、必要に応じ見直しを行います。

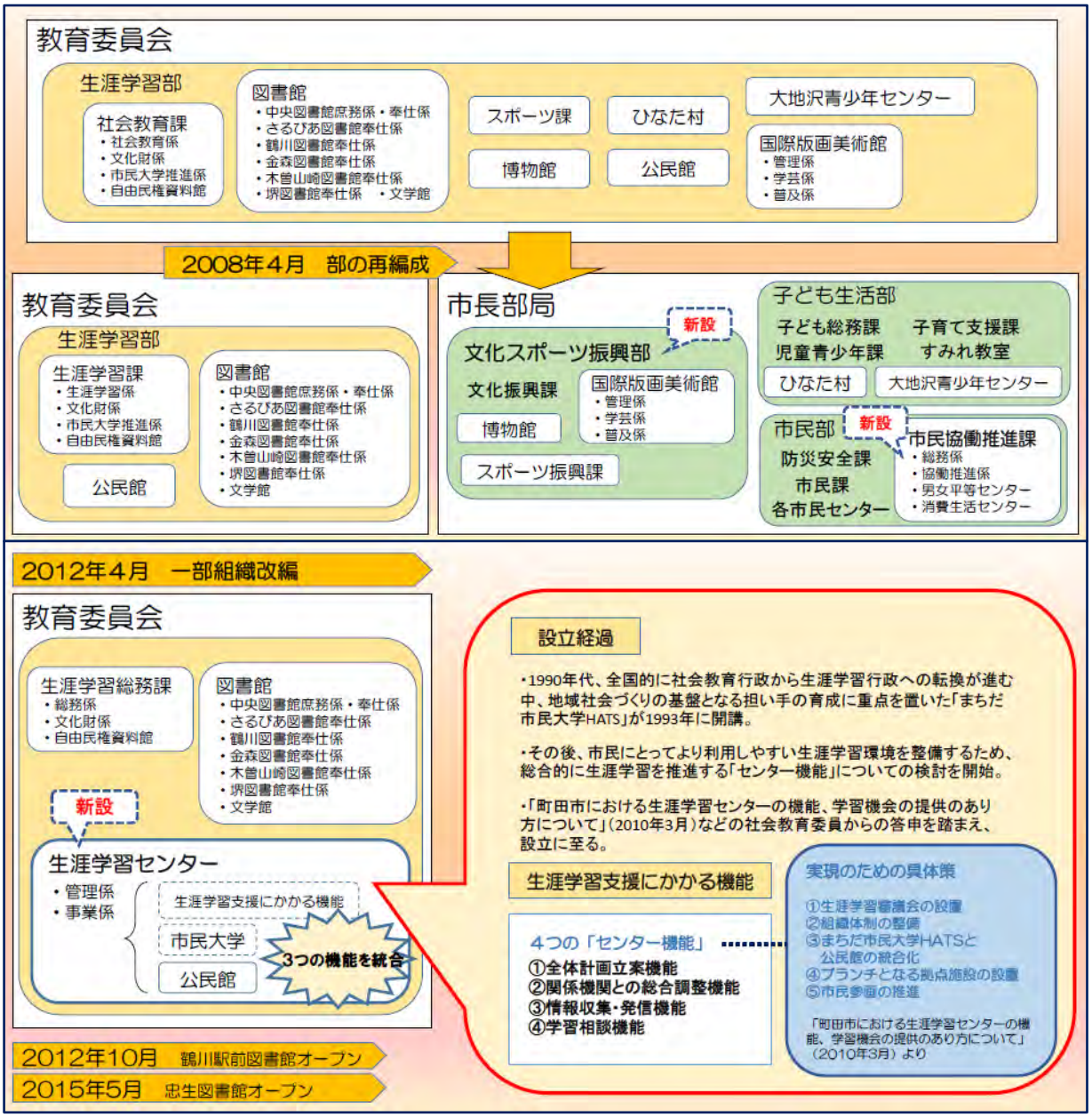
Ⅱ　町田市生涯学習センターの沿革

１　町田市生涯学習センター設立の経緯

２００８年、部の再編成によりスポーツ課、国際版画美術館、博物館、児童青少年施設が教育委員会生涯学習部から市長部局に移管されました。２０１０年には、市民にとってより利用しやすい生涯学習環境を整備することを目指し、総合的に生涯学習を推進するための「センター機能」に関する検討をまとめた「町田市における生涯学習センターの機能、学習機会の提供のあり方について―答申―」が社会教育委員の会議から教育委員会へ提出されました。

この答申に基づき、生涯学習分野で事業実施主体の中心だった「公民館」と「まちだ市民大学ＨＡＴＳ」を統合するとともに、各部署で行っていた「生涯学習支援にかかる機能」である『全体計画立案機能』『関係機関との総合調整機能』『情報収集・発信機能』『学習相談機能』を担う組織として２０１２年、町田市生涯学習センターが設置されました。

【生涯学習組織の改編歴】



２　社会的背景

（１）社会教育と生涯学習

社会教育とは、「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び青年に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）」（社会教育法第２条）を指し、教育活動の一つとして捉えられます。

生涯学習とは、学習者の視点から捉えたもので、社会教育における学習のほか、学校教育や家庭教育における学習、組織的に行わない個人的な学習も含む点で、社会教育より広い活動を対象とする概念です。社会教育活動に利用される社会教育施設には、公民館、図書館、博物館などがあります。

１９９０年の中央教育審議会答申「生涯学習の基盤整備について」で提言された生涯学習センターは都道府県及び市町村に設置されています。市町村の場合、従来の公民館を生涯学習センターに改称している例もあり、センターの機能にも差異があります。また、名称も生涯学習センターに限らず、独自の名称を用いている施設も少なくありません。

生涯学習センターと公民館は生涯学習・社会教育のために設置されている施設で類似した機能を持っていますが、公民館は社会教育法に規定されており、その機能、事業内容が定められています。

一方、生涯学習センターは、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（生涯学習振興法）に基づき設置されていますが、具体的な定義はありません。このため、町田市では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 30 条に基づく「その他の教育機関」として、「町田市生涯学習センター条例」により設置しています。他自治体でも条例でその機能や事業内容が定められている場合が多く、自治体により、事業内容に特色が出ています。

また、生涯学習センターについては、近年の生涯学習・社会教育を取り巻く状況の変更に応じて、教育委員会から首長部局への移管や機能の多様化など変遷を見せています。

（２）近隣自治体の状況

【２４頁：資料１、２６頁：資料２、３０頁：資料３　参照】

２３区については、元々公民館の代わりに区民館を設置してきた経緯があり、現在、公民館を設置している自治体はありません。最近では市民協働や文化振興をキーワードとして生涯学習・社会教育の文言を使わずに集会・学習施設が設置されている事例もあり、江東区や世田谷区、葛飾区のように生涯学習・社会教育を謳った施設がない自治体もあります。

一方、多摩２６市では公民館活動が盛んだったこともあり、公民館を設置している自治体が多数を占めています。ただし、八王子市、立川市、武蔵野市といった人口規模の大きな自治体や三鷹市、府中市といった２３区に近い自治体では生涯学習センターやその他の生涯学習施設へ移行しているところが増えています。

また、神奈川県の横浜市、川崎市、大和市には公民館はなく、相模原市は生涯学習センターと公民館を両方設置しています。

①業務内容

生涯学習センターは生涯学習を総合的に支えるステージであり、活発な生涯学習を推進する役割を担うため様々な学習活動ができる多様なスペースを備えているだけでなく、生涯学習に関わる情報の提供や相談に応じる機能のほか、他の施設とのネットワークを進める機能を持つ施設とされています。

一方、公民館は生涯学習を進める上で、もっとも身近にあるステージであり、地域における生涯学習の拠点として、利用者間の情報交換をしたり、グループ・サークルが会合に利用

したり、さまざまな学級や講座などを受講することができる施設とされています。
　生涯学習センターでは、公民館で通常行われている事業の実施と施設の貸し出しに加え、情報提供や人材バンク的な制度、ＩＣＴなどに力を入れているところが多い傾向にあります。また、「市民向け講座」として、環境、防犯、税など行政の各部署が出前講座を実施している自治体も少なくありません。
　その他、特徴的な取組として、板橋区では、「ｉ-ｙｏｕｔｈ」というダンスや個人学習のできる若者向けスペースを設置しています。武蔵野市の「武蔵野プレイス」も若者向けに利用ルールを緩く設定した区画を設けており、こうした若者層を意識した運営を行っている施設もあります。
　また、横浜市や調布市のように情報提供に特化した運営をしている事例もあります。

②運営形態
　生涯学習センターは首長部局に設置されているケースが少なくありません。また、民間活力の導入は公民館よりも進んでいます。形態としては指定管理者制度を導入している施設が多く、講座事業や管理部門の一部事業委託やネーミングライツを導入している事例も見受けられます。
　一方、指定管理者制度を導入しても一部事業は直営を維持し、施設を管理者から借用する形で実施している事例もあります。

③全体的な傾向
　生涯学習センター及びその類似施設の設置が進み、公民館から生涯学習センターへ移行している状況です。
　生涯学習センターの運営形態は直営・委託・指定管理と様々であり、所管も教育委員会、首長部局それぞれ存在しています。また、一つの流れとして、中野区や武蔵野市、大和市など生涯学習施設の集約による複合化が進んでいます。

④注目すべき事例
　こうした他自治体の取組の中でも、相模原市における大学教育機関の専門性を活かした学習機会提供（相模原市生涯学習センター）や千代田区における民間と行政の強みを活かした事業分担（九段生涯学習館）、板橋区や武蔵野市の若者が使いやすい施設運用（まなぽーと大原、武蔵野プレイス）などが挙げられます。
　また、横浜市では、拠点施設はありませんが、市民センター等を活用した地域展開が行われています。

Ⅲ　現状分析

１　施設・地理的環境

町田市生涯学習センターは中心市街地に立地している町田センタービル内にあり、町田駅から徒歩４分の距離で原町田大通り沿いという、極めて好立地にあります。

町田センタービルは１～５階を民間の商業施設が占め、６～８階を町田市生涯学習センターが占有しています。

定員１５８名のホールのほか、学習室、調理実習室、美術工芸室、視聴覚室、プレイルーム、音楽室、和室、保育室といった様々な目的に使用できる諸室を設置しており、主催事業の会場のほか、市民団体・サークルの活動場所として広く市民に利用されています。

２　利用者数・利用率

こうした立地の良さもあり、２０１９年度まで毎年１５万人以上が利用し利用率も７５％を超え、市の貸出施設としては最も利用率の高い施設となっていました。特に日中は８０％を超える利用率となっていました。

しかし、２０２０年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館や利用制限を行ったため、利用人数・利用率ともに大きく落ち込みました。

【町田市生涯学習センター年度別利用状況】

利用区分		2016	2017	2018	2019	2020
開館日数（日）		347	347	347	319	279
施設貸出	回数（件）	11,838	11,300	11,341	10,422	5,540
	人数（人）	129,571	114,652	118,288	108,502	46,129
生涯学習センター主催事業	回数（件）	1,872	1,903	2,046	2,075	1,709
	人数（人）	41,235	35,473	41,570	43,360	21,535
他部署主催事業	回数（件）	65	99	137	109	29
	人数（人）	3,771	2,397	5,172	4,306	480
全利用回数合計（件）		13,775	13,302	13,524	12,606	7,278
全利用人数合計（人）		174,577	152,522	165,030	156,168	68,144
平均利用率		78%	78%	76%	77%	57%

３　事業の実績と課題

町田市生涯学習センターでは、設立時に付与された『全体計画立案機能』『関係機関との総合調整機能』『情報収集・発信機能』『学習相談機能』の４つの“生涯学習支援にかかる機能”と、前身の公民館及びまちだ市民大学ＨＡＴＳの『講座・イベント事業実施機能』『施設貸出機能』の６つの機能を担っています。これらの機能に基づき、様々な事業を実施していますが、一方で、市内の様々な主体も生涯学習の取組を行っています。

【３６頁：資料４　参照】

①全体計画立案機能

町田市の生涯学習分野の部門計画である「生涯学習推進計画」は、現在、町田市生涯学習センターが策定しています。

しかしながら、「まちだ未来づくりビジョン２０４０」（策定中）、「町田市教育プラン２０１９－２０２３」といった上位計画が存在し、また、「（仮）町田市地域ホッとプラン」や「新・町田市子どもマスタープラン」、「町田市環境マスタープラン」など他部署の計画においても

関連項目があります。これら他の計画との調整も必要となっており、かつ、生涯学習にかかる事業計画を審議する諮問機関である「町田市生涯学習審議会」の事務局は部の総務担当課である生涯学習総務課で担っています。生涯学習総務課との役割の整理について、検討が必要です。

②関係機関との総合調整機能

公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム（以下、「さがまちコンソーシアム」という。）との連携を軸に市内・周辺の大学等の教育機関との連携を図っていますが、庁内他部署でも「まちだ○ごと大作戦」や各種ワークショップの開催など市民・団体との連携・協働が盛んになっています。近年では、特に子ども生活部の「町田創造プロジェクト（ＭＳＰ）」に代表される若者意見を反映させる仕組みに注目が集まっています。

庁外の取組として、町田市社会福祉協議会を中心にした福祉分野のネットワーク化、また、市民協働推進課が２０１９年に設立した「町田市地域活動サポートオフィス」による地域活動のコーディネート役としての活動などが挙げられます。

町田市生涯学習センターでは様々な生涯学習機会を提供していますが、多岐に渡る生涯学習にかかる取組を全て一つの施設で行うことは現実的ではありません。市内では多様な担い手が生涯学習分野で活動をしており、これら担い手の連携・調整が重要度を増していくと考えられます。

町田市生涯学習センターで全てを担おうとするのではなく、これら担い手の取組を大きく捉え、町田市の生涯学習を考えていくことが必要です。

③情報収集・発信機能

生涯学習ＮＡＶＩや公式ホームページ、Ｔｗｉｔｔｅｒを中心に学習情報を発信しているほか、施設内に情報提供コーナーを設け、ポスター掲示やチラシの配布による情報提供を行っています。

また、図書館や町田市民文学館、国際版画美術館や、町田市民ホール、さらに、こどもセンターなど様々な施設で、同様に情報提供を行っています。

生涯学習ＮＡＶＩは、子育て情報、文化情報など分野ごとに集約して情報提供を行っていますが、認知度が高いとはいえません。

庁外組織や民間の情報提供も、施設単位、機関・団体単位で行われているものが主流となっています。

デジタル化の急速な進展により、情報提供の手法としてデジタル技術の更なる活用が求められています。また、施設等主催者単位で発信している生涯学習情報を一元的に入手できる仕組みも必要となっています。

④学習相談機能

学習相談窓口を設け、学びに関する相談に対応しているほか、市民大学や市民提案型事業「講座づくり☆まちチャレ」といった課題解決型の講座を実施しています。また、学びの成果を活かすため「生涯学習ボランティアバンク」という制度を運用しています。

庁内他部署でも福祉部門による介護者養成、子育て部門による保育者養成といった部門ごとの人材育成や各種相談窓口が設けられているほか、環境、防犯、消費生活といった分野では出前講座も行われています。

庁外でも社会福祉協議会や町田新産業創造センター、町田市介護人材開発センターなど分野毎に人材育成の取組が行われています。

ボランティアについては、「まちだサポーターズ」や「学校支援ボランティア」、庁外では社会福祉協議会の「町田ボランティアセンター」といった制度があります。

学びに関するニーズは多様化しており、相談には学びに関する広範な知識とコンシェル

ジュ的なきめ細かい対応が求められています。
一方、学習成果を地域で活かすためには、指導者の情報提供だけではなく、指導者と学習者のマッチングに力を入れていく必要があります。また、学びの輪の拡充のためには、現在、庁内外の複数組織がそれぞれ独自に運営している学びに関するボランティア登録制度について、情報共有などの連携も求められています。

⑤講座・イベント事業実施機能

【４０頁：資料５　参照】

２０２０年度は新型コロナウイルスの影響で、６７件の事業の実施に留まっていますが、例年９０件前後の事業を主催してきました。

内容もコンサートや趣味・教養系の講座から、市民大学や市民提案型事業「講座づくり☆まちチャレ」といった課題解決型講座、高齢者向けのことぶき大学、障がいを持った方向けの障がい者青年学級、子育て世代向けの家庭教育学級、義務教育相当の学び直しの機会を提供する「まなびテラス」など多岐に渡っています。

一方、庁内他部署でもそれぞれの対象向けに講座を実施しているほか、学習の機会を提供しています。

こうした状況の中、例えば「子どもの読み聞かせ」といったテーマでは、「子ども」を担当している子ども生活部と「読書」を担当している図書館がそれぞれで実施するといった事業の重複も生じています。

逆に、事業数が少ない分野もあります。「デジタルデバイド」などの新たに認識された社会的課題です。

庁外に目を向けると、町田市社会福祉協議会や町田国際交流センター、町田市シルバー人材センターなどの庁外組織や市民団体の取組には、「外国人向けの学習」、「ひきこもり」、「不登校」、「高齢者向けデジタルデバイド」などに対応したものがあります。また、「町田産業創造センター」や「ハローワーク」、「東京しごとセンター」など個別の経済活動に特化した組織もあります。

講座・イベント事業の実施には多くの人的リソースが割かれるため、実施にあたっては、他部署・他機関との重複を整理し、既に多数の取組が行われている分野は情報収集・提供に主眼を置くといった棲み分けが必要です。

⑥施設貸出機能

町田市では施設案内・予約システムにより、「集会・学習施設」、「文化施設」、「スポーツ施設」の３グループに分けて統一的な施設貸出を行っています。町田市生涯学習センターは市民センター、コミュニティセンターなどが属する「集会・学習施設」として最高の利用率で、例年７５％を超える利用率があります。

このほか学校開放として、特別教室開放を４校、校庭・体育館等のスポーツ開放を５４校で実施しています。特別教室開放は、例年１０％程度の低い利用率に留まっています。

また、市内では施設貸出以外に「場の提供」として「子どもセンター」・「子どもクラブ」などの子ども施設など、占有はできないものの対象者が自由に使える施設もあります。民間でも独自に施設の貸し出しを行っていたり、中心市街地ではレンタルスペースもあります。

施設貸出においては、引き続き中心市街地の生涯学習拠点として、市民向け施設貸出の拡充に努めるとともに、施設貸出の飽和を避けるため、他の集会・学習施設の紹介も行っていく必要があります。

また、現在の施設名称については、「町田市生涯学習センター」と、貸出施設部分の「まちだ中央公民館」という２つの名称が混在しており、市民から見てわかりにくさが生じています。

４　市民の声

町田市生涯学習センターのあり方見直しを検討するにあたり、町田市生涯学習センターでは２０２０年度から、町田市生涯学習センター利用者アンケート（以下、「利用者アンケート」と言う。）、町田市市政モニター（以下、「市政モニター」と言う。）、ワークショップといった手法で市民意見の聴取を行ってきました。

（1）利用者アンケート結果

【４６頁：資料６　参照】

２０２０年１０月に実施したアンケートで、対象は町田市生涯学習センター利用者、図書館・文学館利用者、市民センター利用者です。市民センター利用者には一部行政窓口利用者も含まれますが、基本的に集会・学習施設を利用している方を対象としたもので、５３７件の回答がありました。

【主な傾向】

- ◆８割の方が町田市生涯学習センターを知っていて、６割が利用したことがある。町田市生涯学習センターから離れた施設の利用者ほど、認知率、利用率は低下していく。
- ◆利用内容は事業参加と施設貸出・フリースペースの利用が中心である。
- ◆利用頻度は月１～数回利用する方が多数を占めている。
- ◆利用者の６割を７０歳以上が占めている。回答者も７割を６０歳以上が占めている。
- ◆立地の良さと講座・イベント内容、貸出施設設備が評価されている。
- ◆今後の重点施策として、入門的講座、支援の必要な方向けの学習支援、地域での課題解決に繋がる講座の実施要望が多くあった。
- ◆運営形態は、サービスが低下しないのであれば市でも民間でも運営主体に拘らない意見が最多となっている。
- ◆自由意見の記入は１２１件あり、市民ニーズを取り入れた事業実施、講座の地域展開、施設の認知度向上、デジタル化への対応を要望する声が多くあった。

（2）市政モニター結果

【７０頁：資料７　参照】

２０２０年１２月に実施したモニターアンケートで、対象は町田市の人口比で性別、年齢別に抽出した２００人です。町田市生涯学習センターに関するモニターアンケートでは、１５４件の回答がありました。町田市生涯学習センターに関するアンケートは、利用者アンケートと同内容で実施しました。

【主な傾向】

- ◆６割の方が町田市生涯学習センターを知っているが、利用したことのある方は２割。
- ◆利用頻度も数年に１回以下が最多となっている。
- ◆立地の良さと講座・イベント内容の評価が高いのは利用者アンケートと同様だが、商業施設との複合施設である点や情報が集積している点も評価されている。
- ◆今後の重点施策として、入門的講座や支援の必要な方向けの学習支援の実施要望が多いのは利用者アンケートと同様だが、オンライン化の実施要望も多くあった。
- ◆運営形態は、サービスの向上を前提に民間が運営した方がよいが最多となっている。
- ◆回答者は２０歳～６０歳が６５％、６０歳以上が３５％。
- ◆自由意見の記入は７１件あり、講座内容の提案の他、施設のＰＲ・認知度の向上、高齢者施設のイメージ、同種施設の地元設置などの意見・要望が多くあった。他に仕事に役立つ講座の実施や講座受講者の市への就職など実益のある講座実施を望む声もあった。

（3）ワークショップ

【８２頁：資料８　参照】

２０２１年２月から４月にかけて、「本音で話そう生涯学習センターと未来のこと」と題し、若者層に特化したワークショップを３回実施しました。

「若者の実際の生活に即した課題」として例えば、デジタル、メイク、性教育、一人暮らし、ゲーム、お金、若者が利用できる行政サービスについてなど、具体的・実利的な講座の提案も多くありました。

また、フリーWi－Fi 等デジタル環境の整備は喫緊の課題ですが、世代に関わらず、顔の見える関係性、アナログ的な手法も必要との声がありました。

①町田創造プロジェクト（ＭＳＰ）

町田市内在住、在学、在勤の高校生世代からなる若者グループで、子どもセンターの利用者を中心に結成され、若者の意見を市政に反映させるための活動を行っています。参加者は、市内の高校生・大学生世代５人です。

【主な意見】

◆若者向けオンライン・パソコン講座を開催してほしい。デジタルデバイドの問題は高齢者の問題と思われがちだが、スマホ世代の若年層にも発生している。
◆性教育講座・一人暮らし講座・メイク講座など、学校で教えてくれないが社会で必要な講座を開催してほしい。学校で真面目にやっていた子ほどギャップに苦しんでいる。
◆若者にとって、もはや電話は最もポピュラーな通信手段ではなくなっている。
◆若者もデジタル一辺倒ではなく、信頼できる人との直接対話を求めている。

②さがまち学生Ｃｌｕｂ

町田市・相模原市に所在する大学の大学生を中心とした「地域活性化」を目的とした学生団体で、さがまちコンソ―シアムが事務局を務めており、例年、町田市生涯学習センターの学生活動報告会にも参加しています。参加者は、地域の大学生５人です。

【主な意見】

◆子どもセンター・子どもクラブは１８歳までの利用なので、１９歳以上の若者が学習等で利用できる無料施設は市内では図書館と生涯学習センターしかない。
◆施設の認知度の低さと高齢者に偏重しているイメージがある。
◆イメージが堅い。若者向けにはある程度のゆるさや軽さが必要だと思う。
◆若者の集まる条件として、Ｗｉ－Ｆｉ環境、自由に使える電源、カフェ、長居できるスペースが必要だと思う。
◆子どもや学生への情報提供は、学校を通じた紙媒体の配布の方が効果的なのではないか。
◆「出会いが生まれる場」への需要は若者にもあるが、単に「出会う」のではなく、「一つの目的のために集うことで出会う」ことを要望している。
◆お笑い芸人ライブやカードゲームなど、若者が興味のある講座を実施してほしい。

③へりぽーと

法政大学ボランティアセンター出身者を中心とする地域活動グループで学生・社会人が半々くらいの割合で在席しています。町田市生涯学習センターの学生活動報告会にも参加していますが、公的機関の関与がない純粋な若者の市民団体です。参加者は、地域の大学生・社会人６人です。

【主な意見】
◆利用者が高齢者に偏重している。
◆学生で市の施設の催しに参加していると「変わっている」といわれる。
◆無料のフリースペースの存在は重要。Ｗｉ－Ｆｉ環境の整備などフリースペースを充実してほしい。
◆町田おすすめポイント講座、お金の講座、若者向け支援講座など若者にとって実利的な講座を開催してほしい。
◆顔見知りがいれば、講座に出てみたいという思いはある。
◆単なる世代間の交流ではなく、同じ価値観を持った人たちと繋がりたい。
◆活動報告会など学生側から発表する機会だけでなく、若者が学ぶ機会も欲しい。

Ⅳ　町田市生涯学習センターの課題

町田市生涯学習センターの現状及び市民意見、町田市生涯学習審議会答申を踏まえ、町田市生涯学習センターの課題を次の６つに整理しました。

町田市生涯学習センターは、まちだ中央公民館を核にセンター機能を担うための施設として、組織を再編し設立したものですが、以下の課題は「公民館」から「生涯学習センター」への移行が十分ではないことを示しています。

「公民館」に留まらず「生涯学習センター」の使命を果たすことが求められています。

１　生涯学習支援にかかる総合調整機能の役割をしっかり担うための事業の整理を行う必要がある。

２　実施事業だけではなく、関係機関を含めた生涯学習情報を収集・整理し、多様な発信ができるようなハブ機能を担う必要がある。

３　学びに出会う機会を増やすため、デジタル化の推進やアウトリーチ事業のさらなる展開など、多様な学習機会を充実させる必要がある。

４　学びの入口を提供する施設として認知度を高めることで、多くの市民に親しみを持ってもらう必要がある。

５　市民が豊かな人生を送ることができるよう、社会的課題の解消につながる学びの機会を提供する必要がある。

６　市民が、学んだ知識を活かすことができる機会を充実させる必要がある。

Ⅴ　町田市生涯学習センターの目指す姿

「まちだ未来づくりビジョン２０４０」（策定中）に基づき、また、第５期町田市生涯学習審議会答申「今後の町田市生涯学習センターのあり方について」でまとめていただいたことから、町田市生涯学習センターの運営理念を次のように定めます。

運営理念：学びに出会う機会と学習成果をいかす機会を提供するための中核施設を担います

町田市生涯学習センターの取組だけでなく、市内の生涯学習活動全体を視野に入れて学びの循環を捉え、市民の活動の輪を広げ、いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちを実現します。

そして、この運営理念を実現するため、次の３つを目指す姿として定めます。

１　市民がいつでもどこでも学ぶための情報を得ることができる環境がある

生涯学習分野では自治体や教育機関、民間が様々な取組を行っています。行政の提供する学びは敷居が低い反面、専門性では教育機関や民間の取組に劣る傾向があります。行政の提供する学びは学びに出会うための「きっかけづくり」を重視していきます。

学びに出会い、「学ぶ」楽しさを知ってもらった方には、教育機関や民間が実施する多彩で専門的な学びを紹介していきます。このため、民間も含めた生涯学習情報の収集・提供を行う生涯学習ハブ機能を強化していきます

一方で、障がいや経済状況など様々な事由で、「学ぶ」ことから取り残されている方々もいます。急速に進むデジタル化や外国人住民の増加など社会は複雑化しており、社会のインフラとして「学び」が必要な場面は増えています。誰もが社会から取り残されないための「学び」の機会を提供していきます。

２　多様な市民が地域や時間の制約なく学んでいる

「高齢者の施設」「特定の人達が使う施設」といったイメージを払拭し、世代や性別に関係なく様々な市民に学びの拠点として活用される施設を目指します。

また、市内に生涯学習センターが１館であるため、町田市生涯学習センターから離れた地域では施設の認知度も低い傾向があります。しかし、市内には市民センター・コミュニティセンターを中心とする集会・学習施設や、生涯学習施設である図書館も各地域に展開されています。「町田市市民センター等の未来ビジョン」では学びの拠点としての機能も謳われており、こうした地域施設を活用し、講座・イベント事業の地域展開を増やすことにより、地域での学習機会の増加に努めます。

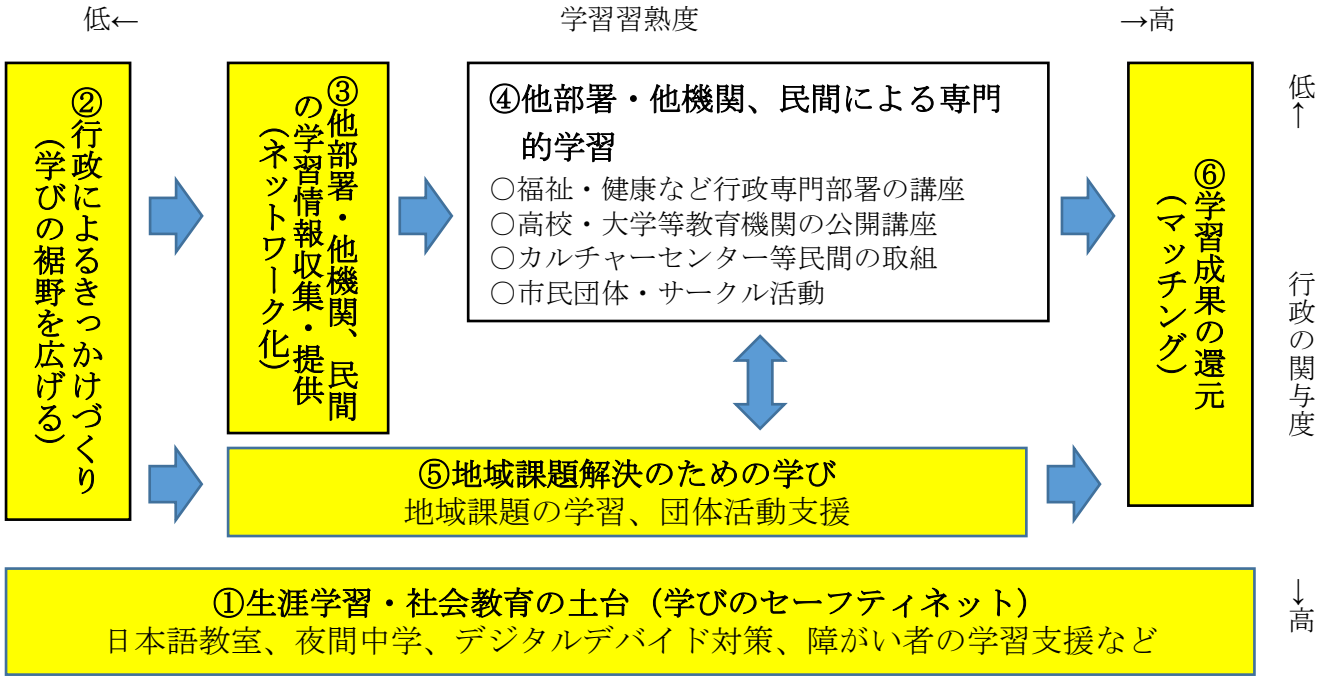
このほか、講座のオンライン化などデジタル技術の活用や、町田市生涯学習センター以外の事業の情報提供により、市民がいつでもどこでも学べる環境を構築します。

施設貸出についても、事業の整理やアウトリーチの推進により、町田市生涯学習センター施設における市民利用枠の拡充に努めるとともに、アウトリーチ会場となる集会・学習施設のＰＲを行い、市民の学習活動についても地域展開の機運を醸成します。

３　市民が学んだ知識を自身の生活に活かすことができている

市民が学んだ成果を活かし、より充実した人生設計を行えるよう、必要な知識や技能を習得できる機会を提供します。また、学びを深めた方と学びたい方のマッチングを重視し、学んだ成果をいかせる機会を拡充することで、市民同士の学び合いの輪を広げます。

《町田市生涯学習センターが提供する“学び”の概念図》



Ⅵ　町田市生涯学習センターの目指す姿実現のための事業の見直し

目指す姿の実現のため、今後「(仮) 町田市生涯学習センターあり方見直し方針実行計画」を策定し、具体的な事業の整理・見直しを行います。見直しにあたっては、これまでの答申や市民意見を踏まえ、以下の方向性で取り組むものとします。

１　生涯学習審議会答申

（１）第４期町田市生涯学習審議会答申「町田市生涯学習センターに求められる役割について」

２０２０年３月の第４期町田市生涯学習審議会答申では、町田市生涯学習センターの役割として、以下の４点が挙げられました。

①誰もが学べる環境をつくる

市民一人ひとりが自分にあった学習活動を行える環境を整備することが、生涯学習行政が果たすべき最も重要な役割である。

②課題解決を支援する

時代と共に複雑化・多様化する地域課題を解決するためには、市民一人ひとりの学びや地域住民同士の学び合いが不可欠である。そのため、地域課題を教育や学習の視点で捉え直し、解決に向けた学習を支援していく必要がある。

③学びの裾野を広げる

生涯学習は、日常生活の充実や心の豊かさにつながることが期待できるほか、生活上の課題解決や地域づくりなどの場面でも必要不可欠である。そのため、より多くの人の生涯学習への関心を高め、学ぶ楽しさを伝えていくことで、一人ひとりの継続的な学習につなげていくことが重要である。

④学びのネットワークづくりを促進する

市民の学習に関するニーズは多様化しており、それらの全てに町田市生涯学習センターで応えることはできない。したがって、市民への学習支援をより効果的に展開するためには、町田市生涯学習センターが様々な主体や取組をつなぐ役割を担う必要がある。

（２）第５期町田市生涯学習審議会答申「今後の町田市生涯学習センターのあり方について」

２０２１年１１月の第５期町田市生涯学習審議会答申では、町田市生涯学習センターが上記の４つの役割を担い、将来を見据えながら時代の変化に対応していけるよう、目指すべき姿や効率的・効果的な管理運営手法について下記の４項目にまとめられています。

①事業の整理、及びリソースの再配分

今後重点を置く事業を明確にしたうえで、事業の整理を行い、生み出したリソース を再配分すること。全体コーディネートについて再認識すること。”ハブ機能”をしっかりと担うこと。

②デジタル技術の活用と地域の学びの推進

場所や時間の制約なく学べる環境を充実させるため、積極的にデジタル化を推進すること。学ぶことに支援を必要としている方に向けて、身近な地域での学びを提供するなどの配慮をすること。

③社会的課題への迅速な対応

新たな社会的課題に迅速に対応するため、事業内容の精査や新設及び廃止の検討を確実に行う体制を整えること。

④名称の整理

町田市生涯学習センターが設立された際に重点を置くべきとされた「生涯学習支援にかかる機能」の充実を確実に行うことを示すため、名称の整理を行うこと。認知度の向上及び施設への愛着の形成につながるよう工夫すること。

２　利用者意見・市民意見

「Ⅲ－４　市民の声」でまとめたとおり、多くの意見が寄せられました。事業の見直しに関する意見を抜粋します。

◆何をしているのかわからないというのが率直な感想。ＨＰのイベント情報は、一目見てパッと分かるような記載でもないので、もう少し分かりやすい方がいい。
◆子育て世代には町田駅まで行くのは大変で利用しようと思わない。規模は小さくていいから分室のようなものが複数あると利用しやすい。オンラインを活用して家でイベントや学習に参加できるようになったら嬉しい！！
◆町田市生涯学習センターのＨＰは、固いイメージで怖そう。ポップに見える化することが必要。
◆高齢者を対象とするサービスも残しつつ、既存のものを峻別した上で、より幅広い世代に訴求するサービスを検討しなくては良い取組も先細るだけ。
◆地域活性化を主眼として、リーダーの講演を期待したい。そこから人とのネットワークへ発展させて、より多くの活動へと結びつけてほしい。
◆限られた人達しか利用していないように見える。
◆学校で教えてくれないけど、社会人に必要なことは多いので、そういうことを聞ける場がほしい。一人暮らしやパソコンの使い方、化粧はその一例。
◆町田市生涯学習センターは『出会いが生まれる場』であって欲しい。
◆名称だけで何が出来る施設か想像がつかない。生涯学習センターでは、高齢者向けのカルチャーセンターに聞こえる。思いきって全く違う名前にし、その施設の説明をしっかりし、市民に浸透させた方が、全世代が利用する気になる。

３　事業の見直し

生涯学習審議会の答申やいただいた市民意見を踏まえ、「目指す姿を実現する」ために、以下の点で各事業の整理・見直しを実施します。これらの見直しは、今後策定する「(仮)町田市生涯学習センターあり方見直し方針実行計画」として、町田市生涯学習センター運営協議会の意見を伺いながら具体的内容を検討していきます。

目指す姿①「市民がいつでもどこでも学ぶための情報を得ることができる環境がある」を叶えるための取組

○機能や事業の見直しと再配分

学びに出会うための「きっかけづくり」に重点を置いた事業展開を見据え、生涯学習センターが担うべき機能や事業を見直し、整理します。その上で、設立時に付与された「生涯学習支援にかかる機能」を再確認し、この機能を担うための予算や人などのリソースを再配分します。

○生涯学習情報の体系化・ネットワークの構築

行政だけでなく、大学等の教育機関や公益団体、市民団体や民間企業など多様な主体により展開されている市全域の生涯学習の全体像を把握します。そのうえで、生涯学習情報の体系化と関係機関とのネットワーク構築を進めることでハブ機能を強化し、市民が学ぶための環境づくりを行います。

○情報発信機能におけるデジタル化の推進

体系化した情報の発信にあたっては、デジタル化を推進し、いつでも、どこでも、学ぶための情報を得られるようにします。

○学習相談におけるコンシェルジュ的機能の強化

体系化した情報を基に、コンシェルジュ的なきめ細かい学習相談を行います。

○要支援者への学習支援

誰もが平等に学べる環境をつくるため、学びに支援が必要な方向けの学習支援も継続して実施していきます。

目指す姿②「多様な市民が地域や時間の制約なく、学んでいる」を叶えるための取組

○若者層や働く世代向けの取組の強化

若者層や働く世代を意識した講座展開や、施設貸出における若者向け平日夜間減免制度の導入などの利用促進策を展開するとともに若者層に向けた情報提供・アプローチを実施します。

○地域や時間の制約なく学べる環境づくり

市民センター、図書館等を利用した講座のアウトリーチの推進やオンライン化の推進により、地域や時間の制約なく学べる環境づくりを行います。

また、アウトリーチの推進により、会場となる地域施設の認知度向上を図り、各地域における市民の学習活動の活発化を目指します。さらに、活動拠点を地域に移す市民が増えることで、生涯学習センターの貸出枠を生み出し、学習活動する市民の増加につなげます。

○施設名の一本化による認知度向上

施設名をわかりやすく、愛着の持てる名称に一本化することで、幅広い市民からの認知度向上を目指します。

目指す姿③「市民が学んだ知識を自身の生活に活かすことができている」を叶えるための取組

○社会的課題の解消につながる学びの提供

近年、急激に社会のデジタル化が進んだことによりデジタルデバイドという課題が顕著化しましたが、他にも環境問題、貧困問題、少子高齢化、介護・福祉、子育て支援、地域おこし、外国籍市民の増加など様々な社会的課題があります。

生涯学習センターが課題に関する学習の機会を提供していくことで、解消に向けた取組を支援していきます。

○学習成果を活かせる場の拡充

生涯学習ボランティアバンクへのマッチング機能の強化や主催事業のサポーター制度など、学習成果を活かせる場の拡充を図り、市民が学んだことを活かせる取組を進めます。

○団体支援・育成の仕組みの再構築

団体支援・育成の仕組みを見直し、公平でわかりやすい仕組みを構築します。

Ⅶ　効率的・効果的な管理運営体制の検討

「Ⅵ　町田市生涯学習センターの役割や事業内容の見直し」では、主に町田市生涯学習センターの機能や目指す姿、事業内容について言及してきましたが、本章では目指す姿を効率的・効果的に実現するための施設の管理運営体制について言及します。

「町田市５ヵ年計画１７－２１（町田市経営改革プラン）」では、公共施設のサービス改革として、担うべき役割、実施すべき事業、管理運営手法など公共施設における行政サービスのあり方を見直し、機能・コストを最適化し、持続可能な行政経営を推進することが求められています。町田市生涯学習センターについても、役割や事業内容の検討及び民間活力導入を含めた、効率的・効果的な管理運営手法を検討することとしています。

１　管理運営体制の現状

（１）機能と業務内容

前述のとおり、町田市生涯学習センターは、町田市の生涯学習の中心的役割を果たす施設として、まちだ中央公民館が従来行っていた講座･イベント事業の実施及び施設貸出に加え、「生涯学習支援にかかる機能」である『１全体計画立案機能』『２関係機関との総合調整機能』『３情報収集・発信機能』『４学習相談機能』を担う組織として設立されています。

しかしながら、「まちだ未来づくりビジョン２０４０」（策定中）、「町田市教育プラン２０１９－２０２３」といった上位計画との調整や生涯学習にかかる総務機能が教育委員会事務局にあることもあり、出先機関である町田市生涯学習センターが全体計画立案機能を持つ難しさも明らかになってきました。

また、実施機関を母体としているため、事業内容が講座・イベント事業に偏重しており、関係機関との総合調整や情報収集・発信、学習相談といった生涯学習支援機能が十分に発揮できていない点も、町田市生涯学習審議会などでご意見をいただいているところです。

生涯学習における施策の展開には、一定の専門性が要求されます。また、地域の生涯学習情報・資源の把握・活用の観点からは、専門性のある集団が継続して事業を担うことで、市民サービスの向上につながります。専門性・継続性の点で、現在の異動を前提とした市の職員体制、単年度任用を基本とする会計年度任用職員制度では効果的ではありません。

（２）施設の特性

町田市生涯学習センターは中心市街地の好立地にあり、施設規模も他市の同種施設と比較して遜色のない規模があります。

一方で、民間との複合施設であるため、運営に際し町田センタービル管理組合を通じ共同所有者との調整が必要になるという特殊性があります。

（３）管理運営

現在、町田市生涯学習センターは、メンテナンスのため月１日の休館日を設けていますが、それ以外の日は９時から２２時まで毎日開館しています（年末年始を除く）。

管理運営は市の直営で行っており、施設貸出受付業務等一部業務を民間に委託しています。また、建物全体の管理運営は町田センタービル管理組合が行っており、町田市も理事としてビル全体の管理運営に関わっています。

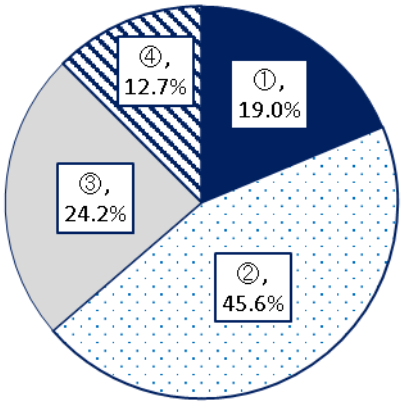
２　利用者意見・市民意見

利用者アンケートでは「サービスが低下しないなら市でも民間でもいい」が４５．６％で、「市が直接、管理運営した方がいい」が２４．２％でした。市政モニターでは「サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい」が４１．６％、「サービスが低下しないなら市でも民間でもいい」が３７％でした。

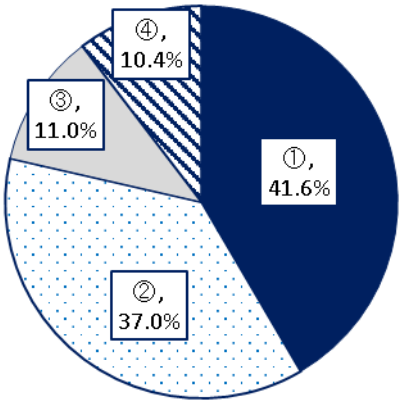
自由意見では、「市も一定の関与を維持しつつ民間に任せた方が良い。」、「行政と民間が相互に補えるサービスを提供してほしい」（利用者アンケート）「民間に任せて上手に宣伝、運営してもらった方がいい」、「民間に管理させることで時代に沿った新たなサービスを期待」、「民間企業、大学ともどんどん協力して、内容を充実していただきたい」（市政モニター）といった意見や、「市民・行政・事業者が協働して町田らしい新たな価値を創造できる仕組み検討すべき」（審議会意見）など施設運営に市、地域・市民、民間の協働を求める声がありました。

一方で、「片寄った事業や有料事業が増える」、「民間に移行して使用料が上がるなら市で運営が良い」、「市民の学習は直営、専門従事者をおいて、しっかり提供してほしい」（利用者アンケート）などの意見もありました。

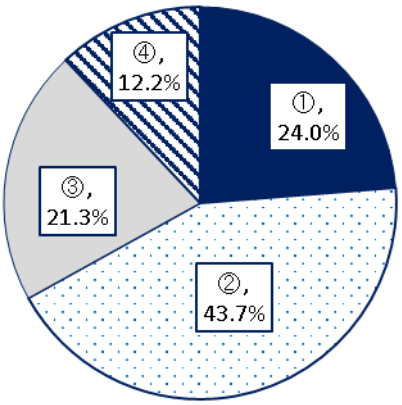
＜利用者アンケート結果＞



＜市政モニター結果＞



＜利用者アンケート及び市政モニター結果合計＞



＜凡例＞
①サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい
②サービスが低下しないなら市でも民間でもいい
③市が直接、管理運営した方がいい
④分からない・未回答

３　管理運営体制の課題

管理運営体制の現状、利用者意見、市民意見を踏まえ、管理運営体制の課題を次の２つに整理しました。

（１）生涯学習に関する専門性を備え、柔軟な勤務体制や臨機応変な支出が可能な運営を導入する必要がある

（２）見直しを進めるための実行体制を整える必要がある

４　生涯学習審議会答申

（１）民間活力の導入

“行政でなければ担えない機能”と“民間のノウハウが活かせる機能”を整理した上で、後者については民間活力を導入していくこと。

＜民間活力導入の留意点＞

◆町田市生涯学習センターの役割を十分に理解できる事業者を選定すること。

◆民間のノウハウを十分に発揮し、専門的な知識をいかしてもらうため、事業者からの提案を採用する仕組みを設けること。

◆導入後は、町田市生涯学習センターの運営理念に沿っているか、新たな価値を創造できているかなど、チェックする機能を設けること。

◆市民・行政・事業者が協働して町田らしい新たな価値を創造できる仕組みを検討すること。

（２）効率的・効果的な運営を推進する実行体制の整備

実行計画の作成や、生涯学習組織の改編を行うなど、確実に見直しを進めること。

５　管理運営体制の見直し

生涯学習施策の推進には、生涯学習情報・資源の把握と活用が不可欠であり、情報の蓄積と活用の観点からは、町田市生涯学習センターの業務は直営・民間問わず一括して専門性のある集団が担うのが効果的です。

管理運営体制については、次の方向性に基づき、今後策定する「（仮）町田市生涯学習センターあり方見直し方針実行計画」において、詳細を定めます。

（１）運営手法の見直し

○効率的・効果的な管理運営体制を目指すにあたっては、町田市生涯学習審議会答申にあるように、民間活力の導入について、「行政でなければ担えない機能」と「民間のノウハウが活かせる機能」を整理します。

○民間活力の導入は段階的に、効果を検証しながら実施していきます。

○民間活力導入の第一歩として、公益性・地域性のある団体を念頭に一部事業へ民間活力の導入を行い、その効果を検証後、導入事業の拡大や指定管理者制度の導入を検討するものとします。

（２）組織体制等の見直し

○『全体計画立案機能』を教育委員会事務局（生涯学習総務課）に移管し、市全体としての計画立案機能を強化します。

○生涯学習センター運営協議会などの外部意見を伺う機会を見直し、事業内容に市民意見を反映する機会を拡充します。

町田市生涯学習センターあり方見直し方針資料編

《資料編　目次》

資料１　他自治体における生涯学習に関する施設の設置条例　・・・24

資料２　他自治体における生涯学習センター類似施設の設置状況　・・・26

資料３　他市事例抽出シート　・・・30

資料４　町田市における生涯学習の見取り図　・・・36

資料５　２０２０年度町田市生涯学習センター事業一覧　・・・40

資料６　利用者アンケート結果　・・・46

資料７　市政モニター結果　・・・70

資料８　ワークショップ報告　・・・82

資料1

他自治体における生涯学習に関する施設の設置条例

※「その他」：条例文に「生涯学習」または「社会教育」の文言が含まれる文化施設

都内23区

自治体名	施設名	条例		
		生涯学習センター	公民館	その他
千代田区	千代田区立九段生涯学習館			○
中央区	中央区立社会教育会館			○
港区	港区立生涯学習館			○
	港区立生涯学習センター	○		
新宿区	新宿区立生涯学習館			○
文京区	文京シビックセンター			○
台東区	台東区生涯学習センター	○		
	社会教育センター			○
墨田区	すみだ生涯学習センター	○		
江東区	※生涯学習センター及び公民館相当施設なし	－	－	－
品川区	こみゅにてぃぷらざ八潮（区民活動交流施設）			○
目黒区	社会教育館			○
大田区	生涯学習センター蒲田	○		
世田谷区	※生涯学習センター及び公民館相当施設なし	－	－	－
渋谷区	社会教育館			○
中野区	中野区もみじ山文化センター			○
杉並区	セシオン杉並（社会教育センター）			○
豊島区	地域文化創造館			○
北区	文化センター			○
荒川区	荒川区立生涯学習センター	○		
板橋区	板橋区立生涯学習センター	○		
練馬区	練馬区立生涯学習センター	○		
足立区	足立区生涯学習センター	○		
	足立区地域学習センター			○
葛飾区	※生涯学習センター及び公民館相当施設なし	－	－	－
江戸川区	くすのきカルチャーセンター			○

多摩市26市

自治体名	施設名	条例		
		生涯学習センター	公民館	その他
八王子市	八王子市生涯学習センター	○		
立川市	立川市地域学習館			○
武蔵野市	武蔵野プレイス			○
三鷹市	生涯学習センター（三鷹中央防災公園・元気創造プラザ）	○		
青梅市	ネッツたまぐーセンター（文化交流センター）			○
府中市	府中市生涯学習センター	○		
	府中市立公民館		○	
昭島市	昭島市公民館		○	
調布市	調布市公民館		○	
町田市	町田市生涯学習センター	○	○	
小金井市	小金井市公民館		○	
小平市	小平市立公民館		○	
日野市	日野市公民館		○	
東村山市	東村山市立公民館		○	
国分寺市	国分寺市公民館		○	
国立市	国立市公民館		○	
福生市	福生市公民館		○	
狛江市	狛江市立公民館条例		○	
東大和市	東大和市立公民館		○	
清瀬市	清瀬市生涯学習センター	○		
東久留米市	東久留米市立生涯学習センター	○		
武蔵村山市	武蔵村山市公民館		○	
多摩市	多摩市立公民館		○	
稲城市	稲城市立公民館		○	
羽村市	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	○		
あきる野市	あきる野市公民館		○	
西東京市	西東京市公民館		○	

その他近隣市

自治体名	施設名	条例		
		生涯学習センター	公民館	その他
相模原市	相模原市立生涯学習センター	○		
	相模原市立総合学習センター			○
	相模原市立公民館		○	
大和市	大和市生涯学習センター	○		
川崎市	有馬・野川生涯学習支援施設アリーノ			○
横浜市	横浜市教育文化センター			○

他自治体における生涯学習センター類似施設の設置状況

資料2

①単館

番号	施設名	自治体	都県	所管	民間活力導入形態	導入年	開館時間	休館日	主な事業（キーワード）	主な施設（全日利用料金）	利用者数	人口 2021年1月 単位：人
－	生涯学習センター	町田市	東京都	教委	直営		9～22時	第4月、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、場の提供、情報提供、学習相談	ホール（12,970円） 学習室（1,610～4,920円） 音楽室（1,610～2,880円） 和室（2,230～3,340円）	156,158人 （2019年度）	429,152
1	九段生涯学習会館	千代田区	東京都	首長	指定管理／ミズノグループ（美津濃(株)、(株)集英社プロダクション、大星ビル管理((株))	2007	9時～21時	第3月（祝翌）、年末年始	講座（人材バンク活用講座、区民企画講座など）、施設貸出、バウチャー制度（受講費補助）、市民団体支援、人材バンク、青年学級	ホール（9,400円） 音楽視聴覚室（7,500円） 集会室（2,300～6,000円） 和室（4,600円）	7,956件 （2019年度） ※利用件数。	67,216
2	生涯学習センターばる～ん	港区	東京都	教委	指定管理／（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団（Kissポート財団）	2006	9時～21時30分（日は17時）	第3月、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、学習相談、情報提供、まなびの循環、人材バンク、出前講座	レクリエーションルーム（22,100円） 学習室（1,200～8,800円）	101,212人 （2017年度）	259,036
3	生涯学習センター	台東区	東京都	教委	直営 ※社会教育館はJN共同事業体（JTBコミュニケーションデザイン、野村不動産パートナーズ）による指定管理。	2006	9時～22時	第1・3・5月、年末年始	施設貸出、情報提供 ボランティア登録、検索エンジン	ホール（81,000～145,000円） スタジオ（2,300～3,750円） 会議室・研修室（2,300～45,000円） ※曜日、在住の別により料金が異なる。	355,000人 （2016年度）	203,647
4	すみだ生涯学習センターユートリヤ	墨田区	東京都	首長	指定管理／JN墨田共同事業体((株)JTBコミュニケーションデザイン、野村不動産パートナーズ）	2019	9時～21時	第4月（祝翌）、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、情報提供、学習相談、場の提供 検索エンジン、出前講座	ホール（34,900～52,350円）、音楽スタジオ（4,000～6,000円）、研修室・講習室（2,800～12,000円）※区民料金あり。	159,286人 （2019年度）	275,647
5	生涯学習センター	荒川区	東京都	首長	指定管理/株式会社読売・日本テレビ文化センター	2009	9時～22時	年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 ICT、人材バンク	大会議室（4,000円） 体育館（7,000円） 会議室（2,000円） ※社会教育関係団体の優遇措置有。	158,006人 （2019年度）	216,535
6	まなぽーと大原（大原生涯学習センター）	板橋区	東京都	教委	直営		9時～21時30分	第3月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供、場の提供 青年学級、ICT	ホール（5,400円） 集会室・会議室（860～1,140円） スタジオ（2,150円）	96,605人 （2019年度）	570,213
7	生涯学習センター	練馬区	東京都	首長	直営		9時～21時30分	第1・3・4・5月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 出前講座（ボランティア）	ホール（64,400～77,600円） 会議室・教室（3,200～6,300円） 視聴覚室（6,300円） ※土日祝料金有、時間単位可。	134,765人 （2019年度）	740,099
8	生涯学習センター	足立区	東京都	首長	指定管理／あだち学びときずな創造事業体（ヤオキン商事ほか）	2006（地方自治法改正を受け、区内約70施設を対象に導入	9時～21時30分	第2月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 ボランティア支援、ICT	講堂（23,900～35,800円） 研修室（5,800～11,400円） コンピュータ学習室（200円／人・時間）※土日祝料金有。	108,105人 （2019年度）	691,002
9	生涯学習センター	八王子市	東京都	教委	直営		9時～22時	第1火、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 出前講座、学習相談	ホール（37,800～47,300円） スタジオ（15,000円） 学習室（4,100～15,800円） ※土日祝料金有。	271,505人 （2018年度。分館含む）	561,828
10	ネッツたまぐーセンター（文化交流センター）	青梅市	東京都	教委	ネーミングライツ／ネッツトヨタ多摩と年間108万円で5年契約	2019.4～2024.3	9時～22時	第3月（祝翌）、年末年始	施設貸出、場の提供 ネーミングライツ、多様な実施主体	ホール（18,000円、土日祝23,000円）、バンドルーム（2,200円）、ミーティングルーム・会議室（900円～3,900円）	86,304人 （2016年度。市民会館最終年）	132,145
11	生涯学習センター	府中市	東京都	首長	指定管理／ふちゅう生涯学習センター共同事業体((株)コンベンションリンケージ、(株)住友不動産ほか）	2013	9時～22時	第1月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 生涯学習ボランティア	講堂（30,000～60,000円） 研修室・工房（2,800～6,600円） スタジオ（11,500～17,200円） ※市民・市民以外の2段階料金制。	10,510件 （2019年度） ※5年間で約45万人と報告書に有。	260,255
12	福生市民会館・公民館	福生市	東京都	教委	指定管理（市民会館部分のみ）／ふっさJ＆S事業体((株)JTBコミュニケーションデザイン、(株)サイオー	2009	9時～22時	月（祝翌）、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、場の提供	ホール（33,000～172,000円） 集会室（1,000～9,000円） ※公民館サークルの免除規定有。	199,575人 （2018年度）	57,024

①単館

番号	生セ数	会館数	公民館数	その他数	関連施設合計	備考	事例としての特徴	HPに掲載されている施設のコンセプトなど（掲載がない場合は設置条例にある設置目的）
－	1	0	0	0	1		①生涯学習の全体計画立案、②関係機関との総合調整、③情報収集・提供、④学習相談・人材育成、⑤施設貸出、⑥講座事業の6つの機能を提供し、生涯学習の支援事業を実施している。	市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援するため、様々なテーマの講座や講演会を実施するほか、生涯学習に関する情報の収集や提供、生涯学習に関する相談業務、施設貸出などを行う。
1	0	0	0	2	2	その他施設＝九段生涯学習会館、アーツ千代田3331	民間による指定管理の事例。人材バンクやバウチャー制度（講座受講費の一部助成）なども実施。ちよだ生涯学習カレッジ（市民大学）を別に事務局を設置し大学との連携で実施。出前講座「ほりばた塾」や日曜青年教室（障がい者青年学級）など一部事業を直営に残し実施している。	こころを育み、明日へ繋ぐ
2	2	0	0	0	2	生セ＝生涯学習センターばる～ん、青山生涯学習館	財団による指定管理事例。管理者主催事業は区民大学等少数で、施設管理・貸し出しが主。まなマルシェ（まなびの循環事業）、サークル情報、人材バンク、出前講座は事務局生涯学習部門に残し直営で展開。	【設置条例】区民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、生涯学習社会を実現していくため
3	1	5	0	4	10	社会教育センター、社会教育館4館、その他施設＝公会堂、記念館等	センターは中央図書館、教育支援館、男女平等推進センター、学習館からなる複合施設。マルチメディアルームやトレーニングルームもあり貸館に特化。学習館でボランティア登録＆登録者講座（やまびこ塾。2020年度廃止）を実施。生涯学習情報コーナーを受付に併設。事務局生涯学習課で検索エンジン（講座・団体情報）を運営し、区HPに掲載。公民館的活動は社会教育館で実施。	【設置条例】区民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援するとともに、豊かな生涯学習環境を整備することを目的として設置
4	2	0	0	0	2	その他施設＝みどりコミュニティセンター	学習相談（サークル・人材・施設・講座）実施。HPに検索エンジン（すみだマナビ）も掲載。所管部署の地域活動推進課では、「すみだ生涯学習センター情報誌」のほか「墨田地域学情報We」「地域活動ガイドブック」などを発行し、出前講座も実施。	区民の文化活動や生涯学習の拠点として、地域の活性化を図る。心の「ゆとり」を感じさせる施設「余裕（ゆとり）舎）」であってほしいとの思いを込めている。
5	1	0	0	2	3	その他施設＝町屋文化センター、サンパール荒川	廃校を活用し、教育センターと併設されている。コンピュータ室があり、IT講習会を実施しているほか、講習のない時にはIT講習室を区民に開放している。事務局で荒川区社会教育サポーター制度（人材バンク）を運用。社会教育委員の会議も含め、首長部局が行っている。	さまざまな分野で生涯学習を行っている方々や団体等の活動場所として、また、これから学習を始めようとする方、学習活動を進めるための相談等、区民の新たなチャレンジを応援する生涯学習施設。
6	2	0	0	4	6	他まなぽーと成増（成増生涯学習センター）、その他＝成増アクトホール、高島平区民館、グリーンカレッジホール（シニア学習プラザ）など	旧社会教育会館。家庭教育支援（はたいく）や障がい者青年学級（あすなろ）など社会教育時代を踏襲した講座が目立つ。ダンスや個人学習のできる若者向けスペース「ｉ-youth」を設置。区民スタッフによる初心者向けパソコン講座実施。	区民の学習活動の拠点であり、気軽に自由に利用することができ、新しい友人と出会うための広場。多くの区民と学習した成果を分かち合う場。
7	2	0	0	0	2	他に分館あり。	元練馬公民館で図書館と併設。H24年の組織改正で文化芸術・生涯学習・スポーツ振興を一元化し首長部局に移管、名称を生涯学習センターに変更。生涯学習情報サイト「あそぶ」の運営、出前講座（ボランティア）などを実施。学校応援団という、ひろば事業・学校開放を実施する地縁組織を生涯学習部門で所管。	誰もが「よりよく生きる」知恵と力を身に付けるために学習・文化活動を幅広く営む場。各種活動への参加を通じて学習を深め、グループ活動など自主活動の中で暮らしを豊かにし、地域を創る力を援助する施設。
8	1	13	0	2	16	他に地域学習センター、NPO活動支援センターなど	足立区生涯学習複合施設（学びピア21）の4～5階にあり、図書館、放送大学などとの複合施設。区内地域学習センターの基幹施設の位置付けだが、施設毎に異なる指定管理者が運営しており、単館で運営されている。サークル情報の提供（PDF一覧表）、情報誌の発行などのほか、特色としてコンピュータ学習がある。	つなげる　つながる　新たな活動がはじまる
9	3	0	0	2	5	分館2、他に学園都市センターなど	家庭教育、放課後子ども教室、出前講座などの講座を実施。他に情報プラザの運営、学習相談の実施、学生用自習スペースの設置などを行っている。学校開放の所管でもある。	だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまち八王子
10	0	0	0	3	3	その他施設＝ネッツたまぐーセンター（文化交流センター）、御岳山ふれあいセンター、視聴覚ライブラリー	市民会館を再編し、2019年度開設した新施設。ネーミングライツ導入事例（年間108万円）。施設運営では「みんなのあそび場」をコンセプトに4名のあそびばコーディネーターを委嘱、施設内に青梅市民センターがあるが別組織。所管は社会教育課で、市主催事業も行われているが、市民・民間の事業主体。	市民に文化活動および地域交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、生活文化の向上と生涯学習の振興に寄与することを目的とした施設
11	1	0	11	0	12	公民館としているのは、市民協働推進部の文化センター（町田でいう市民センター＋子どもセンター）	総合学習施設の位置付けで、図書館、PC室、版画室、温水プール、体育室、宿泊施設も有する。講座は教養、生活実技などが中心。文化センターでは、月1～2回、地域行事イベント（芋掘り、どんど焼きなど）を実施。生涯学習ボランティアを組織し施設運営をサポート。	いつでも、誰もが学習できる環境づくり
12	0	0	3	5	8	公民館＝市民会館・公民館、分館2、その他施設＝地域会館、市民サポートセンター	市民会館と公民館の複合施設で、市民会館部分に指定管理者制度を導入。建物内に公民館の占有区画（音楽室、視聴覚室、調理室、美術室、児童室）が存在するが、公民館の事務所自体は別棟にある。別に事務局に生涯学習推進課があり、人材バンクや主催事業を実施。	市民の皆さんの学習活動を支援・奨励する社会教育施設

番号	施設名	自治体	都県	所管	民間活力導入形態	導入年	開館時間	休館日	主な事業（キーワード）	主な施設（全日利用料金）	利用者数	人口 2021年1月 単位：人
13	生涯学習センター	清瀬市	東京都	教委	直営		9時～22時	月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供、学習相談 総合調整、出前講座	ホール（13,900～15,800円）、会議室・講座室（2,600～6,500円） ※土日主料金有。市民以外は1.5倍。	71,639人 （2019年度）	74,905
14	生涯学習センター（まろにえホール）	東久留米市	東京都	教委	指定管理／JN共同事業体（(株)JTBコミュニケーションズ、野村不動産パートナーズ）	2010	9時～22時	第4月、年末年始	講座・イベントの実施、施設貸出、情報提供 損害保険	ホール（56,800～85,190円） 集会学習室（2,600～6,280円）、音楽室（6,600～9,880円） ※市民・市民以外の2段階料金制。	136,242人 （2019年度）	117,007
15	生涯学習センターゆとろぎ	羽村市	東京都	教委	直営		9時～22時	月曜日、年末 年始	講座・イベントの実施、施設貸出	ホール（107,960～132,410円）、会議室・学習室（1,940～5,090円）、音楽練習室（5,090～7,840円）※土日祝料金有。	277,666人 （2019年度）	54,725
16	有馬・野川生涯学習支援施設アリーノ	川崎市（宮前区）	神奈川県	首長教委	指定管理／アクティオ(株)（町田市受託実績業者）	2009	9時～21時	第3月、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、図書貸出、情報提供、場の提供	集会室（11,220円、土日祝13,440円） 学習室（3,190～9,570円、土日祝3,810～11,430円）	109,311人 （2019年度）	1,538,952
17	相模原市生涯学習センター（総合学習センター）	相模原市	神奈川県	教委	事業委託／市民大学事業を（公社）相模原・町田大学地域コンソーシアムに委託	2008	9時～22時	第3木、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、出前講座、研究機関等公開講座、学習相談	大会議室（14,300円） セミナールーム（7,700円） 会議室・和室（2,200円）	56,099人 （2019年度）	718,601

②多機能型の複合施設

1	なかのZERO（もみじ山文化センター）	中野区	東京都	首長	指定管理／JN指定管理者共同事業体（(株)JTBコミュニケーションデザインほか）	2006	9時～22時	2・6・11月第4月、年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、学習相談、情報提供、生涯学習情報サイト	大・小ホール（27,100～630,600円）、美術ギャラリー（3,300～5,400円） 音楽室（1,600円） 学習室（1,400～3,300円）	1,139,249人 （2018年度）	334,632
2	武蔵野プレイス	武蔵野市	東京都	教委	指定管理／（公財）武蔵野生涯学習振興事業団	2011（開館と同時）	9時30分～22時	水曜日（祝日の場合翌日） 年末 年始	（図書館機能） （市民活動支援機能） （生涯学習支援機能） 講座実施、学習スペース提供、施設貸出、情報交換、地域映像アーカイブ （青少年活動支援機能）	大会議室（23,800円）、会議室A～E（2,800～9,000円）、ギャラリー（6,300円）、スタジオ（4,000～7,000円：大人半日） ※市外割り増し、青少年割引有。	195万人 （2016年度）	147,643
3	三鷹市 生涯学習センター	三鷹市	東京都	首長	指定管理／（公財）三鷹市スポーツと文化財団	2017（複合施設開設と同時）	9～22時	第４日曜日 年末 年始	講座実施、生涯学習相談 生涯学習人材バンク「まちの先生」、「学習サークル情報」の提供、夏休み自主学習スペース開放、個人学習スペース開放、施設貸出	学習室１～７（3600～8,800円） 創作室１・２（8,000円） 料理実習室（10,000円） 和室（5,200円） ホール（26,800円） ※市外割り増し有。	74,612人 （2018年度）	190,126
4	大和市文化創造拠点シリウス	大和市	神奈川県	首長	指定管理／やまとみらい（(株)図書流通センター、(株)小学館集英社プロダクションほか4社）	2016（開設と同時）	9時～21時30分	年末年始	講座・イベント実施、施設貸出、人材バンク、出前講座、団体・サークル支援、学校開放	講習室（7,500円） 会議室（4,800～9,600円） 調理実習室（9,600円） スタジオ（1,800～9,000円）	3,053,751人 （シリウス全体。生涯学習センターは562,239人。2017年度）	239,744

③一部の機能に特化した形態

1	生涯学習情報コーナー	調布市	東京都	首長教委	事業委託（サイト運営・更新）／NPO調布市地域情報化コンソーシアム	2007	9時～21時30分	第4月とその翌日、年末年始	学習情報、施設情報、団体・サークル情報、学習相談、交流の場の提供	フリースペースのみ	不明	237,815
2	横浜市社会教育コーナー	横浜市	神奈川県	教委	指定管理／NPO法人横浜市民アクト	2006	9時～21時（日祝は17時）	第1月、年末年始	施設貸出、場の提供、情報提供、学習相談 地域展開、コーディネーター	アートルーム（4,800円） 研修室（3,000～3,600円）	44,285人 （2019年度）	3,758,462

番号	生セ数	会館数	公民館数	その他数	関連施設合計	備考	事例としての特徴	HPに掲載されている施設のコンセプトなど（掲載がない場合は設置条例にある設置目的）
13	1	0	0	0	1	1館でビルの5～7階。①情報収集・提供、②講座・講演会の実施、③企画及び総合調整、④学習相談、⑤施設貸出を行うとしており、業務内容は町田と酷似している。出前講座を実施しており、36講座と充実している。	市内に1館、ビルの区分所有、事業内容など現在の町田市と似通った点が多い。教育委員会の直営というところも同一。	市民の生涯各時期における学習活動および文化活動の振興と市民生活の充実を図るために開設
14	1	0	0	0	1	1館で指定管理。市民大学などの講座を実施。事務局で社会教育活動主催者損害賠償保険を運用。	市民団体向け損害賠償保険制度を扱っている点は珍しい。	ホール、学習室、創作室、料理室などを備えた生涯学習施設で、各種サークルや市民活動団体の活動に最適。
15	1	0	0	0	1	1館で直営。寄席、映画会、展覧会などホールを活用した文化事業も主催している。	生涯学習センターに市民ホールが複合した事業展開。やや文化より。	文化・芸術及びコミュニティの振興のために、子どもから高齢者まで多くの人が集まり、生涯を通じて「学び・楽しむ・交流する」賑わいの場を目指す。
16	0	0	0	19	19	教委＝教育文化会館（本館1、分館2）、市民館9、川崎生涯学習プラザ 首長＝区役所生涯学習支援課（アリーノ）	川崎市は教委で生涯学習を所管しているが、宮前区役所が独自に設置した生涯学習施設。小規模館ながら図書館機能を有し、年間10万人の来館がある。指定管理者のアクティオ（株）は、町田市における指定管理受託実績あり（ひなた村）。	地域における市民の主体的な学習活動の支援を行うことにより、生涯学習の振興を図り、個性豊かで活力に満ちた地域社会づくりに寄与するための施設。
17	2	0	32	0	34	公民館32、総合学習センター、津久井生涯学習センター	近隣市の事業委託事例。市民大学事業をさがまちコンソに委託（大学公開講座を市営で行うイメージ）。総合学習センター内に生涯学習センターと教育センターの2組織が存在し、学社連携を重視した事業展開が目立つ。教育センターでは教職員向け研修を実施。津久井は旧4町にある分館で自然特化。他に公民館32館があり、分散している。	生涯学習社会の実現を図るため、市民の生涯学習活動を支援すると共に、学校教育及び社会教育の向上に必要な調査、研究及び研修を総合的に行う施設。

②多機能型の複合施設

1	0	0	0	3	3	その他施設＝なかのZERO、なかの芸能小劇場、野方区民ホール	生涯学習と文化芸術の複合施設。ホールやギャラリー、学習室の他、図書館、プラネタリウム、公園などからなる。なかのZERO、なかの芸能小劇場、野方区民ホールを一括して同一の管理者が受託。学習相談として「生涯学習活動・支援コーナー」を設置しているほか、生涯学習情報サイト「中野まなVIVAネット」を運営。	生涯学習・文化芸術活動の拠点となる施設。
2	0	1	0	1	2	市民会館、その他の施設＝武蔵野プレイス	「習いたい人と教えたい人が出会う場と機会（プレイス）を提供というコンセプト」で、図書館、市民活動支援、生涯学習支援、青少年活動支援の4機能を持つ複合施設。 「地域の教育機関、企業、施設と連携した柔軟な生涯学習事業」「にぎやかな図書館（そこそこの専門性、即時性、娯楽性）、「目的別利用から状況的利用へ」「青少年向け緩いルール」といったユニークなコンセプトが目立つ。	複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人とひとが出会い、それぞれが持っている情報を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、地域社会の活性化を深められるような活動支援型の公共施設をめざす。
3	1	0	0	2	3	その他施設＝多世代交流センター（児童館＋社会教育会館）2館	財団による指定管理の事例として紹介。市民との協働重視で、市民大学、人材バンク、学習相談、個人学習スペース開放などを実施。	さまざまなライフステージにおける生涯学習の機会と場を提供する「生涯学習の拠点」。「市民との協働」という方向性を大切にしながら、さらに多世代に渡る市民のより主体的で多様な生涯学習ニーズに応じた学習活動を支援できるよう、多彩な生涯学習プログラムを提供する。
4	1	0	0	4	5	他に学習センター4館（旧公民館）	近隣市の直近の事例。図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、こども広場の複合施設。図書館が中心で、生涯学習センター単館としては参考にしにくい。6階1フロア年間62講座と運営規模は町田を下回りながら、町田の3.5倍の利用者数がある。	「心に響く・心が躍る・心をつなぐ」子どもから大人まで多くの方に、芸術文化や生涯学習の素晴らしさ、新しい知識・人々との心弾む出会いを届け、心に一体感を生み出す場として誕生。

③一部の機能に特化した形態

1	1	0	3	0	4	首長＝生涯学習情報コーナー（文化会館たづくり11階） 教委＝公民館3館	情報収集・提供と学習相談に特化した施設。別に教委で公民館3館を運営しており、公民館で講座事業や施設貸出を行っている。参考としては限定的だが、センター機能の公民館が担わない部分に特化した事例。	サークル・人材・施設等の生涯学習情報を一元的に管理し、市民の皆さんが市内のサークルなどの活動情報を簡単に検索できるサイト。
2	0	0	0	19	19	UR団地の1階部分。トレーニング室、スポーツ広場を併設している。 別に区毎に市民活動・生涯学習支援センター（18館）がある。	学習室4室、体育室2室の小規模施設。生涯学習活動の場として設置。場の提供、学習情報の提供、相談を業務としているが、NPOが自主事業として、各種講座を実施している。100万都市にしては小さいが、区毎に18の市民活動・生涯学習支援センターを設置しコーディネーターを配置している。生涯学習のポータルサイト「はまなび」を公式HP内で運用。	市民の生涯学習活動や研修活動、ボランティア活動などの場として、また生涯学習に関わる情報提供や交流の場。

他市事例抽出シート

資料3

No.1　　町田市（人口429,935人）

施設名	町田市生涯学習センター	設置目的
利用者数	7278件／68,144人（2020年度）	市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、もって町田市における豊かな生涯学習社会の実現に資する。
運営形態（導入年）	直営	
設置者（所管）	生涯学習部生涯学習センター（教）	
受託者	－	

1）事例の特徴

－

基本情報	
分類	生涯学習センター
施設規模	8階建ビルの6～8階
開館時間	9：00～22：00
休館日	第4月曜日
職員数	24名

2）講座事業（白数字＝民間、黒数字＝行政）

❶公民館事業・・・コンサート、時事問題、平和祈念事業、まなびテラス、講座づくり☆まちチャレなど
❷ことぶき大学・・・高齢者向け。「楽しく学んで豊かに生きる」をコンセプトに実施。
❸家庭教育支援事業・・・保護者向け講座、親子向け行事など。
❹障がい者青年学級・・・知的障がいのある方を対象に「生きる力・働く力の獲得」を目的に実施。
❺まちだ市民大学・・・「あなたを励まし、地域を育てる」をコンセプトとした地域課題解決講座。
❻センターまつり、利用者交流会・・・生涯学習センター利用者の成果発表の場
⑦さがまちカレッジ・・・さがまちコンソーシアムによる加盟教育機関の専門性を活かした学習講座。（町田市は会場提供の形で協力）

3）施設貸出

定員158人のホール、音楽室、視聴覚室、調理実習室、美術工芸室、学習室、和室など17施設を貸し出し。

【主な利用料金（全日）】
ホール（12,750円）
視聴覚室（4,850円）
学習室（1,600～4,850円）
和室（2,200～3,300円）

4）情報提供・その他特徴的な事業

【情報提供】
①生涯学習情報誌「生涯学習NAVI」の発行（年4回）
②生涯学習ボランティアバンク・・・講師・指導者をサークル・団体に紹介。

【その他事業】
①学生活動報告会「ガクマチ」・・・高校・大学生世代の若者による地域活動の報告会。

5）民間活力導入の評価

－

No.2　　千代田区（人口67,200人）

施設名	九段生涯学習館	設置目的
利用者数	7956件（2019年度）	区民の生涯学習の振興を図ることを目的とし、生涯学習活動を実践できる場の提供及び支援に関する事業を行う。
運営形態（導入年）	指定管理（2007～）	
設置者（所管）	地域振興部生涯学習・スポーツ課（首）	
受託者	（株）小学館・集英社プロダクション	

1）事例の特徴

町田市の年間利用件数（7,300件）に近い利用件数で、同程度の規模の施設と考えられる。同規模施設の民間活力導入事例であるとともに、区内に生涯学習施設が2館しかないうちの中核館であり、機能集約の点からも参考となりうる。
また、指定管理者制度を導入しながら一部事業については施設を借用し直営で実施するといった柔軟な対応が見受けられ、事業展開上も参考にすべき点がある。

基本情報	
分類	その他施設
施設規模	9階建ビルのB1～6階
開館時間	9：00～21：00
休館日	第3月曜日
職員数	19名

2）講座事業（白数字＝民間、黒数字＝行政）

①講座・講習会・・・趣味・教養・技術系。学習のきっかけづくり。仲間作り。
②区民自主企画・運営講座・・・区民が企画し、運営。
③家庭教育学級
④子ども自然教室
⑤ちよだ生涯学習カレッジ・・・地域デザインコース有。カレッジ事務局を施設内に別に設置。
❻生涯学習出前講座「ほりばた塾」・・・直営実施。市の各部署主催の49講座を地域展開。
❼日曜青年教室・・・障がいのある方向け。直営で施設で実施。

3）施設貸出

定員100人のレクリエーションホール、音楽視聴覚室、多目的室、集会室、学習室、和室、陶芸用電気炉、九段ギャラリーなど18施設を貸し出し。

【主な利用料金（全日）】
ホール（9,400円）
音楽視聴覚室（7,500円）
集会室（2,300～6,000円）
和室（4,600円）

4）情報提供・その他特徴的な事業

【情報提供】
①千代田生涯学習ガイドブックの発行（年1回）
②人材バンク・・・講師をサークルに紹介。人材バンク活用講座（年7回）。

【その他事業】
①講座講習会バウチャー制度・・・区が指定する講座を受講した場合の受講料半額補助。

5）民間活力導入の評価

施設利用実績については、改修工事による施設利用休止や新型コロナウイルス感染症拡大に伴うサークル活動自粛など、明確な理由による一時的な利用率の低下はやむを得ないものと思われる。ソーシャルディスタンスの確保が求められるコロナ禍においては、小規模な部屋の利用率向上は困難が想定されるが、引き続き努力されたい。

日常的な施設の受付業務においては、「サービス向上員会」立ち上げの結果として、自動翻訳機の設置や施設予約可能期間の前倒しなど、利用者の視点に立ったきめ細かいサービスの向上が図られていることを評価する。

実施事業に関しては、区民の企画を指定管理者が支援して実施する講座が、新しいサークルの発足や既存サークルの新規会員加入に寄与しており、生涯学習活動支援として有効に機能している。また、施設の新規利用者増加による施設の利用率の向上も期待できる。

昨年からフェス形式で実施している区内生涯学習交流事業「九段フェス2020」は、参加団体にも好評で今年はより多くの参加が予定されていたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止となった。生涯学習団体の交流拠点としての役割を更に充実していくためにも、本事業の定着及び発展を望む。（令和元年度事業報告概要より）

No.3　　青梅市（人口132,081人）

施設名	ネッツたまぐーセンター
利用者数	86,304人（2016年度。市民会館最終年）
運営形態（導入年）	直営・ネーミングライツ（2019年～）
設置者（所管）	教育委員会社会教育課
受託者	ネッツトヨタ多摩（株）

設置目的

市民に文化活動及び地域交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、生活文化の向上と生涯学習の振興に寄与する

基本情報

分類	その他施設
施設規模	地下1階地上4階単独
開館時間	9:00～22:00
休館日	第3月
職員数	8名＋シルバー、警備

1）事例の特徴

青梅市公共施設再編計画により、既存の青梅市民会館、青梅市民センター、釜の淵市民館、永山ふれあいセンターの4施設を集約・複合化し設置された施設。2019年度の新施設オープンに合わせネーミングライツを導入し、ネッツトヨタ多摩株式会社と5年間の協定を締結。これに伴い「青梅市文化交流センター」から「ネッツたまぐーセンター」に改称している。

2）講座事業（白数字＝民間、黒数字＝行政）

市主催事業も行われているが、市民・民間の事業主体。
「青梅市における生涯学習関連事業は、教育行政だけでなく、一般行政においても活発に行われています。現在各事業の担当課で独自に企画・実施されている事業を、市民の生涯学習の推進という視点で捉え直し、情報を共有し、相互に連携・協力関係を築いていく」（第6次青梅市生涯学習推進計画より抜粋）という考え方に立脚しており、青梅市公式HPにも施設のイベント一覧は存在しない。

3）施設貸出

定員271人の多目的ホール、バンドルーム、文化活動室、研修室、ミーティングルーム、会議室、アートルームなど20施設を貸し出し。

【主な利用料金（全日）】
ホール（18,000円、土日祝23,000円）
バンドルーム（2,200円）
ミーティングルーム・会議室（900円～3,900円）

4）情報提供・その他特徴的な事業

〇あそびばコーディネーター・・・「みんなのあそび場」をコンセプトに施設を運営しており、4名のあそびばコーディネーターを委嘱し、事業運営を補助している。
〇生涯学習講師・指導者人材ガイド・・・人材バンク制度。青梅市シルバーマイスター（高齢者支援課）という福祉部門の人材バンク制度と連携。

※一部事務を本庁の社会教育課が行うことで、施設スタッフ数を少なく設定している。

5）民間活力導入の評価

ネッツトヨタ多摩（株）との協定により、2019年度～2024年度の間、毎年度108万円のネーミングライツ料が青梅市に支払われることになっている。

No.4　　相模原市（723,559人）

施設名	総合学習センター	設置目的
利用者数	56,099人（2019年度）	生涯学習社会の実現を図るため、市民の生涯学習活動を支援するとともに、学校教育及び社会教育の向上に必要な調査、研究、研修を行う。
運営形態（導入年）	一部事業委託（2008～）	
設置者（所管）	教育委員会生涯学習部生涯学習センター	
受託者	（公社）相模原・町田大学地域コンソーシアム	

1）事例の特徴

隣接し、協働で大学地域コンソーシアムを立ち上げている相模原市の生涯学習センター。市民大学講座を大学地域コンソーシアムに委託している。学校教育部所管の教育センターと生涯学習部所管の生涯学習センターが複合し、総合学習センターとなっており、学校教育部門との連携が目立つ。

基本情報	
分類	生涯学習センター
施設規模	4階建て単独
開館時間	9:00～22:00
休館日	第3木曜日
職員数	22名（正規6会計年度16）

2）講座事業（白数字＝民間、黒数字＝行政）

❶研究機関等公開講座・・・宇宙航空研究開発機構、国民生活センター、外務省研修所など市内の研究機関との連携のよる講座
②市民大学講座・・・大学地域コンソーシアムに委託し、大学の公開講座レベルの内容を市民に提供している。
❸生涯学習まちかど講座・・・行政の出前講座
❹講座事業・・・センターの自主講座。年間5講座程度。
❺教職員研修・市民公開講座・・・教職員研修を市民に公開。

3）施設貸出

定員204人の大会議室、72人のセミナールーム、多目的室、会議室、和室など9施設を貸し出し。

【主な利用料金（全日）】
大会議室（14,300円）
セミナールーム（7,700円）
会議室・和室（2,200円）

4）情報提供・その他特徴的な事業

【その他事業】
学習相談・・・生涯学習推進員による相談・支援の実施（年間280件）
相模原地域づくり大学・・・市民大学とは別に市民協働推進課が地域活動・市民活動に役立つ知識を体系的に学べる「相模原地域づくり大学」を実施しているが、こちらも同じコンソーシアムが受託している。

5）民間活力導入の評価

事業委託であるため、公的な評価は出されていないが、（社）学び・まちづくり推進機構内の全国市民大学連合による第1期優良市民大学選定（2018年度）において、優良25団体の選からは漏れたものの渋谷区のシブヤ大学等と並び「調査継続団体」（選定時に注目されたが調査資料不足等により継続調査となったもの）に位置づけられている。

No.5　　福生市（56,598人）

施設名	市民会館・公民館	設置目的
利用者数	199,575人（2018年度）	社会教育法第20条の目的を達成するため、同法第24条の規定に基づき設置する（公民館）。
運営形態（導入年）	指定管理（2009～　市民会館部分のみ）	
設置者（所管）	教育委員会公民館	
受託者	（株）コンベンションリンケージ（2019～）	

1）事例の特徴

市民会館（町田市でいう市民ホール）と公民館の複合施設で、市民会館部分に指定管理者制度を導入。建物内に公民館の占有区画（音楽室、視聴覚室、調理室、美術室、児童室）が存在するが、公民館の事務所自体は別棟にある。別に事務局に生涯学習推進課があり、人材バンクや主催事業を実施。

基本情報	
分類	公民館
施設規模	地下1階地上3階単独
開館時間	9:00～22:00
休館日	月曜日
職員数	管理8名公民館11名

2）講座事業（白数字＝民間、黒数字＝行政）

①文化事業・・・コンサートのほか、ワークショップ（フラメンコ、子ども向け工作など）を実施。
❷公民館事業・・・地域館3館と併せ、年間70講座を実施。
学級・講座：幼児対象、青少年対象、女性対象、成人対象、障がい者対象、高齢者対象
行事：コンサート、公民館まつり、公民館のつどい

3）施設貸出

市民会館施設として、定員1062人の大ホール、260人の小ホール、展示スペース、10人～100人の集会室8室を貸し出している。別に公民館施設として音楽室、視聴覚室、調理室、美術室、児童室があり、こちらも貸出を行っている。

【主な利用料金（全日）】
大会議室（14,300円）、セミナールーム（7,700円）、会議室・和室（2,200円）、音楽室（5,200円）、調理室（4,600円）
※「公民館サークル」登録制度があり、特定の要件を満たした団体は利用料金が免除される。

4）情報提供・その他特徴的な事業

【情報提供】
公民館資料室・・・市民会館・公民館と別棟の公民館事務所棟に資料室を設置し、社会教育・生涯学習関連資料の閲覧が可能となっている。
【その他】
講師派遣事業・・・サークルが講師を招聘する際、謝礼を助成。
社会教育用備品の貸し出し
学習支援・相談

5）民間活力導入の評価

指定管理者制度を5年任期で導入しているが、2014～2018年度と2019～2023年度で受託業者が変わっている。
2017年度指定管理者監査では「業務内容・履行方法について概ね適正に執行されている」が①キャンセル時に理由を問わず料金を還付している点②設備管理者が施設に常駐しておらず、軽微な不具合対応が遅れがちな点③公民館区画の貸出時管理者から公民館に確認する流れとなっており、利用者を待たせる結果となっている点について指摘が入っている。別に④空調修繕において自社開発のシステムを導入し、修繕見積額の1／7で修繕できた点は評価されている。
2020年度モニタリングでは、台風時の避難所開設・運営対応、コロナ対策が適切に行われたこと、30件の施設不具合を解消したことが評価されている。

No.6　　調布市（233,864人）

施設名	生涯学習情報コーナー	設置目的
利用者数	不明	絵画・音楽・スポーツなど何かを学習したい方や、新たな出会いの場をお探しの方に様々な情報を提供する。
運営形態（導入年）	事業委託（2007～）	
設置者（所管）	生活文化スポーツ部文化生涯学習課	
受託者	NPO調布市地域情報化コンソーシアム	

1）事例の特徴

情報収集・提供と学習相談に特化した施設。別に教育委員会で公民館3館を運営しており、講座事業や施設貸出は公民館で行われている。情報提供という特定の機能だけを地域・市民からなるNPO法人と連携して実施している（施設の運営は直営、HPの運営はNPO）。

基本情報	
分類	その他施設
施設規模	12階建ての11階の一部
開館時間	9：00～21：30
休館日	第4月曜日
職員数	2人

2）講座事業（白数字＝民間、黒数字＝行政）

市内に3館ある公民館で実施。

3）施設貸出

市内に3館ある公民館で実施。

情報提供コーナーには8卓のテーブルがあり、テーブル単位で予約し、学習活動を行うことが可能（無料）。

4）情報提供・その他特徴的な事業

【情報提供】
学習情報（講座・教室案内）、施設情報（利用可能公共施設情報）、団体・サークル情報（学習団体、ボランティアなど）、人材情報（講師、指導者）
【学習相談】
【サークルの交流】
会員募集、情報交換
※これら情報を掲載したHPをNPOが作成し、運営している。

5）民間活力導入の評価

「情報技術を活用し、市民が直面する課題や困難を解決したり、暮らしやすいコミュニティーを創出すること」を目的に「地域情報化基本計画」が策定され、「市民みずからの手による」という計画の理念を実践するため、計画づくりに関わった市民によりNPO法人調布市地域情報化コンソーシアムが発足している。
　生涯学習分野に限らず、地域コミュニティ、観光などでも市からホームページの運営を受託している。

町田市における生涯学習の見取り図

資料4

「『町田市生涯学習センター』への提言」を経て、6つの機能を担う機関として2012年に開館。

社会教育委員の提言による新しい機能

統合された既存の機能（市民大学推進係、公民館事業）

①生涯学習の全体計画立案

②関係機関との総合調整

③情報収集・発信

④学習相談、人材育成

⑤施設貸出

町田市

生涯学習センター

＜事業・取組＞

・さがまちコンソーシアムに係る取組
・放送大学

＜事業・取組＞

・生涯学習NAVI（冊子版、電子版）
・Twitterによる情報発信
・学習相談

＜事業・取組＞

・市民大学
・生涯学習ボランティアバンク
・講座づくり★まちチャレ

＜事業・取組＞

・施設貸出

地域展開：
・学校特別教室開放

他課・他部署

児童青少年課
町田創造プロジェクト（MSP）

企画政策課
メイドイン芹が谷

広報課
例：まちだ〇ごと大作戦

農業振興課
北部丘陵ワークショップ

産業政策課
シェアリングエコノミーセミナー

高齢者福祉課
高齢者と近隣保育園児等の交流

広報課
公式HP、広報まちだ、メール配信サービス、FM放送、広報番組まちテレ、Twitter・nstagramによるシティプロモーション

子育て推進課
子育て情報誌「のびっこ」、子育てひろばカレンダー

子ども総務課
町田市子育てサイト、ほっとメールまちだ

健康推進課
みんなの健康ハンドブック、みんなの健康だより

3R推進課
ごみナクナーレ

農業振興課、博物館、国際版画美術館、図書館、文学館、生涯学習総務課（自由民権資料館）など
Twitterによる情報発信

いきいき総務課
介護の入門研修

図書館
〇〇養成講

健康推進課
ゲートキーパー養成講座

消費生活センター
学習会・テスト教室

保育・幼稚園課
職員スキルアップ研

男女平等センター
DV防止啓発講座、女性悩みごと相談、政性自認及び性的指向に関する相談、各種講演会

オリパラ推進課
まちだサポーターズ

高齢者福祉課
各種養成講座（介護予防サポーター、認知症サポーター、地域支え合い型ドライバーなど）

学校支援センター
学校支援ボランティア

道路管理課
アダプト・ア・ロード事業

市民協働推進課
コミュニティ助成事業

広聴課
各種相談受付（法律、交通事故、国税、不動産、登記、行政手続き、空き家など）

農業推進課
農業研修

3R推進課
3R市民リーダー養成講座

住宅課
空き家アドバイザー派遣、分譲マンション管理に関する相談会

市民フォーラム

健康福祉会館

文化交流センター

ポプリホール

薬師池西公園

国際版画美術館

スポーツ振興課
学校スポーツ開放

大地沢青少年センター
施設貸出

文学館

市民ホール

ひなた村

自然休暇村

図書館
グループ学習

公園緑地課
公園占有申請

地域展開

市民協働推進課
例：地区協議会

市民協働推進課
地区協議会

3R推進課
環境出前講座

広聴課
くらしの手続き出張相談

消費生活センター
出前講座

市民生活安全
防犯講話

高齢者福祉課
家族介護者教

市民センター（市内6館）

コミュニティセンター（市内2館）

子どもセンター（市内6館）

町田市における生涯学習の見取り図は、町田市生涯学習センターで発行している「生涯学習NAVI」に掲載した事業、情報コーナーへの配架依頼のあった事業、広報まちだ・町田市公式HPで周知を行っている事業を分類したもので、2019～2020年度の2年間で443件あったうち、代表的なものを掲載しています。

統合された既存の機能（市民大学推進係、公民館事業）

⑥講座・イベント事業実施

地域還元

＜事業・取組＞

・ことぶき大学　・まなびテラス
・ひき町
○障がい者
・障がい者青年学級　・うたの教室
・映画上映会　・講演会
○家庭教育支援
・家庭教育支援学級　・子育てカフェ
・各種講座（乳幼児、幼児、小学生、思春期）・親と子のまなびのひろば
・親子参加型コンサート

高齢者福祉課
介護予防講演会、老人クラブ育成事業、高齢者スポーツ普及事業、わくわく仲間づくりカレッジ、フレイルチェック会、男性料理教室

町田市障がい者就労・生活支援センター

市民生活安全課
自転車教室、高齢者安全運転教室

保険予防課
＜高齢者＞
骨粗しょう症予防講演会、健康・療育相談、こころの相談
＜子育て＞
プレママ・パパクラス、そらまめ（多胎児）の会、両親学級、虫歯予防教室、離乳食講習会、乳幼児・母性相談、母性保健相談・母乳育児相談、アレルギー教室、思春期精神保健相談

保育園
子育て広場

子育て推進課
親支援プログラム事業、マイ保育園登録

消費生活センター
子育てサポート講座

男女平等推進センター
今どき思春期のレンアイ事情、父親向け育児セミナー、女性のための就職準備セミナー、CAPプログラム

障がい福祉課
障がい者（児）スポーツ教室・大会、障がい者の生涯学習・理解促進事業

子ども発達支援課
療育セミナー

図書館
対面朗読、点字・録音資料作成、資料宅配、お話会、まちクエ

スポーツ振興課
まちだの体力向上プロジェクト、親子体操教室

文学館
お話し会、文学館ことばあそびの会

大地沢青少年センター

児童青少年課

子ども家庭支援センター
まこちゃん教室、子育てママのしゃべり場、子どもとその家庭からの総合相談

教育センター
教育相談、くすのき教室、けやき教室、高次脳機能障害の近いと支援就学相談会、外国籍子ども向け日本語指導

市民協働推進課
子ども食育教室

趣味・教養

＜事業・取組＞

・生涯学習センターまつり　・平和祈念事業
・生涯学習センター利用者交流会
・お悩み解決LABO　・ガクマチEXPO
・縄文土器野焼き体験
・**市民大学**（歴史、福祉、健康、自然・環境、法律、国際学、人間学）
・**ことぶき大学**（歴史、文学、美術、音楽、健康、教養、生きがい、くらし）
・**各種共催事業**（博物館、国際交流センター、さがまち、大学、地方史研究会）

福祉総務課
社会を明るくする運動

消費生活センター
まちだくらしフェア、マイバッグづくり講習

文化振興課
各種催し（市民ホール、ポプリホール鶴川、町田市フォトサロン）、二十祭まちだ、町田市美術展、町田市民文化祭

スポーツ振興課
スポーツ教室（総合体育館）、運動プログラム（市立室内プール）、スポーツデー（三輪みどり山球場）

大地沢青少年センター
青空アトリエ、ビザ窯・燻製箱講習会

3R推進課
環境学習、さんあーる広場、使い切り料理教室、段ボールコンポスト講習会

農業推進課
収穫体験、自然体験、農業体験、苗植え体験、木こり応援隊、保水の森づくり体験、菜種油しぼり実演（ふるさと農具館）

保険総務課
健康づくり講演会、まちだ市民セミナー

環境自然・共生課
火おこしチャレンジ

選挙管理委員会
選挙出前講座

男女平等推進センター
男女平等フェスティバル、みんなで守ろう災害時の命の権利、アンガーマネジメント講座

いきいき総務課
アクティブ福祉in町田、救命講習会

防災課
防災フェア、防災カフェ、自主防災講座講習会

町田市民文学館
展示・講座

町田市フォトサロン
展示・講座

観光まちづくり課
スマフォトグラファー入門講座、まちだの「映える」を楽しむツアー、小野路宿里山交流館催し

公園緑地課
各種催し（薬師池公園四季の杜）、自然観察会（かしの木山自然公園、忠生公園）、野鳥教室（野津田公園）、ヨガリラックス（鶴間公園）、公園情報アプリPARKFUL

健康推進課
健康づくりフェア、禁煙啓発動画

保険予防課
アンチエイジング講習会

納税課
選納税活動推進事業

市立博物館
展示・講座

オリパラ振興課
オリンピック展示

国際版画美術館
展示・講座、コンサート

自由民権資料館
展示・講座

児童青少年課
ひなた村野外講座

町田市民病院
公開講座

産業政策課
まちなかシネマ

図書館
まちクエ、講演会

生活衛生課
まちだわんにゃん講演会、犬と楽しく暮らすための基礎講座

市民協働推進課
まちカフェ

その他多数…

高齢者福祉課
ふれあい館事業（6館）、出張認知症カフェ、まちだ互近助クラブ、高齢者支援センター（12か所）

子ども発達支援課
地域公開講座

子ども家庭支援センター
療育支援訪問事業

地域子育て相談センターひろば・講座事業

障がい福祉課
地域障がい者支援センター、地域活動支援センターまちプラ

生活援護課
地域学習支援事業

児童青少年課
子どもセンター事業、子どもクラブ事業、放課後子ども教室まちとも

指導課
地域未来塾

子育て推進課
出張子育て相談

生涯学習総務課
デジタルミュージアム、文化財出張展示

市民センターまつり

コミュニティセンターまつり

3R推進課
資源とごみの出前講座

図書館
移動図書館車

出張博物館

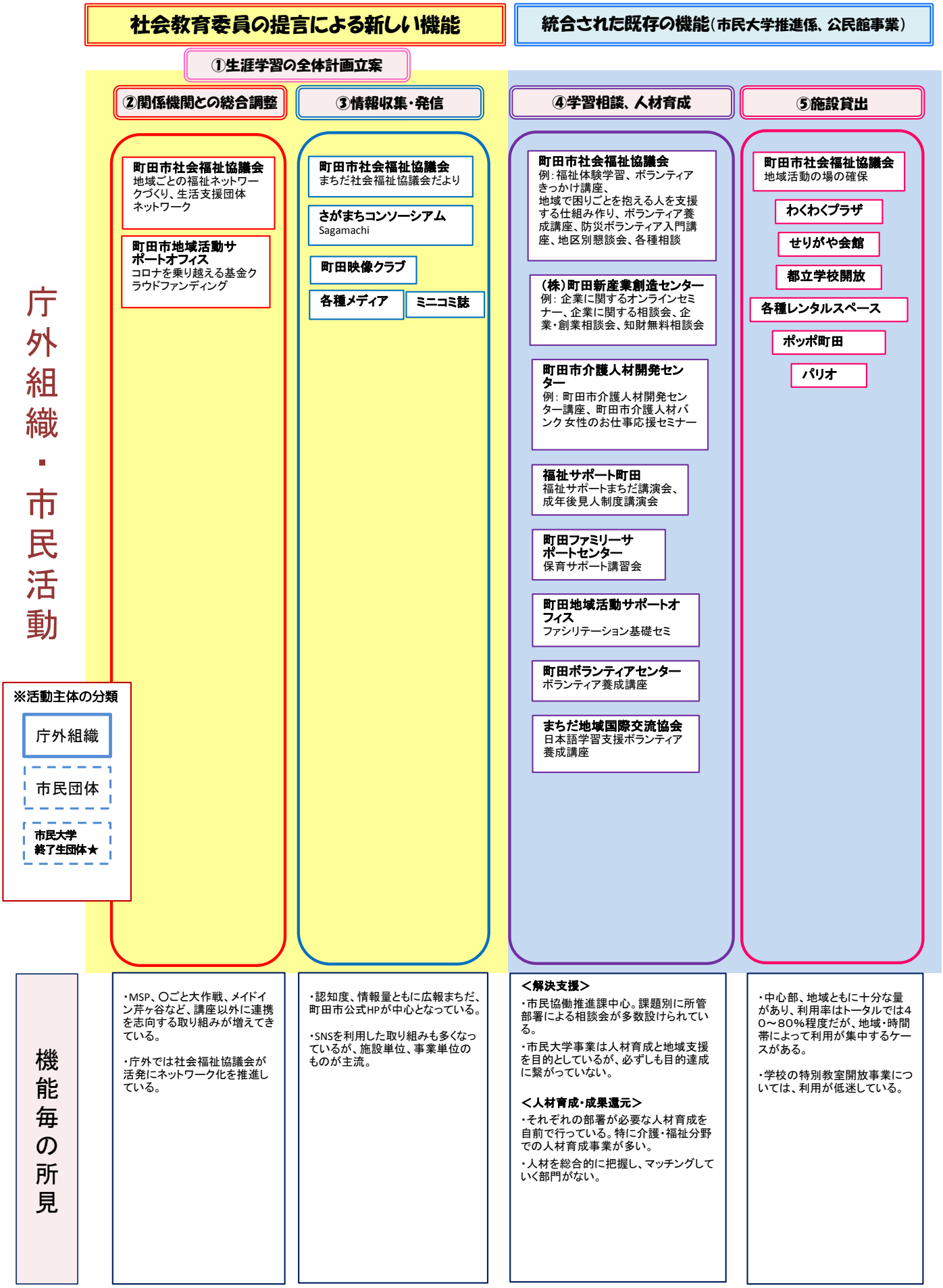
文学館
出張講座

オリパラ課
パブリックビューイング

生涯学習センター

他課・他部署

町田市



機能毎の所見

・MSP、〇ごと大作戦、メイドイン芹ヶ谷など、講座以外に連携を志向する取り組みが増えてきている。

・庁外では社会福祉協議会が活発にネットワーク化を推進している。

・認知度、情報量ともに広報まちだ、町田市公式HPが中心となっている。

・SNSを利用した取り組みも多くなっているが、施設単位、事業単位のものが主流。

＜解決支援＞

・市民協働推進課中心。課題別に所管部署による相談会が多数設けられている。

・市民大学事業は人材育成と地域支援を目的としているが、必ずしも目的達成に繋がっていない。

＜人材育成・成果還元＞

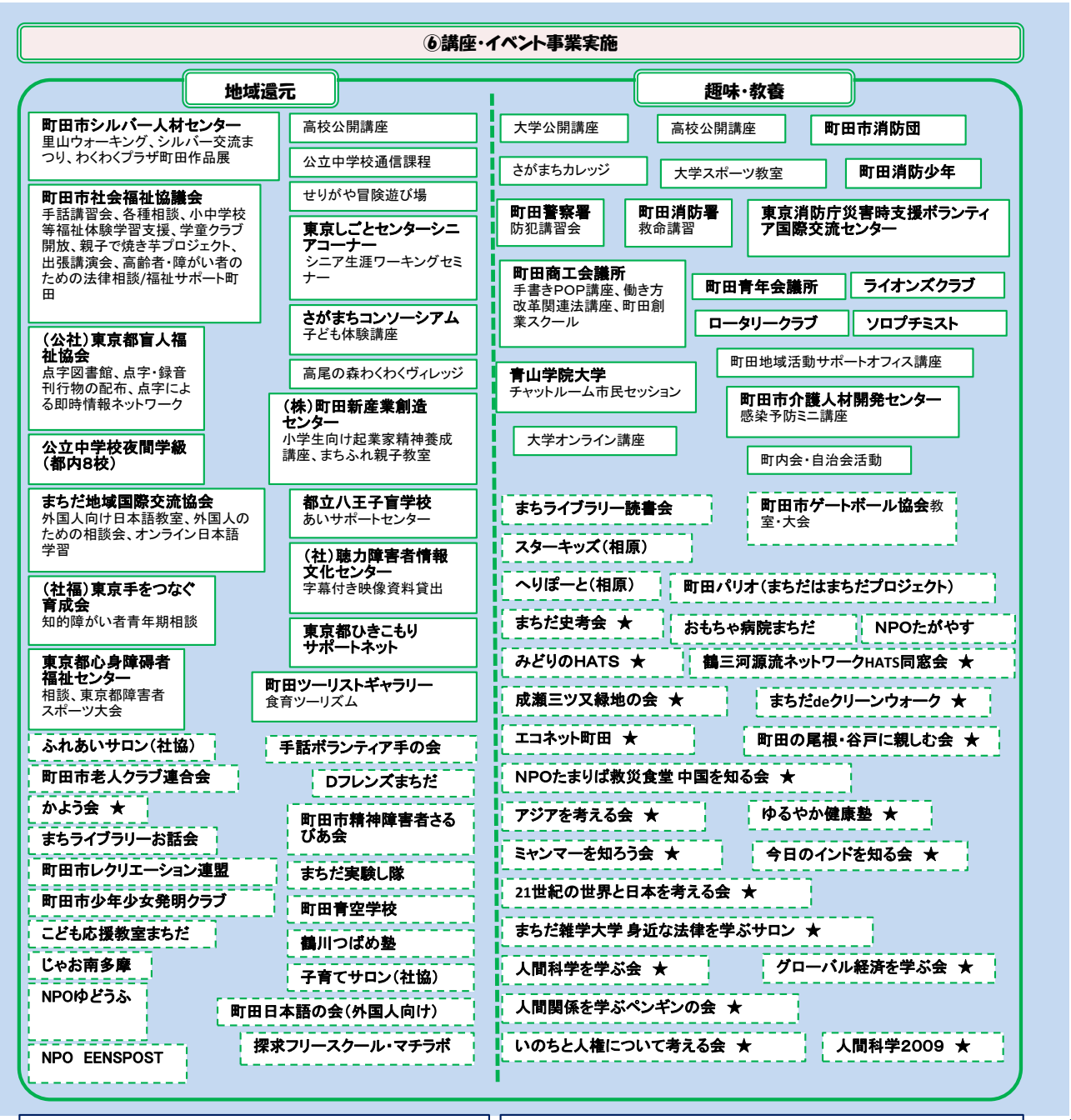
・それぞれの部署が必要な人材育成を自前で行っている。特に介護・福祉分野での人材育成事業が多い。

・人材を総合的に把握し、マッチングしていく部門がない。

・中心部、地域ともに十分な量があり、利用率はトータルでは40～80%程度だが、地域・時間帯によって利用が集中するケースがある。

・学校の特別教室開放事業については、利用が低迷している。

統合された既存の機能（市民大学推進係、公民館事業）



庁外組織・市民活動

＜高齢者＞

・主な担い手は、高齢者福祉課、シルバー人材センター、社会福協議会など。地域展開も進んでおり、市民・民間の活動も活発。

＜障がい者＞

・主な担い手は、障がい福祉課、社会福祉協議会。相談業務、子供対象事業が多く、成人向けの学習活動は少ない。

＜子ども、保護者・親子＞

・主な担い手は子ども生活部、学校教育部、保健所など。保育園や児童館、学校など地域に施設も多く、様々な主体がそれぞれの活動目的に合う様々な事業を展開している。

・市民団体も多数存在し、活発に活動している。

＜その他＞

・外国人向けは国際交流協会及び市民団体中心。

・ひきこもり・不登校に対する支援は官民で一定数あるが、成人の基礎学力習得の取組は少ない。

＜交流＞

・所管分野・施設単位で、交流や啓発を目的としたイベントは多数実施されている。

・ネットワーク自体をテーマとする取組は市民協働推進課、町田サポートオフィスが中心になっているものの数は多くない。

＜文化・芸術・歴史＞

・文化施設、生涯学習施設を中心に多様なイベント・講座が展開されている。大学等教育機関の公開講座も盛んにおこなわれている。

＜福祉・健康・スポーツ＞

・福祉・健康分野は、福祉部門、福祉施設、保健所等が主体。

・スポーツ分野は、体育施設のほか公園等でも実施されている。

＜自然・環境＞

・自然分野では、公園、青少年教育施設が主体。

・環境分野では、3R推進課、保健所が主体。

・自然・環境両分野とも、市民団体が活発に活動している。

＜平和・防災・国際交流＞

・防災・防犯は、市・消防・警察が中心で、自治会等地域の関心も高い。国際交流は、国際交流協会及び市民団体を中心に展開されている。

・平和をテーマととした取組はあまり行われていない。

機能毎の所見

2020年度 町田市生涯学習センター事業一覧

資料5

2020年度実績				
分類	事　業　名	件数、利用者数等		
生涯学習推進事業	・ 町田市生涯学習センターのホームページ	アクセス数：36,628		
	・ 生涯学習情報誌『生涯学習NAVI　好き！学び！』	4回（3ヶ月毎発行）		
	・ 町田市生涯学習センター（町田市公式）の Twitter（ツイッター）	発信数（投稿数）：151 登録数（フォロワー数）：242		
	・ 特別教室開放 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年3月2日から6月21日までは開放を中止し、2021年1月8日から3月31日までは夜間開放を中止しました。	延べ利用者数：820 本町田小学校　154 木曽境川小学校　315 小山ヶ丘小学校　233 鶴川中学校　118		
	・ 生涯学習ボランティアバンク ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年度は1日体験出前講座は中止しました。	延べ登録件数：137　利用：3		
		事業数	延回数	延参加人数
	1日体験出前講座（中止）	－	－	－
	・ 生涯学習連絡会「お悩み解決LABO」	1	1	16
小　計		1	1	16

2020年度実績				
分類	事　業　名	件数、利用者数等		
センターまつり	**＜第9回生涯学習センターまつり＞** ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年度はインターネットで開催しました。			
	●企画・運営、出演側　企画・運営委員会		13	－
	実行委員会（参加団体）		0	（29団体）
	展示			（13団体）
	発表	1		（13団体）
	模擬店			（0団体）
	ワークショップ			（3団体）
	準備・片付け等			なし
	●総アクセス数 （掲載期間：11月1日（日）～2021年3月31日（水）） **＜町田市生涯学習センター交流会＞**（中止） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年度は中止しました。	－ －	掲載期間 5か月間 －	アクセス数 8,210回 －
小　計		1	13	－

2020年度実績				
分類	事　業　名	事業数	延回数	延参加人数
市民大学事業	**●通年講座** ・ 多摩丘陵の自然入門　驚き感動まちだの自然大発見 **●前期講座** ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年度は中止しました。 ・ “こころ”と“からだ”の健康学　自分らしく元気に生きるために（中止） ・ 人間科学講座　テクノロジー・いのち・人権（中止） ・ くらしに活きる法律　これからのくらしと法律（中止） ・ 環境講座　まちだの水とみどり入門（中止） ・ 町田の歴史　祈りの形（中止） ・ まちだの福祉～町田で迎える、安心した老後～（中止） ・ まちだの芸術・文芸～まちだにゆかりの芸術・文芸に触れる（中止） **●前期特別講座** ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により前期講座を中止したため、 特別講座を行いました。 ・ ″こころ″と″からだ″の健康学　健康は足もとから ～シューフィッターが教える失敗しない靴選びのコツ！～ ・ 人間科学講座　老化しない脳と身体をつくる ・ くらしに活きる法律 「生活時間アプローチ」から 考える真の働き方・生き方改革 ～職場、家庭、地域と時間資源のあり方に関するパラダイムシフト～ ・ 環境講座　まちだの水とみどり入門 鶴見川下流を豪雨氾濫からまもったのは町田の緑 ・ 町田の歴史　市域の歴史に見る感染症との闘い ～疫病克服に奮闘した人びと～ ・ まちだの芸術・文芸　町田市ゆかりの作家たち **●後期講座** ・ “こころ”と“からだ”の健康学　自分らしく元気に生きるために ・ 人間関係学講座　―お互いを認め合い、共に生きる― ・ まちだ市民国際学　混迷を深める世界 ～変革が求められる私たち～ ・ 環境講座　まちだのまちとくらしのエコ入門 地球にやさしい「わたし」と「まちだ」を探しに ・ 町田の歴史　祈りの形 ・ まちだの福祉 ～町田で迎える、安心した老後～	20	65	1,866
小　計		20	65	1,866

2020年度実績				
分類	事　業　名	事業数	延回数	延参加人数
公民館事業	**●市民提案型事業　講座づくり☆まちチャレ** ・『発達が気になる子どもの可能性 ～からだへのアプローチが発達改善の鍵！』 ・『誰でも一緒に楽しめるスポーツ　～パラスポーツ＆ フラダンスを体験して共生社会を考えよう～』 ・『新型コロナにまけるな！外出を地域で支えよう』 ・『「自分に素直にはたらくを考えよう！」 ～子育てしながら、町田で暮らしながら、はたらく～』 ・『だれにでも「まなびの場」を ～自主夜間中学ってなに？～』 ・『身近な外国人と日本語でコミュニケーション ～「やさしい日本語」って知ってますか？』	6	29	446
	●コンサート事業 ・第15回まちだフレッシュコンサート（中止） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年度は中止しました。 ・早川純バンドネオン・ソロコンサート ・マリンバ＆パーカッションアンサンブル	3	2	150
	●平和祈念事業「夏の平和イベント」 ・町田市立中央図書館PR展示 ・戦時資料展示＆昔遊びコーナー ・戦時中の体験「1枚のハガキ」の展示 ・「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター」 「サダコと折り鶴ポスター」の展示 ・語り継ぐ広島原爆被爆体験＆ かわせみ座による朗読劇「折り鶴の少女」 ・懐かしの16mmフィルムで観る平和映画上映会 ・プロ棋士から学ぼう！親子将棋教室 ・語り継ぐ長崎原爆被爆体験＆ まちだ語り手の会「絵本と語り」 ・ドキュメンタリー映画「筑波海軍航空隊」上映会	9	12	515

2020年度実績				
分類	事　業　名	事業数	延回数	延参加人数
公民館事業	**●連携・共催事業** ・ 和光大学共催講座 「日常と非日常をつなぐ美術の楽しみ方」（中止） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年度は中止しました。 ・ 学生活動報告会「ガクマチEXPO」ミニイベント 「オンラインだけどつながりたい！を生配信！」 ・ 学生活動報告会「ガクマチEXPO」 ～つながり発見！オンライン旅に出かけよう！～ ・ さがまちコンソーシアム協働事業 さがまちカレッジ町田市連携講座 （生涯学習センター開講講座、こども体験講座） ・ 町田国際交流センター協力事業 「外国のダンスとお話と」 ・ 政府拉致問題対策本部・町田市福祉総務課共催事業 ドキュメンタリー映画「めぐみ」上映会 ・ 鶴川地区協議会共催事業 3水スマイルラウンジ「まなびのひろば」	7	12	347
	●その他 ・ 学習支援事業「まなびテラス」 ・ オンライン（ステイホーム）学習（①～④） ●コンテンツ数　44 ●総アクセス数（全コンテンツ合計） （掲載期間：5月13日（水）～2021年3月31日（水））	2	34 掲載期間 約11か月間	710 アクセス数 22,685回
小　計		27	89	2,168

2020年度実績				
分類	事　業　名	事業数	延回数	延参加人数
家庭教育支援事業	・ 親と子のまなびのひろば 「きしゃポッポ」「パパと一緒にきしゃポッポ」 ・ 家庭教育支援学級 ・ 家庭教育支援学級「親子で楽しむクリスマス会」 ・ 19ゼミ講座企画 「深めよう親子の絆～幼児期に自然に伝える性教育・ふれあい遊び」 ・ 乳幼児の保護者向け講座 「ココロも、カラダも、はずむ子育て」 ・ 小学校低学年の保護者向け講座 「小学校からのイロイロ？！～自分と、子どもと上手に付き合う方法～」 ・ 小学校3年生から6年生の保護者のための講座 「子どものこころの発達と親のかかわり方～楽しく「親になる」ポイント～」 ・ 思春期講座 「思春期の子どもの”今”と向き合う…15の私への手紙」 ・ 子育てカフェ　つばめ	9	95	877
小　計		9	95	877

2020年度実績					
分類	事　業　名		事業数	延回数	延参加人数
障がい者青年学級	**●学級活動**		1		
	・ 公民館学級	学級生		16	614
		ボランティア担当者			276
	・ ひかり学級	学級生		8	248
		ボランティア担当者			45
	・ 土曜学級	学級生		7	179
		ボランティア担当者			112
	●生涯学習センターまつり ※2020年度は、インターネット開催の生涯学習センターまつりに活動を動画にして参加しました。	学級生		1	0
		ボランティア担当者			0
	●担当者会議、調整会議、学級活動総括、総括委員会、ニュース作成、実践報告集編集委員会、担当者学習会			169	923
小　計			1	201	2,397

2020年度実績				
分類	事　業　名	事業数	延回数	延参加人数
ことぶき大学	・「まちだ探・探ゼミナール」 あなたの好奇心を探究・探検しましょう ・「音楽コース」 なつかしい歌とともに 声を鍛えてエネルギッシュになりましょう ・「音楽（堺）コース」 ハーモニーのつどい～音楽を楽しむ～ ・「くらしコース」 くらしを豊かにする知識 ・「健康コース」 心と体！！元気ハツラツ！ みんな楽しく音楽でリフレッシュ♫ ・「教養コース」 近代日本社会の創造者　渋沢栄一 ・「歴史コース」 江戸を探検する	7	50	1,362
小　計		7	50	1,362
その他	印刷機講習会	1	0	0

※（中止）の表記は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となったものです。

※＜参考＞新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館について
2020年3月2日～6月7日：終日休館
2020年6月8日～14日：学習室3・4の利用休止、土日・祝日の休館、夜間休館（17時15分以降）
2021年1月8日～3月31日：夜間休館（17時以降）

	2020年度実績		
	事業数	延回数	延参加人数
合　計	67	514	8,686

（2020年度オンライン形式事業（生涯学習センターまつり、オンライン（ステイホーム）学習
インターネットアクセス実績計：30,895回）

資料６

生涯学習センター利用者アンケート結果について

（１）対象・実施日・実施場所

	実施日	曜日	実施場所	対象	取得数
1	2020 年 9 月 27 日	日	生涯学習センター	施設貸出利用者 （団体ロッカー利用者）	87
2	9 月 30 日～ 10 月 12 日	水 月	生涯学習センター	一般来館者 （受付前に回収箱を設置）	74
3	10 月 30 日	金	生涯学習センター	講座受講者 （家庭教育学級）	14
4	10 月 9 日	金	生涯学習センター	講座受講者 （市民大学歴史）	46
5	10 月 7 日	水	文学館	生涯学習施設利用者	29
6	10 月 12 日	月	市民フォーラム	集会施設利用者	31
7	10 月 13 日	火	南市民センター	集会施設利用者	27
8	10 月 14 日	水	なるせ駅前市民センター	集会施設利用者	25
9	10 月 15 日	木	鶴川市民センター	集会施設利用者	43
10	10 月 16 日	金	忠生市民センター	集会施設利用者	50
11	10 月 20 日	火	堺市民センター	集会施設利用者	43
12	10 月 22 日	木	小山市民センター	集会施設利用者	31
13	10 月 27 日	火	中央図書館	生涯学習施設利用者	37
				合計	537

（２）実施手法

１　　団体ロッカー抽選会場にアンケートブースを設置し、職員が来場者に呼びかけて実施。
２　　期間中、施設 6 階受付前にアンケート箱を設置。
３・４　講座実施の際、受講者に配布し回収。
５～13　①各施設に半日程度アンケートブースを設置し、職員が来場者に呼びかけて実施。
　　②各施設の施設貸出利用団体（20 団体）に受付時にアンケートを配布し回収。

（３）結果概要

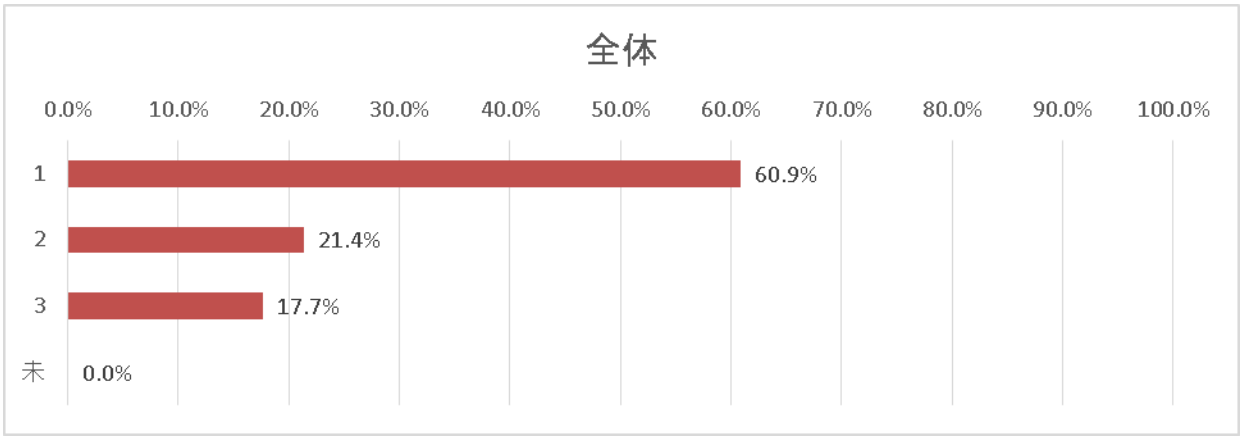
①問１　利用経験

〇回答者の約 60%の方が生涯学習センターの利用経験がある。

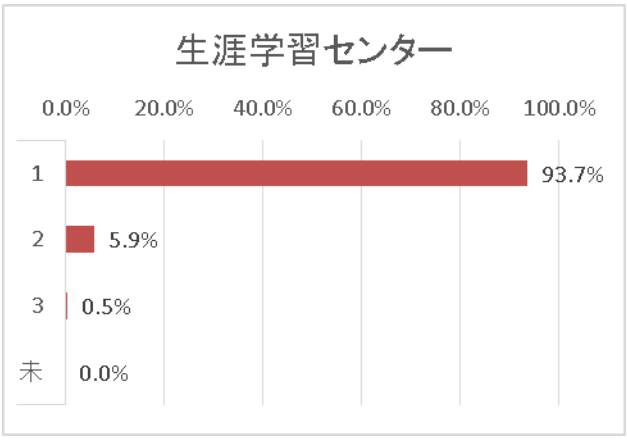
〇生涯学習センターとの距離が離れるほど利用経験者の比率は下がり、忠生・なるせ駅前・堺・小山の各市民センターでは利用経験者の比率は 30%以下に下がる。比較的、地域展開の機会の多い鶴川市民センターのみ 50%を超えている。

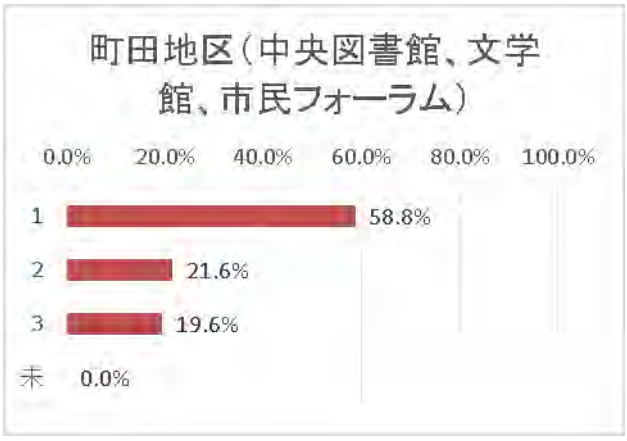
〇中心市街地の文学館、市民フォーラム利用者では 85～90%が生涯学習センターを知っているが、施設貸出を実施していない中央図書館では、知っている方の割合は 70%弱に下がる。

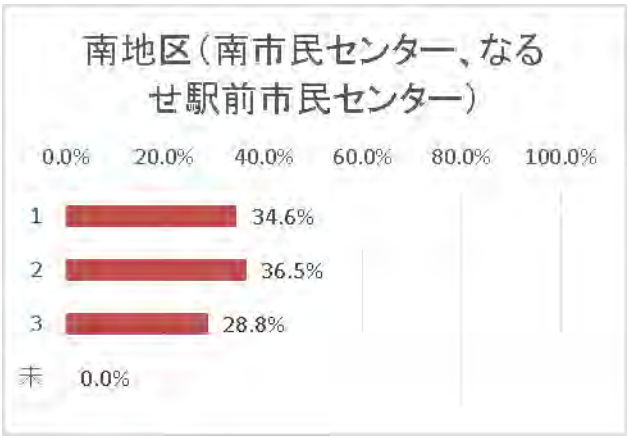
問１　生涯学習センターをご存知ですか。
１　知っており、利用したことがある　→１を選んだ方は問２へ
２　知っているが、利用したことはない　→２を選んだ方は問５へ
３　知らない　→３を選んだ方は問５へ

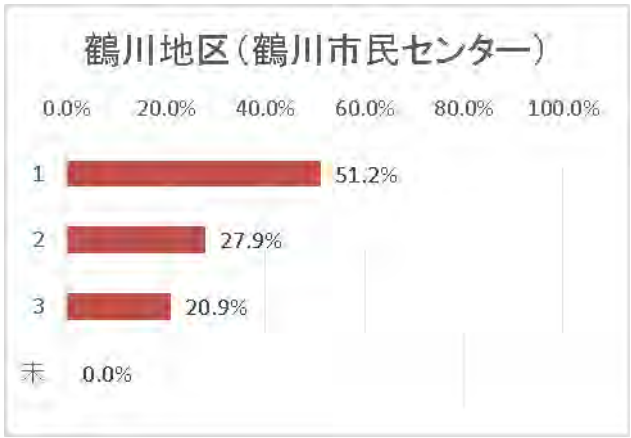


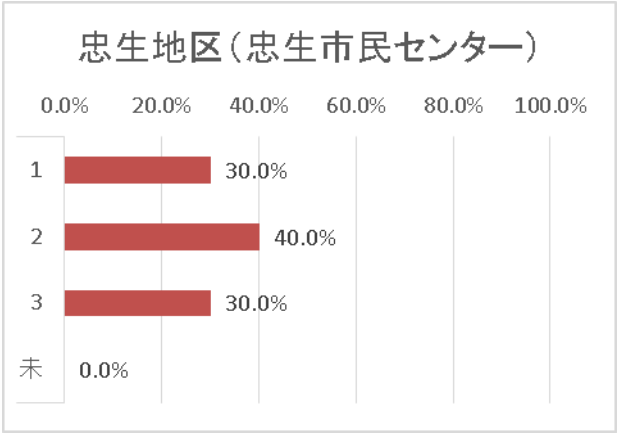
1．施設・地域別

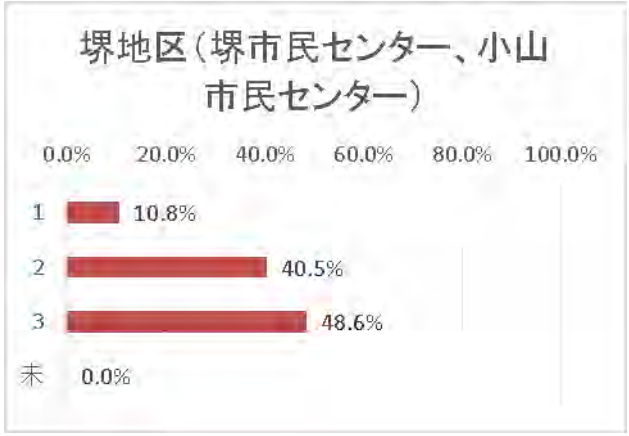






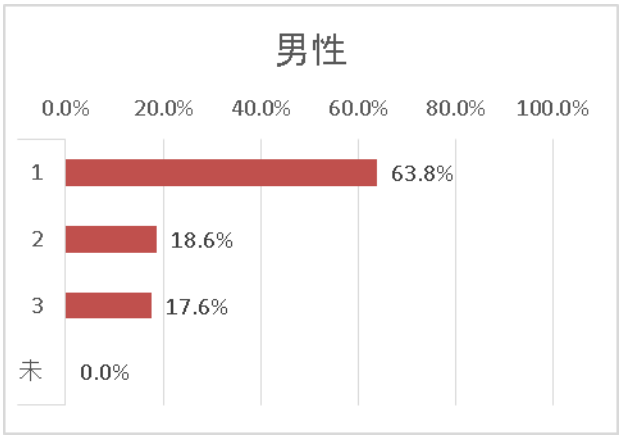


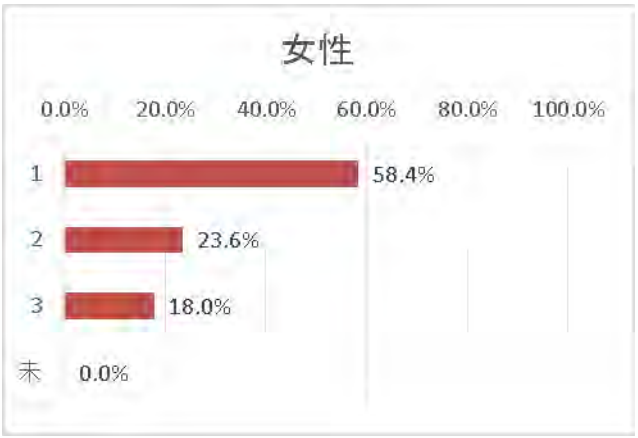




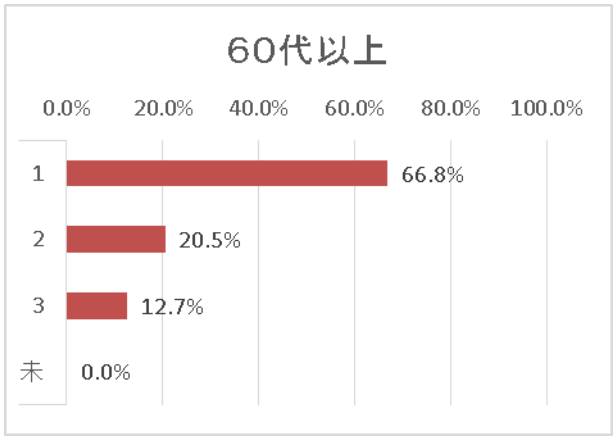
※グラフ中の「未」は設問に未回答であった方の割合です。

２．性別





３．年齢別

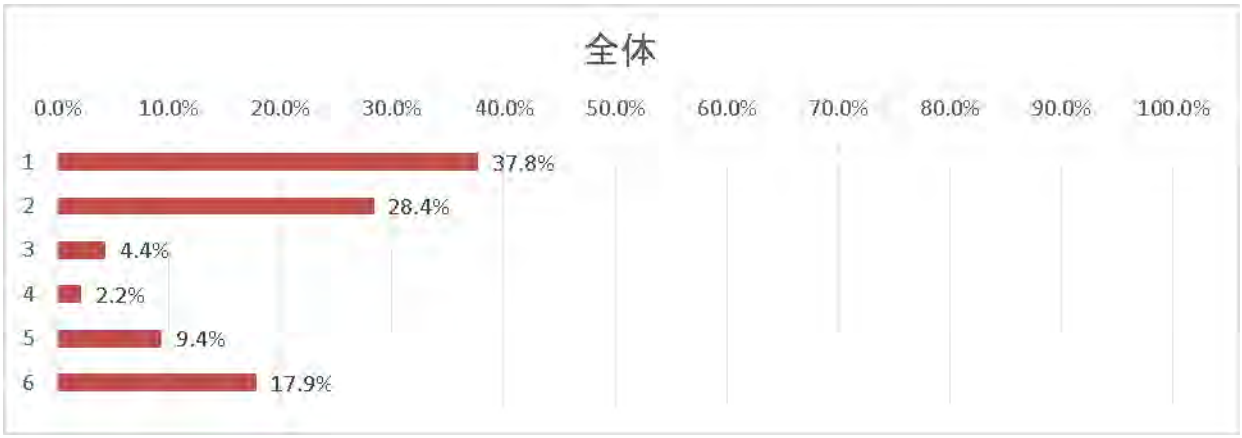


※グラフ中の「未」は設問に未回答であった方の割合です。

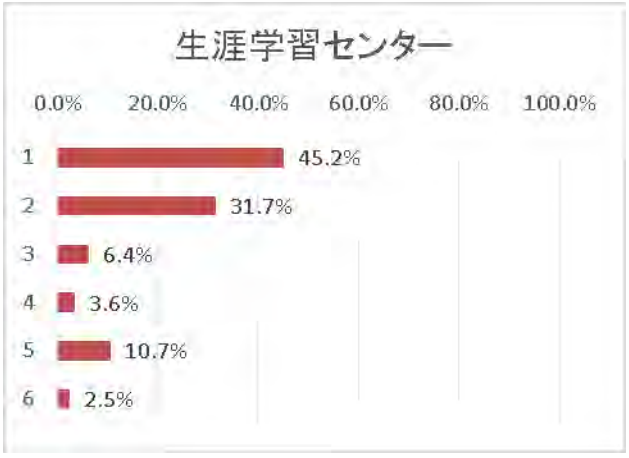
②問２　利用目的

○講座・講演会事業への参加（37.8%）、施設貸出（28.4%）、自主学習（9.4%）、情報収集（4.4%）、学習相談（2.2%）の順。事業参加、場の提供（施設貸出+自主学習）がいずれも約 40%で利用の中心を占めている。

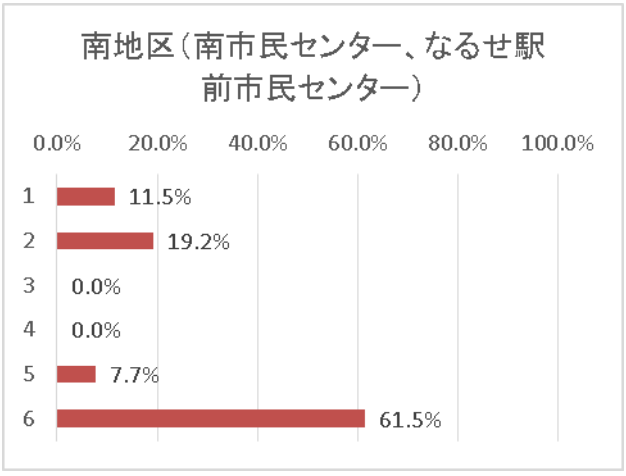
問２　この１年間、生涯学習センターのサービスを利用しましたか。（○はいくつでも）	
１　講座・講演会	４　学習相談
２　施設貸出	５　フリースペースでの自主学習
３　学習情報提供（ＨＰ・情報誌）	６　利用していない


全体
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%
1 37.8%
2 28.4%
3 4.4%
4 2.2%
5 9.4%
6 17.9%

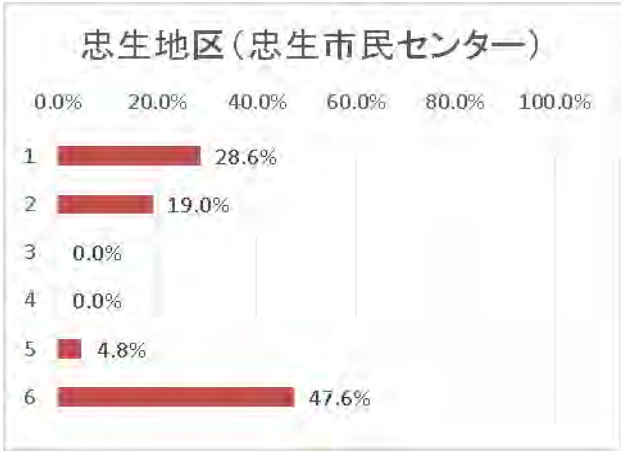
1．施設・地域別

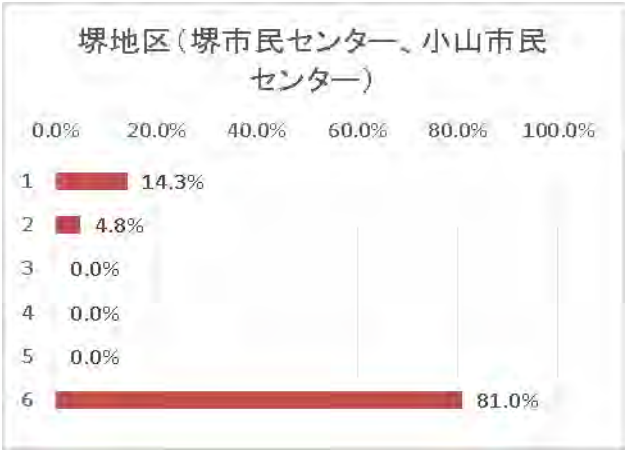

生涯学習センター
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 45.2%
2 31.7%
3 6.4%
4 3.6%
5 10.7%
6 2.5%

町田地区（中央図書館、文学館、市民フォーラム）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 31.2%
2 32.5%
3 2.6%
4 0.0%
5 10.4%
6 23.4%

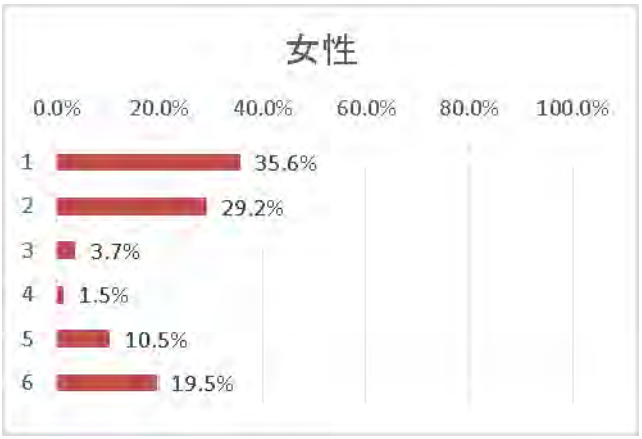

南地区（南市民センター、なるせ駅前市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 11.5%
2 19.2%
3 0.0%
4 0.0%
5 7.7%
6 61.5%

鶴川地区（鶴川市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 31.3%
2 18.8%
3 0.0%
4 0.0%
5 6.3%
6 43.8%

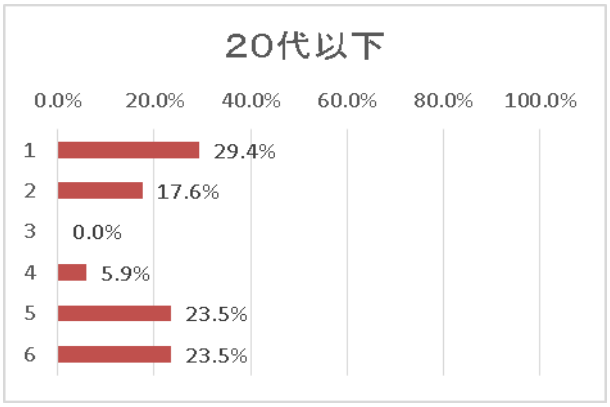

忠生地区（忠生市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 28.6%
2 19.0%
3 0.0%
4 0.0%
5 4.8%
6 47.6%

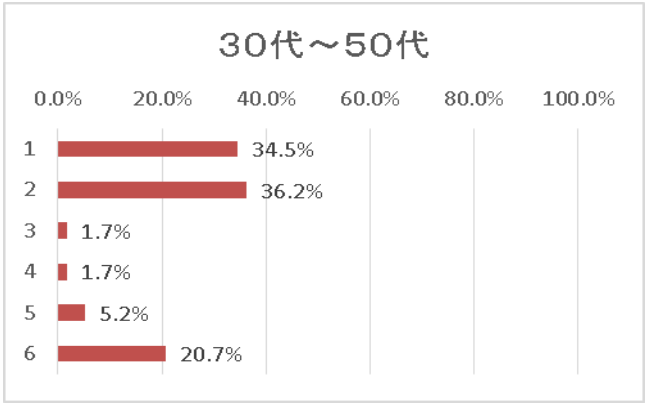

堺地区（堺市民センター、小山市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 14.3%
2 4.8%
3 0.0%
4 0.0%
5 0.0%
6 81.0%

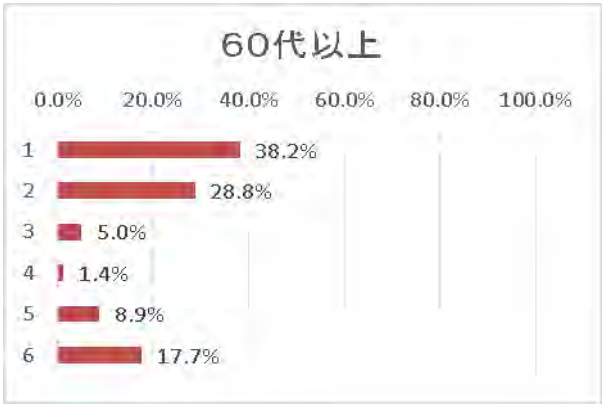
２．性別



３．年齢別



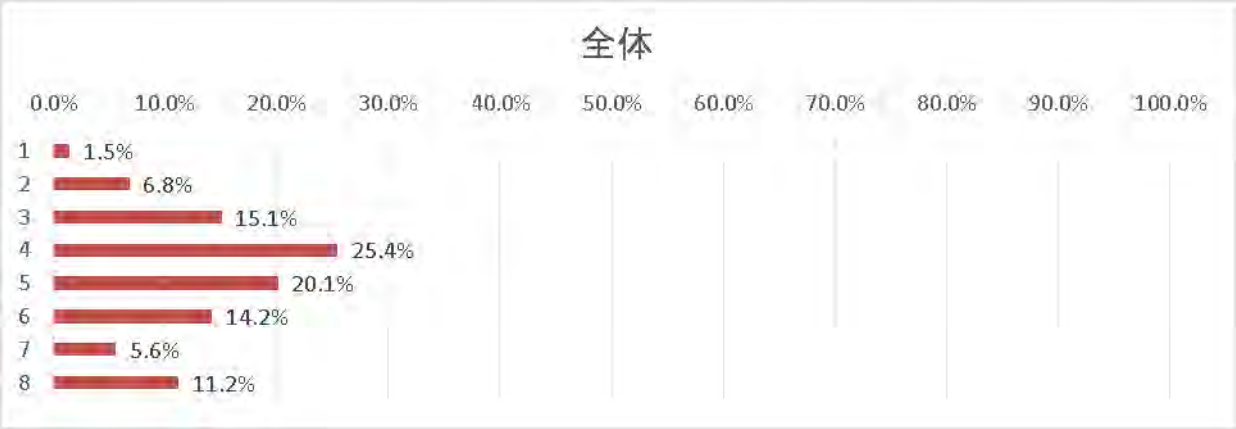




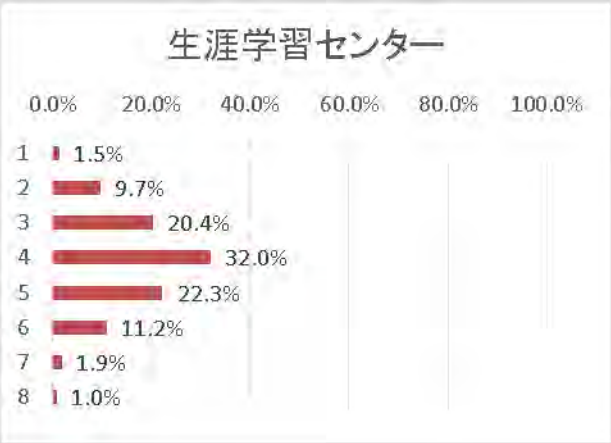
③問３　利用頻度

○月数回（25.4%）、月１回（20.1%）、週１回（15.1%）、年数回（14.2%）の順。月１回と月数回の利用者が全体の 45%強を占めている。

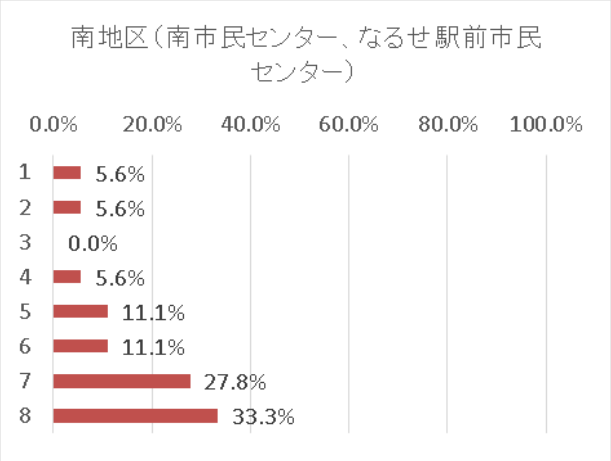
問３　生涯学習センターを利用する頻度はどのくらいですか。	
１　ほぼ毎日	５　月に１回程度
２　１週間に数回程度	６　年に数回程度
３　１週間に１回程度	７　年に１回程度
４　月に数回程度	８　数年に１回程度以下

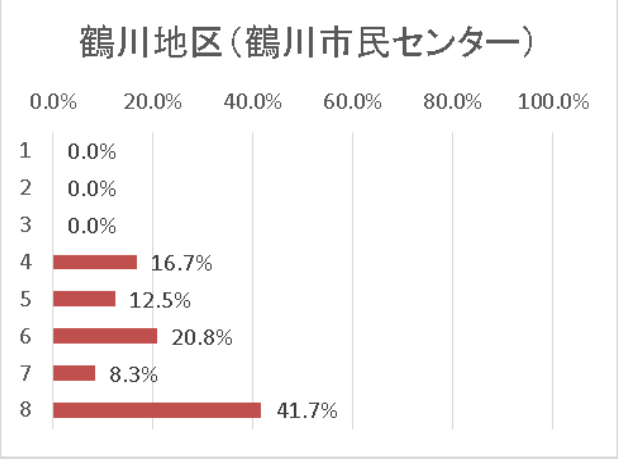

全体
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%
1 1.5%
2 6.8%
3 15.1%
4 25.4%
5 20.1%
6 14.2%
7 5.6%
8 11.2%

1．施設・地域別

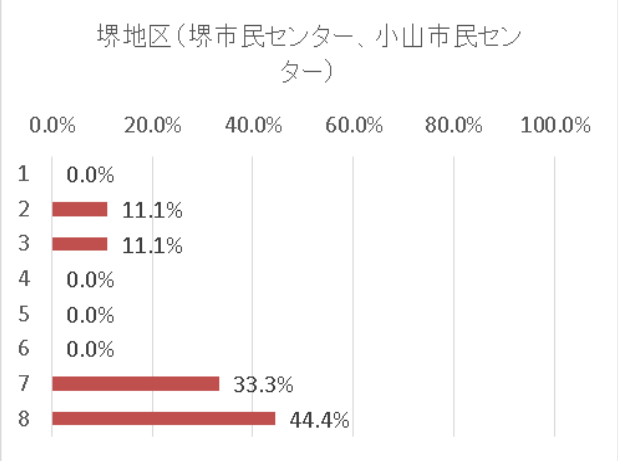

生涯学習センター
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 1.5%
2 9.7%
3 20.4%
4 32.0%
5 22.3%
6 11.2%
7 1.9%
8 1.0%

町田地区（中央図書館、文学館、市民フォーラム）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 0.0%
2 1.6%
3 9.4%
4 20.3%
5 21.9%
6 23.4%
7 4.7%
8 18.8%

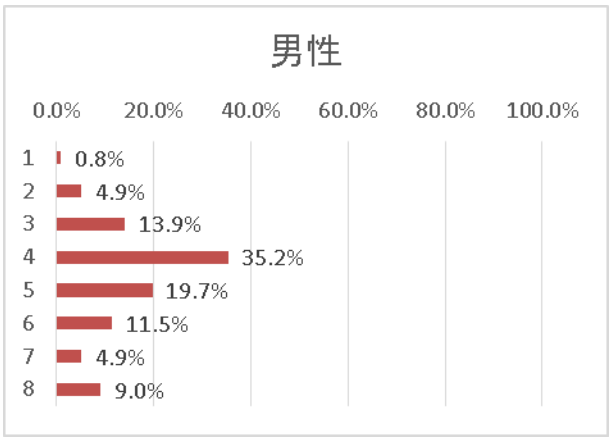

南地区（南市民センター、なるせ駅前市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 5.6%
2 5.6%
3 0.0%
4 5.6%
5 11.1%
6 11.1%
7 27.8%
8 33.3%


鶴川地区（鶴川市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 0.0%
2 0.0%
3 0.0%
4 16.7%
5 12.5%
6 20.8%
7 8.3%
8 41.7%

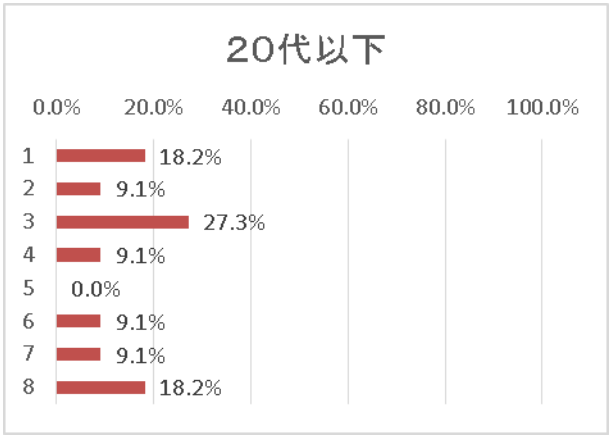
忠生地区（忠生市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 5.9%
2 0.0%
3 11.8%
4 11.8%
5 17.6%
6 17.6%
7 11.8%
8 23.5%

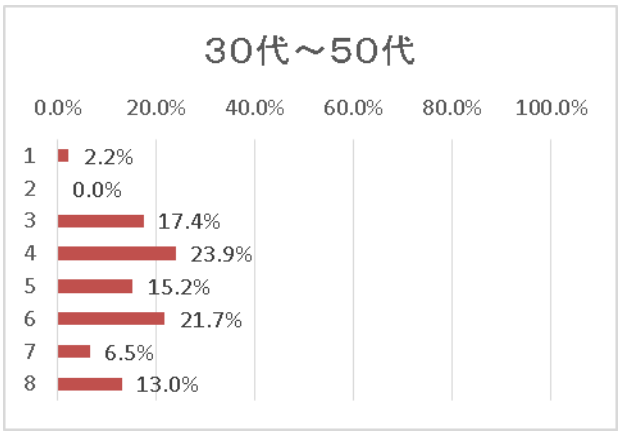

堺地区（堺市民センター、小山市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 0.0%
2 11.1%
3 11.1%
4 0.0%
5 0.0%
6 0.0%
7 33.3%
8 44.4%

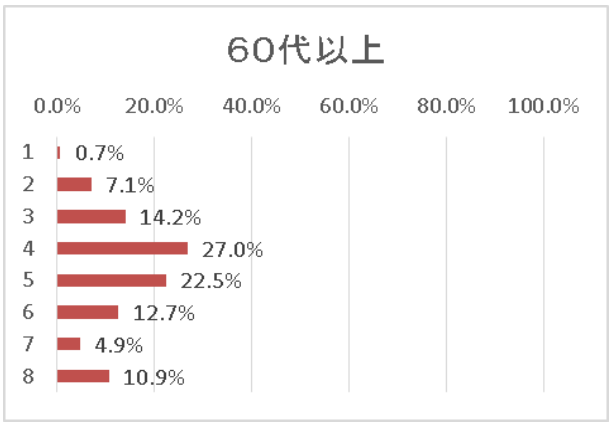
２．性別



３．年齢別







④問４　現状の評価ポイント

〇駅が近い（81.0%）は利用者の 80%から評価されている。

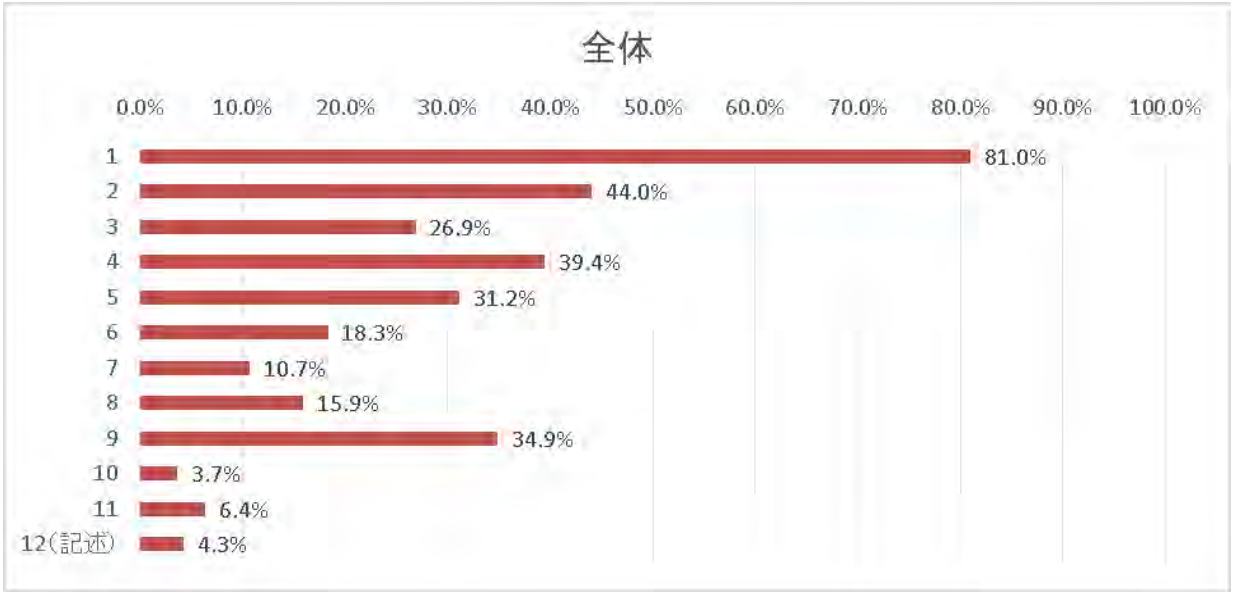
〇講座・イベント内容（44.0%）、貸出設備（39.4%）は利用者の約 40%に評価されている。

〇職員対応（34.9%）は、受付の管理員（シルバー人材センター）も含んでの評価となっている。

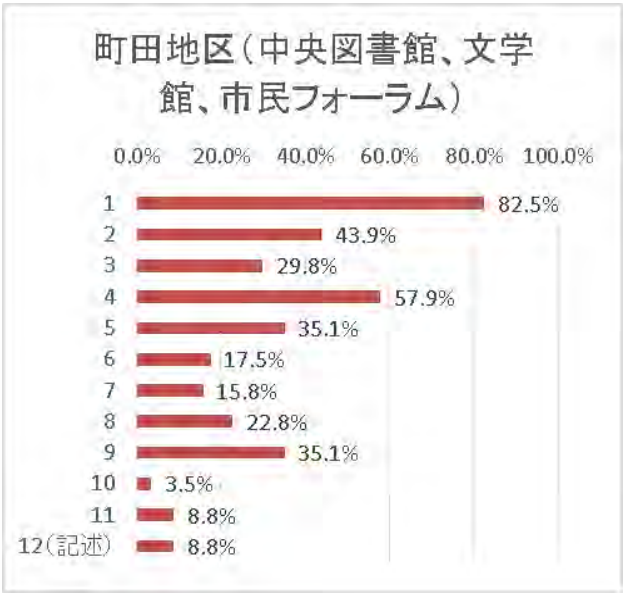
〇休館日の少なさ（18.3%）、夜間開館（10.7%）、商業施設との複合（15.9%）はいずれも 20%以下の評価に留まっている。

問４　生涯学習センターの良いところはどこですか（〇はいくつでも）

1　駅が近くて来館しやすい
2　興味のある講座・イベントをしている
3　生涯学習に関する幅広い情報が得られる
4　利用したい部屋や設備が貸し出されている
5　施設の雰囲気が良く、居心地がよい
6　休館日が少なく、いつでも利用しやすい
7　22 時まで開館しているので、夜間に利用できる
8　商業施設と繋がっているので便利
9　職員の対応が良い
10　特になし
11　わからない
12　その他　（　　）



１．施設・地域別



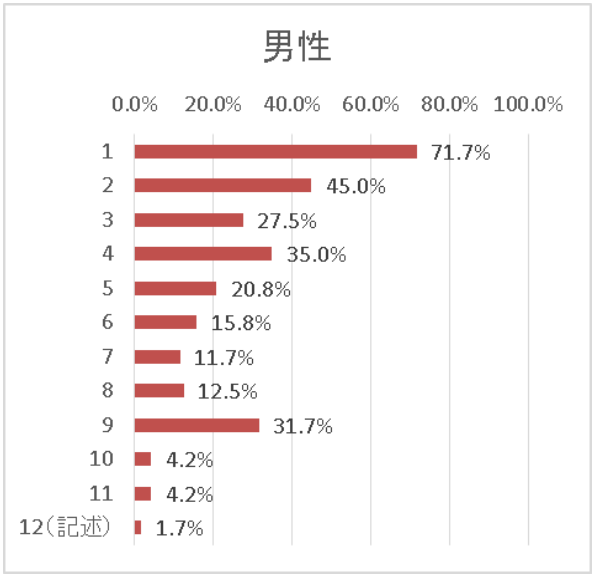
南地区（南市民センター、なるせ駅前市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 88.9%
2 16.7%
3 16.7%
4 27.8%
5 16.7%
6 11.1%
7 0.0%
8 11.1%
9 16.7%
10 16.7%
11 11.1%
12（記述） 5.6%

鶴川地区（鶴川市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 72.7%
2 36.4%
3 13.6%
4 40.9%
5 27.3%
6 18.2%
7 4.5%
8 27.3%
9 18.2%
10 9.1%
11 13.6%
12（記述） 0.0%

忠生地区（忠生市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 46.7%
2 53.3%
3 26.7%
4 33.3%
5 13.3%
6 6.7%
7 6.7%
8 6.7%
9 20.0%
10 6.7%
11 6.7%
12（記述） 0.0%

堺地区（堺市民センター、小山市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 25.0%
2 12.5%
3 0.0%
4 12.5%
5 12.5%
6 0.0%
7 0.0%
8 0.0%
9 0.0%
10 25.0%
11 12.5%
12（記述） 12.5%

２．性別


男性
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 71.7%
2 45.0%
3 27.5%
4 35.0%
5 20.8%
6 15.8%
7 11.7%
8 12.5%
9 31.7%
10 4.2%
11 4.2%
12（記述） 1.7%

女性
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 87.2%
2 43.6%
3 25.0%
4 42.0%
5 38.3%
6 19.7%
7 9.0%
8 18.6%
9 37.8%
10 2.7%
11 6.9%
12（記述） 5.9%

３．年齢別

４．**自由記入**

537 件の回答中、14 件に自由記入欄の記載があった。

〈主な意見〉

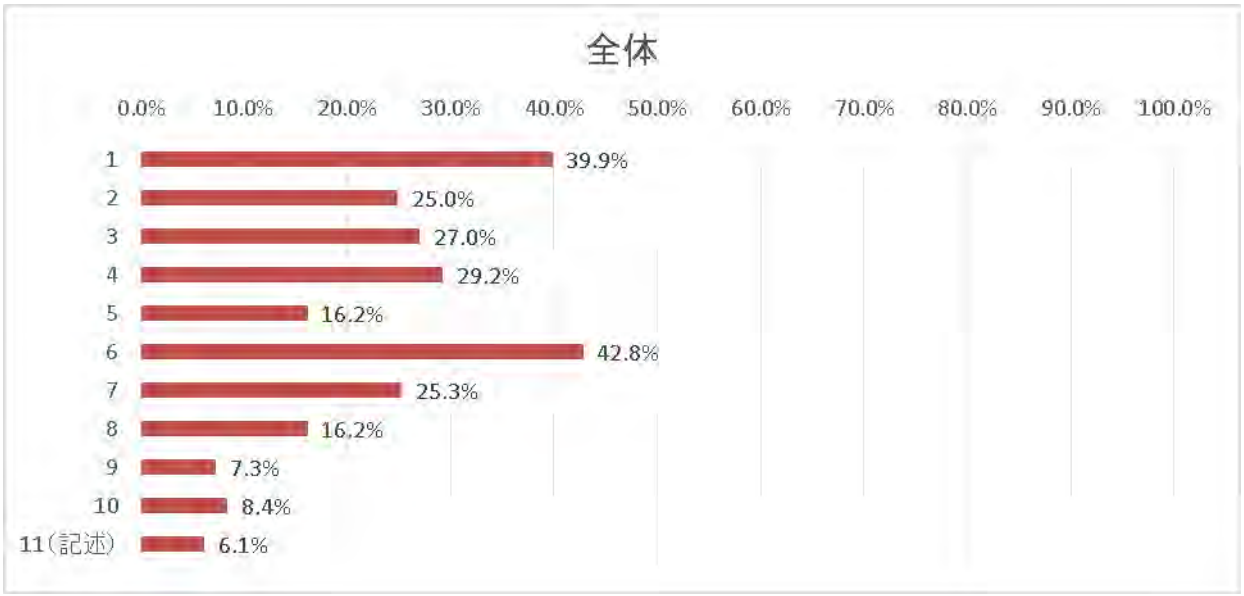
〇施設が良く管理されていて、きれいで開放的で良い。
〇市民の学習権を保障する公民館であるところ。
〇町田市の広報冊子や情報誌を一度に得られる。
〇としよりにも利用しやすい。

⑤問５　今後の重点

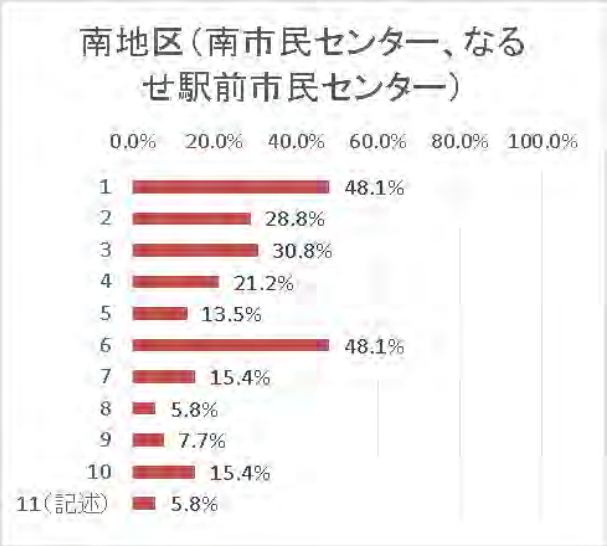
〇入門的講座（42.8%）、学びのセーフティネット（39.9%）、地域での課題解決講座（29.2%）の順に高い。
〇オンライン学習（27.0%）、情報提供（25.3%）、アウトリーチ（25.0%）についても１／４が重要と考えている。
〇地域リーダーの支援（16.2%）、学習成果の還元（16.2%）を重要と考える方は１／５以下に留まっている。
〇堺・小山・鶴川など生涯学習センターから離れた地域では地域での講座実施を望む意見がある。

問５　生涯学習センターが今後、充実すべきと思うサービスは何ですか（○はいくつでも）

1　学ぶことに支援が必要な人たち（例・障がいがある人、言葉の壁がある外国人など）への支援
2　施設に来られない人向けの地域での講座・イベント開催
3　インターネットを活用したオンライン学習
4　地域の課題を扱った講座の地域での開催
5　地域のリーダー・コーディネーターの育成・支援
6　学ぶ楽しさの伝わる入門的な講座・イベントの開催
7　生涯学習センターの事業だけでなく地域の様々な学習情報の提供
8　学習成果を地域へ還元する仕組み作り
9　特になし
10　わからない
11　その他（　　）

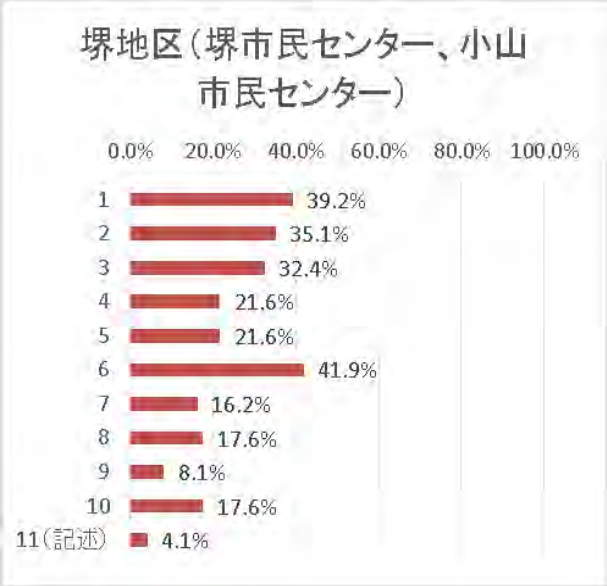


１．施設・地域別


南地区（南市民センター、なるせ駅前市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 48.1%
2 28.8%
3 30.8%
4 21.2%
5 13.5%
6 48.1%
7 15.4%
8 5.8%
9 7.7%
10 15.4%
11（記述） 5.8%

鶴川地区（鶴川市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 32.6%
2 32.6%
3 30.2%
4 23.3%
5 16.3%
6 53.5%
7 18.6%
8 14.0%
9 7.0%
10 9.3%
11（記述） 2.3%

忠生地区（忠生市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 38.0%
2 26.0%
3 26.0%
4 16.0%
5 12.0%
6 40.0%
7 28.0%
8 10.0%
9 6.0%
10 10.0%
11（記述） 4.0%


堺地区（堺市民センター、小山市民センター）
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 39.2%
2 35.1%
3 32.4%
4 21.6%
5 21.6%
6 41.9%
7 16.2%
8 17.6%
9 8.1%
10 17.6%
11（記述） 4.1%

２．性別

男性
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 28.2%
2 18.6%
3 32.4%
4 33.0%
5 14.9%
6 36.2%
7 23.9%
8 17.0%
9 8.5%
10 6.9%
11（記述） 9.0%

女性
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%
1 46.6%
2 28.6%
3 24.2%
4 26.7%
5 15.2%
6 46.9%
7 26.1%
8 15.2%
9 6.5%
10 8.7%
11（記述） 4.7%

３．年齢別

４．**自由記入**

537 件の回答中、33 件に自由記入欄の記載があった。

〈主な意見〉

〇特色ある町田ならではの講座を継続する。
〇可能であれば仕事とのコネクションを作りたい。ＮＰＯなどでもいい。
〇パソコン、タブレット、スマホ講習
〇地域のコミュニティセンターで出前講座をしてほしい。
〇保育付の講座の充実。というか保育してもらって色んな講座が受けられたらいいのに・・・育児と無関係の講座も受けたい。
〇利用料を安くしてください。
〇月の利用制限をなくしてほしい。

⑥問６　運営

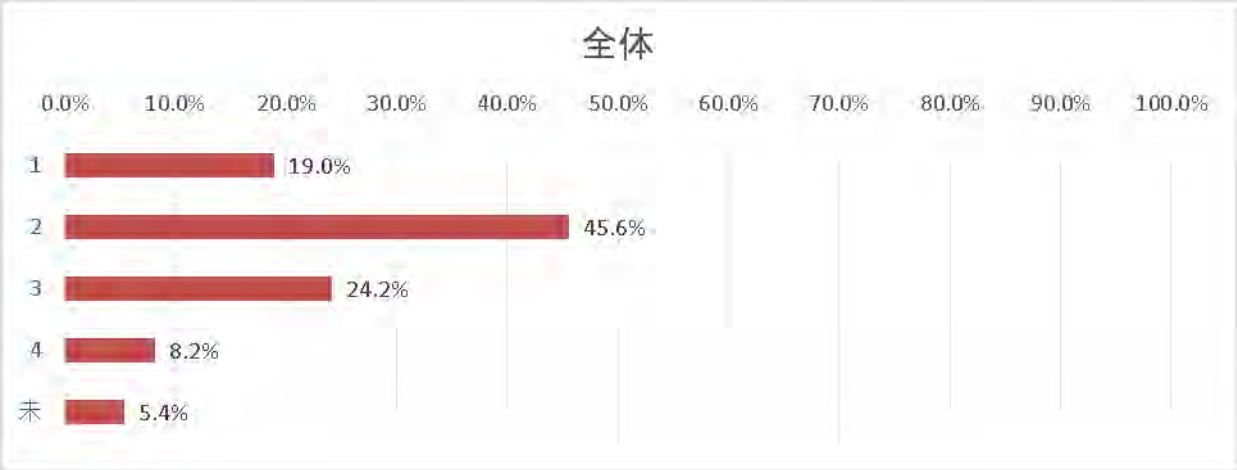
〇**「サービスが低下しないなら市でも民間でもいい」が最多（45.6%）。**「市が直接、管理運営した方がいい」は 24.2%、「サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい」は 19%。
〇生涯学習センター講座受講者・貸出施設利用者でも、「サービスが低下しないなら市でも民間でもいい」が最多となっている。

〇全体のうち、生涯学習センターの一般利用（受付前設置分）のみ「市が直接、管理運営した方がいい」が最多（67.6%）となっている。

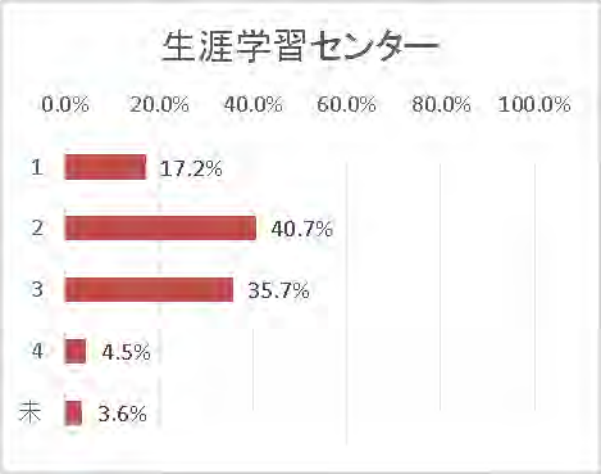
〇生涯学習センター以外の施設では、全施設で「サービスが低下しないなら市でも民間でもいい」が最多となっている。「サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい」と「市が直接、管理運営した方がいい」は同水準、「サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい」が「市が直接、管理運営した方がいい」を上回っている施設が多い。

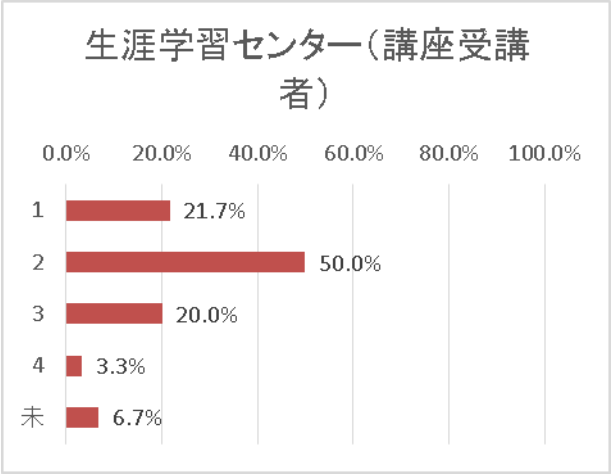
問６　他市の生涯学習センターや公民館の中には、民間事業者が事業の実施や施設の管理運営を行っている施設があります。事業や施設の運営を民間事業者が行うことを、どう思われますか？

1　サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい
2　サービスが低下しないなら市でも民間でもいい
3　市が直接、管理運営した方がいい
4　わからない

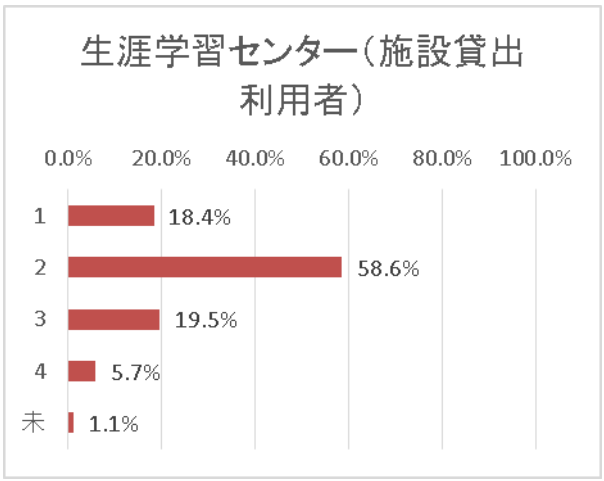


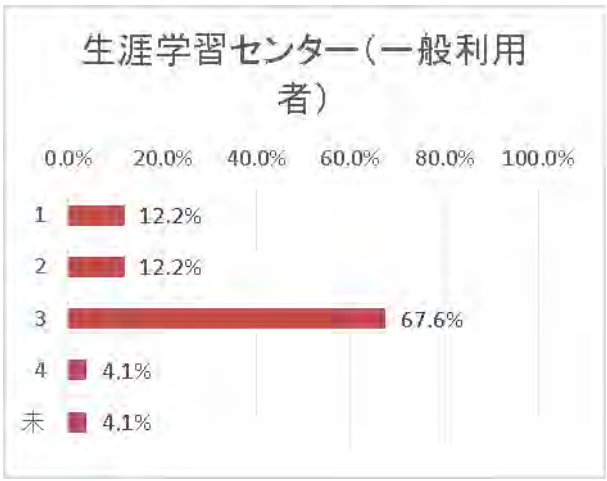
１．施設・地域別

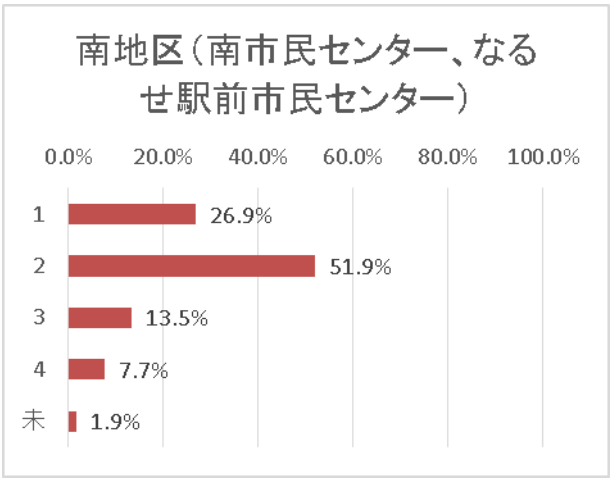


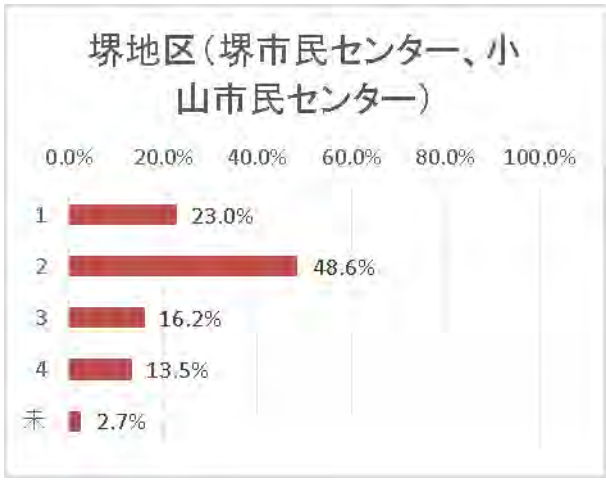


※グラフ中の「未」は設問に未回答であった方の割合です。



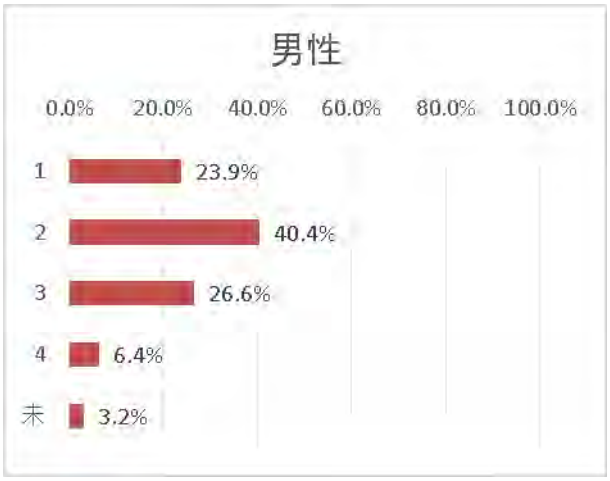


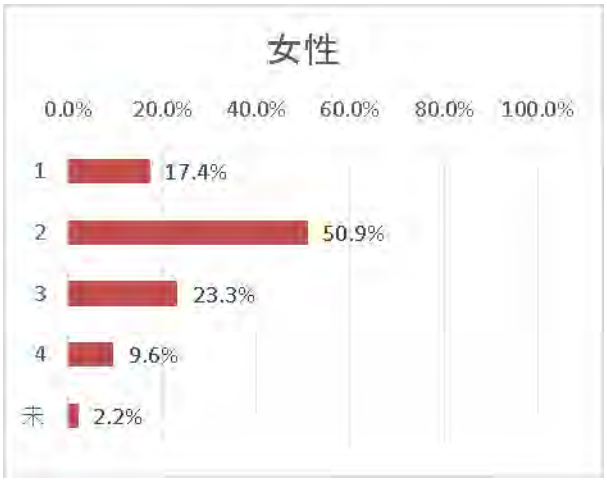




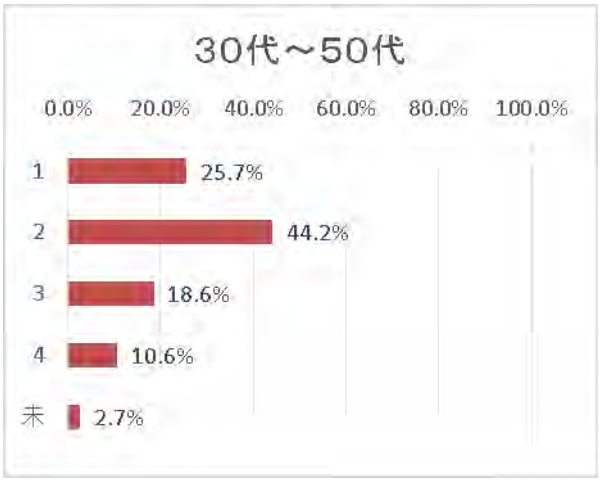
※グラフ中の「未」は設問に未回答であった方の割合です。

２．性別





３．年齢別



※グラフ中の「未」は設問に未回答であった方の割合です。

⑦問７　属性

①性別：男性 35%。女性 60%。未回答 5%

②年齢：**70 歳以上（50.8%）と 60 歳代（21.0%）の合計が全体の約 7 割を占める。**
30 歳代・40 歳代・50 歳代はそれぞれ 7%前後。

③地域　市内 84.5%、市外 11.9%。

〇各施設とも立地する地域、周辺地域、沿線地域の回答者が中心。南・忠生・堺・小山など市境に近い施設では近隣市の回答者が 20%近くを占めている。

〇生涯学習センター実施分では、一般利用のみ市外の回答者が 20%を超えている。市境に近い施設の市外回答者が近隣市であるのに対し、生涯学習センターの一般利用では、国立市、国分寺市、立川市など遠方の沿線外の自治体居住者の回答が含まれている。

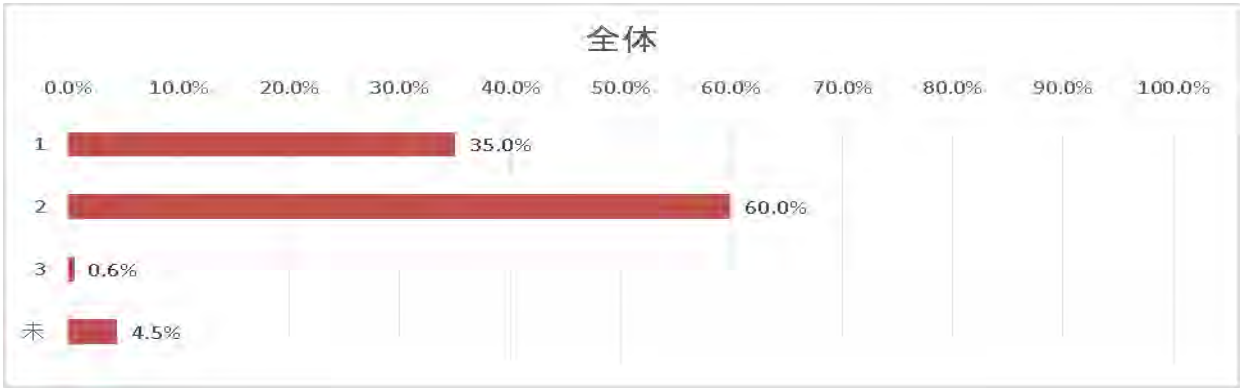
問７　以下の項目は、あなた自身のことについてお聞きいたします。アンケートの統計に使用させていただきますので、ご協力をお願いします。

【性別】　１　男性　　２　女性　　３　回答しない

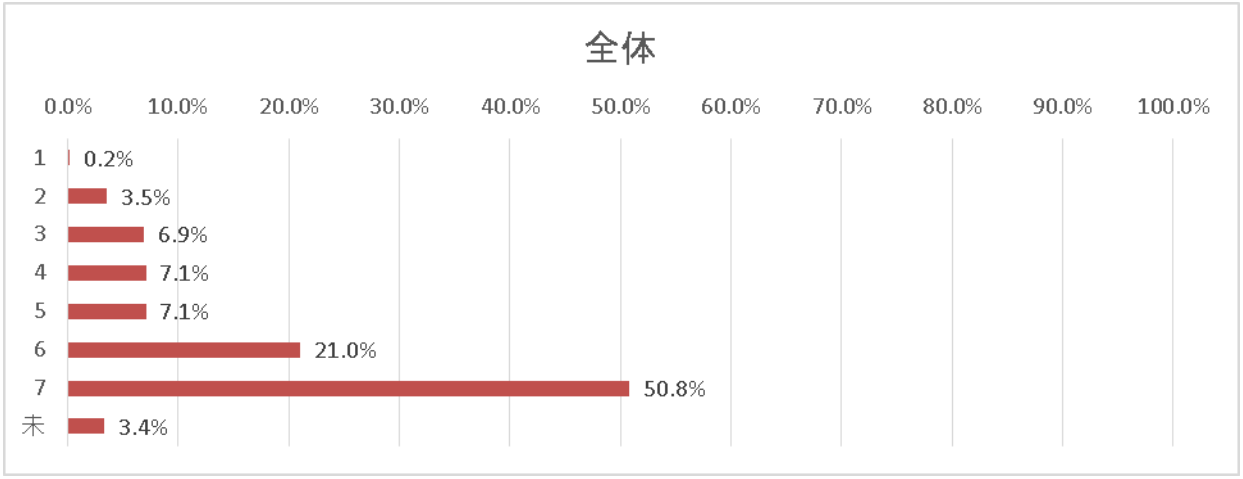
【年齢】
１　１８歳未満
２　１８～２９歳
３　３０歳代
４　４０歳代
５　５０歳代
６　６０歳代
７　７０歳以上

【お住まいの地域】
１町田市内（町名：　　）
２町田市外（市町村名：　　）

【性別】

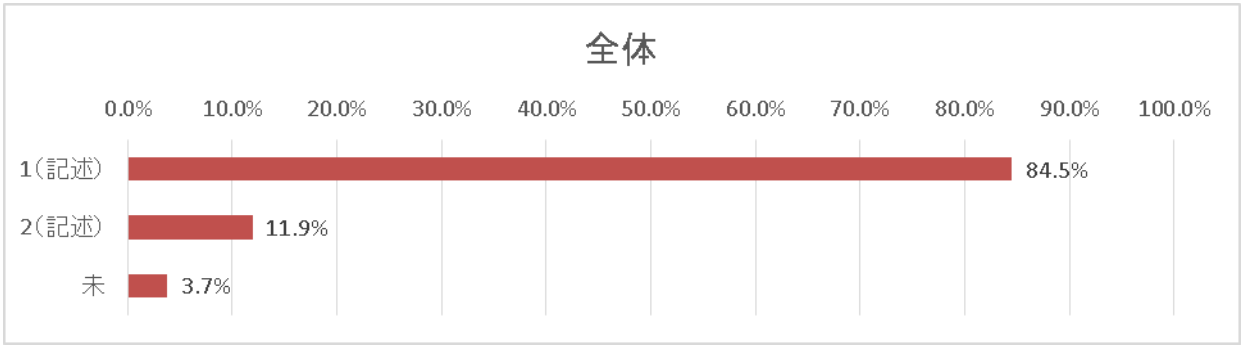


【年齢】

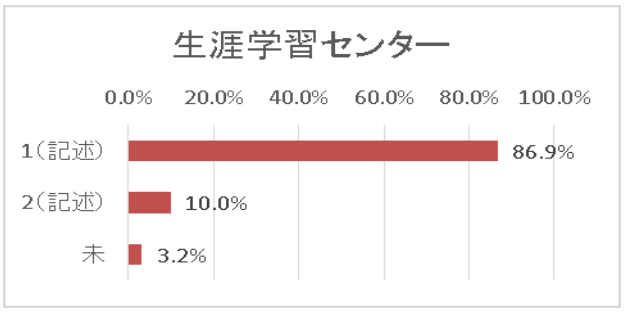


※グラフ中の「未」は設問に未回答であった方の割合です。

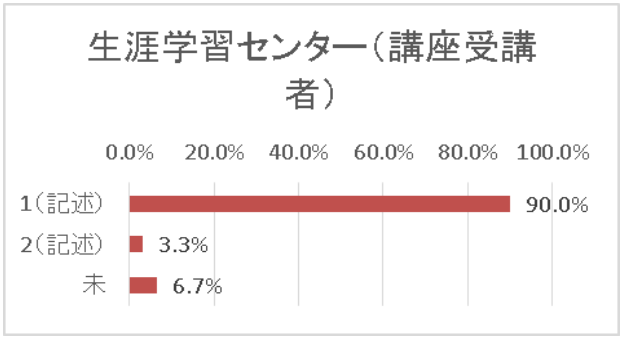
【お住まいの地域】



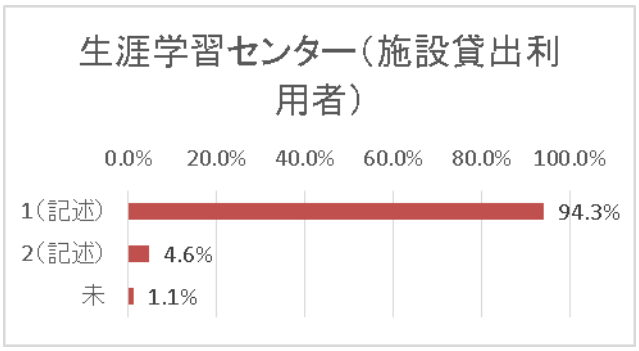
1．施設・地域別



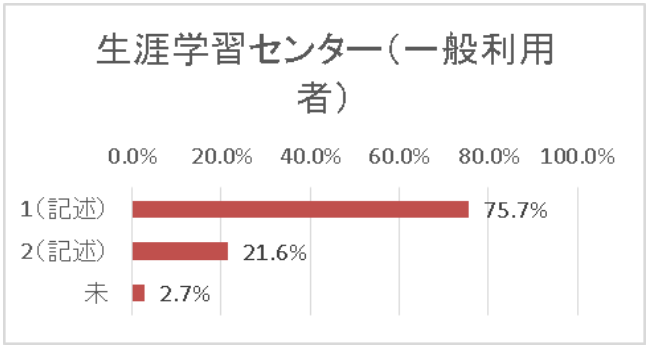
市内	町田地区	南地区	鶴川地区
	66	55	26
	忠生地区	堺地区	未記入
	18	3	24
市外	相模原6	座間2	大和2
	海老名1	川崎1	横浜2
	国立2	国分寺1	狛江1
	立川1	八王子1	未記入2



市内	町田地区	南地区	鶴川地区
	20	13	12
	忠生地区	堺地区	未記入
	5	1	3
市外	相模原1	座間1	

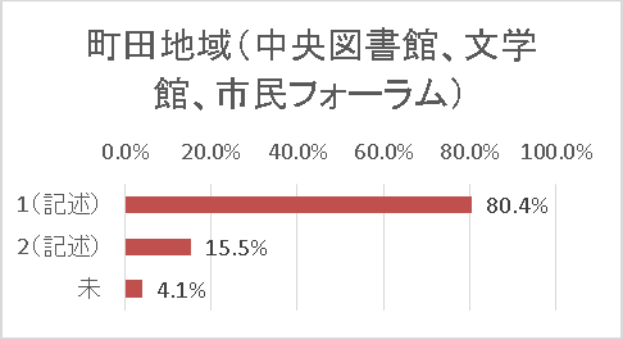


市内	町田地区	南地区	鶴川地区
	26	29	8
	忠生地区	堺地区	未記入
	5	1	13
市外	海老名1	川崎1	相模原1
	座間1		

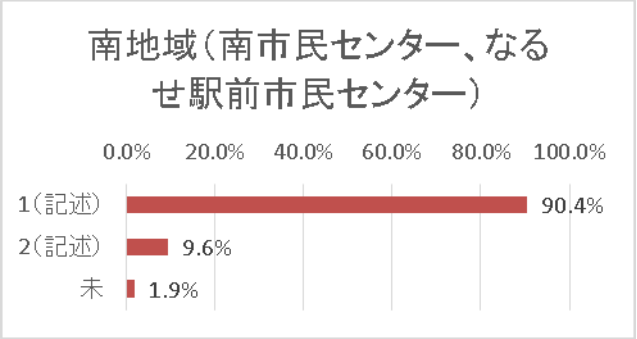


市内	町田地区	南地区	鶴川地区
	20	13	6
	忠生地区	堺地区	未記入
	8	1	8
市外	相模原4	大和2	横浜2
	国立2	国分寺1	狛江1
	立川1	八王子1	未記入2

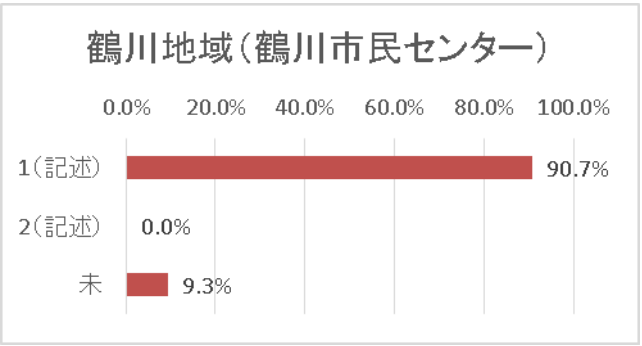
※グラフ中の「未」は設問に未回答であった方の割合です。



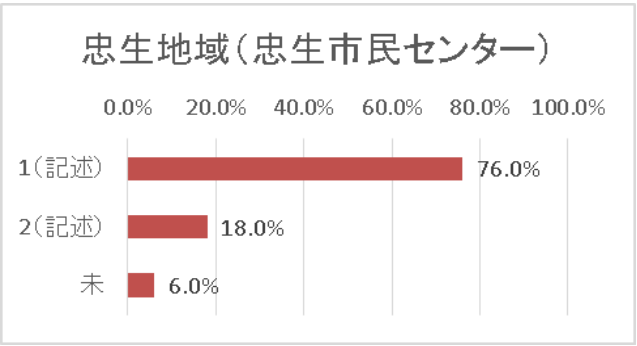
市内	町田地区	南地区	鶴川地区
	30	23	10
	忠生地区	堺地区	未記入
	3	0	12
市外	相模原9	横浜2	川崎1
	大和1	東村山1	未記入3



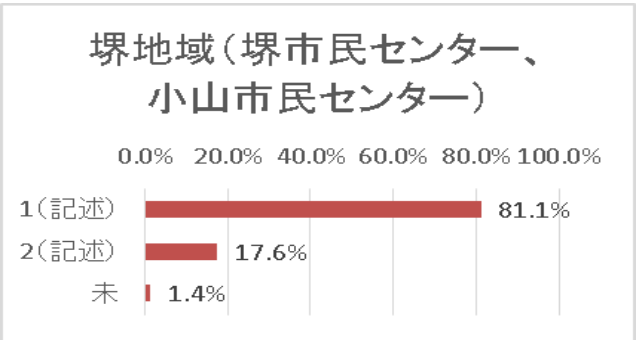
市内	町田地区	南地区	鶴川地区
	4	36	0
	忠生地区	堺地区	未記入
	0	0	7
市外	相模原2	大和2	横浜1
	未記入1		



市内	町田地区	南地区	鶴川地区
	1	2	31
	忠生地区	堺地区	未記入
	1	0	4
市外			



市内	町田地区	南地区	鶴川地区
	7	1	7
	忠生地区	堺地区	未記入
	16	3	4
市外	相模原8	未記入1	



市内	町田地区	南地区	鶴川地区
	0	2	1
	忠生地区	堺地区	その他
	3	49	5
市外	相模原6	八王子4	横浜1
	日野1	未記入1	

※グラフ中の「未」は設問に未回答であった方の割合です。

⑧問８　自由記入

537 件の回答中、121 件に自由記入欄の記載があった。

問８　ご意見自由記入

〈主な意見〉

〇市民のニーズ（若年層、中年層、高年齢層）を組み入れたプランと実施・運営をお願いします。
〇町田駅は遠いので、市民センターなどで出張講座をしていただけると、ありがたいです。
〇ＰＲを増やした方が良い（知らない人がいる。）
〇高齢者のみでなく幅広い年齢層の参加を促せればと思います。
〇駅に近く便利なので抽選になかなか当選しないので残念です。
〇インターネット（視聴覚室）利用。フリーＷｉ-Ｆｉ設置を希望します。
〇サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、「市の一定の関与を維持しつつ」民間に任せた方がいい。市が施設を直接管理運営する場合でも、事業を委託する方法も可能。
〇指定管理のメリット、デメリットをはっきりとわかるようもう少し説明がほしい。
〇生涯学習関係に指定管理はそぐわない。市民の教育に関わることは市が責任をもって長期スパンをもって運営すべきです。
〇何とか工夫して運営を続けてほしい。

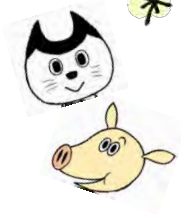
生涯学習センター（まちだ中央公民館）利用に関するアンケート

町田市教育委員会では、現在、「生涯学習センターのあり方及び効率的・効果的な管理運営手法」について検討を進めています。そこで、生涯学習センターを利用していない方も含めて、生涯学習センターの利用状況等の基礎資料とするためアンケート調査を実施します。ご協力をお願いします。

ご存じですか？「生涯学習センター」

町田市生涯学習センターは、子どもから高齢者まで市民の皆さんの生涯にわたる学習活動を総合的に支援するための教育機関です。

町田市の生涯学習の拠点として町田駅近くの中心市街地にあり、様々なテーマの講座や講演会を実施するほか、生涯学習に関する情報の収集・発信、市民活動、文化活動のための施設の貸出などを行っています。



生涯学習センター
キャラクター
「マニャミン」と「マナブウ」

【　提供しているサービス　】

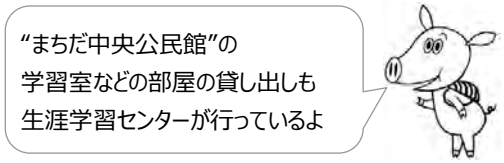
●講座・講演会、イベントの開催
さまざまなテーマの講座やイベントを行っています。

●学習相談
市民の皆さんの学びに関する相談をお受けしています。

●生涯学習情報の収集・提供
施設の情報コーナーや生涯学習情報誌「生涯学習ＮＡＶＩ」で生涯学習に関するさまざまな情報を提供しています。

●施設貸出
事業で使用しない部屋を市民向けに貸し出しています。

●生涯学習ボランティアバンク
皆さんの知識・経験を地域の中で活かす登録制度です。



【　主な講座・講演会、イベント　】

●生涯学習センターまつり
生涯学習センターを利用している皆さんの活動成果の発表の場です。

●市民提案型事業「講座づくり★まちチャレ」
市民グループの企画を基に、市民生活の向上や地域課題の解決につながる講座を市と市民の協働で実施しています。

●家庭教育支援事業
保護者や親子向けに役立つ知識や仲間作りの場の提供を行っています。

●ことぶき大学事業
60 歳以上の方を対象とした学習や交流を深める講座を行っています。

●市民大学ＨＡＴＳ
話題のテーマや「町田」について学び、修了後は地域で主体的に活動の担い手となっていただくことを目指す長期講座です。

●学習支援事業「まなびテラス」
16 歳以上の方を対象にした学び直しのための学習会です。

●障がい者青年学級
障がいのある 18 歳以上の方を対象とした学習活動です。

他にも、さまざまな事業を実施しています。
●平和祈念事業　●地域・大学等との連携・共催事業
●コンサート　●利用者交流会　など

【問合せ先】町田市　生涯学習部　生涯学習センター　直通：０４２－７２８－００７１

民間活力を導入している
生涯学習センター・公民館等

従来、公共サービスと言えば、自治体による管理運営が当然とされてきましたが、厳しい財政状況の中で多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するため、民間企業、NPO、住民等と連携・協働して、より有効で効率的な公共サービスの提供を行うPPP（官民連携手法）の活用が全国的に進んでいます。

生涯学習分野でも、近隣市ではこのような施設で民間活力の導入が進んでいます。

●大和市文化創造拠点シリウス

図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場など複数の機能が融合した新しいタイプの公共施設で、指定管理者により運営されています。

●相模原市生涯学習センター

多様な学習意欲に応えるため、市民大学を近隣の高等教育機関に委託し、それぞれの教育機関の特色を活かした幅広い内容のプログラムを実施しています。

●三鷹市生涯学習センター

市民大学事業や青少年向け学習講座事業などの各種講座をはじめ、「市民との協働」という方向性を大切にしながら、多彩な生涯学習プログラムを提供しています。指定管理者により運営されています。

●武蔵野プレイス（武蔵野市）

図書館機能、市民活動支援機能、生涯学習支援機能、青少年活動支援機能を持つ生涯学習施設で、指定管理者により運営されています。

●あきる野市中央公民館

隣接する秋川体育館と併せ、公民館の施設・設備の管理業務及び窓口業務を指定管理者が行っています。

●九段生涯学習会館（千代田区）

さまざまな方が生涯学習に親しむきっかけづくりの場として、また、活気あふれる地域のコミュニティ活動を支援する生涯学習施設で、指定管理者により運営されています。

民間活力を導入している町田市の施設

町田市では

●子どもクラブ（市内６箇所）
●市民ホール
●総合体育館
●室内プール
●子ども創造キャンパスひなた村
●ポプリホール鶴川
●サン町田旭町体育館

などの施設が指定管理者により運営されています。

生涯学習センター利用に関するアンケート用紙

問１　生涯学習センターをご存知ですか。

１　知っており、利用したことがある　　→１を選んだ方は問２へ
２　知っているが、利用したことはない　→２を選んだ方は問５へ
３　知らない　　→３を選んだ方は問５へ

問２　この１年間、生涯学習センターのサービスを利用しましたか。（○はいくつでも）

１　講座・講演会
２　施設貸出
３　学習情報提供（ＨＰ・情報誌）
４　学習相談
５　フリースペースでの自主学習
６　利用していない

問３　生涯学習センターを利用する頻度はどのくらいですか。

１　ほぼ毎日
２　１週間に数回程度
３　１週間に１回程度
４　月に数回程度
５　月に１回程度
６　年に数回程度
７　年に１回程度
８　数年に１回程度以下

問４　生涯学習センターの良いところはどこですか（○はいくつでも）

１　駅が近くて来館しやすい
２　興味のある講座・イベントをしている
３　生涯学習に関する幅広い情報が得られる
４　利用したい部屋や設備が貸し出されている
５　施設の雰囲気が良く、居心地がよい
６　休館日が少なく、いつでも利用しやすい
７　22 時まで開館しているので、夜間に利用できる
８　商業施設と繋がっているので便利
９　職員の対応が良い
10　特になし
11　わからない
12　その他　（　　）

問５　生涯学習センターが今後、充実すべきと思うサービスは何ですか（○はいくつでも）

１　学ぶことに支援が必要な人たち（例・障がいがある人、言葉の壁がある外国人など）への支援
２　施設に来られない人向けの地域での講座・イベント開催
３　インターネットを活用したオンライン学習
４　地域の課題を扱った講座の地域での開催
５　地域のリーダー・コーディネーターの育成・支援
６　学ぶ楽しさの伝わる入門的な講座・イベントの開催
７　生涯学習センターの事業だけでなく地域の様々な学習情報の提供
８　学習成果を地域へ還元する仕組み作り
９　特になし
10　わからない
11　その他（　　）

裏面にも質問がございます。裏返してご記入をお願いします

問６　他市の生涯学習センターや公民館の中には、民間事業者が事業の実施や施設の管理運営を行っている施設があります。事業や施設の運営を民間事業者が行うことを、どう思われますか？

１　サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい
２　サービスが低下しないなら市でも民間でもいい
３　市が直接、管理運営した方がいい
４　わからない

問７　以下の項目は、あなた自身のことについてお聞きいたします。アンケートの統計に使用させていただきますので、ご協力をお願いします。

【性別】　１　男性　　２　女性　　３　回答しない

【年齢】
１　１８歳未満
２　１８～２９歳
３　３０歳代
４　４０歳代
５　５０歳代
６　６０歳代
７　７０歳以上

【お住まいの地域】
１町田市内（町名：　　）
２町田市外（市町村名：　　）

問８　ご意見自由記入

（　　）

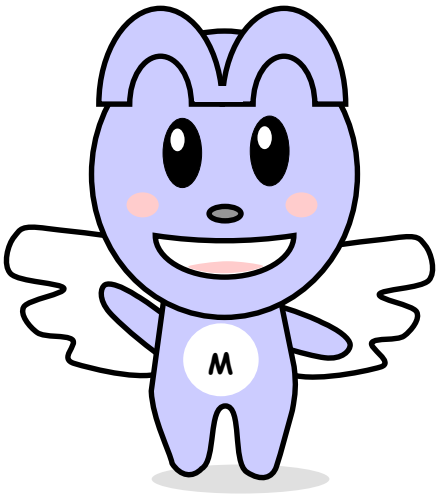
～ご協力いただきありがとうございました。～

アンケートにご記入いただいた事項は、サービス向上調査集計以外の目的で使用いたしません

資料７

２０２０年度市政モニター

第２回集計報告



町田市市政モニター
イメージキャラクター

もにっち

２０２０年度町田市市政モニター　第２回アンケート集計結果

実施期間　　２０２０年１２月２３日（水）　～　２０２１年１月２２日（金）

テーマ　　１．町田市生涯学習センターについて
２．町田市ホームページ・SNSでの情報発信について
３．ふるさと納税について

アンケート対象　２０２０年度町田市市政モニター

対象者数　196　人

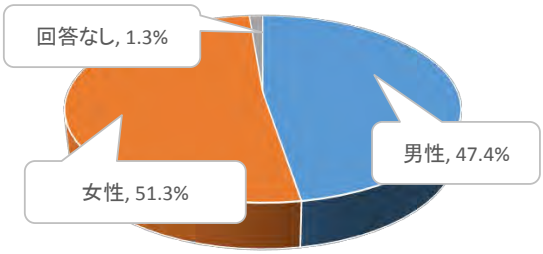
回答者数　154　人

回答率　78.6%

回答者の属性

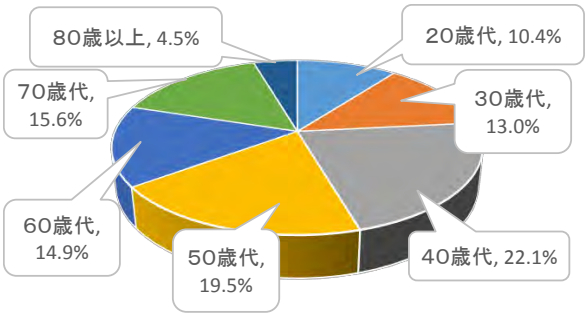
（１）性別

	人数	割合
男性	73	47.4%
女性	79	51.3%
回答なし	2	1.3%
合計	154	-



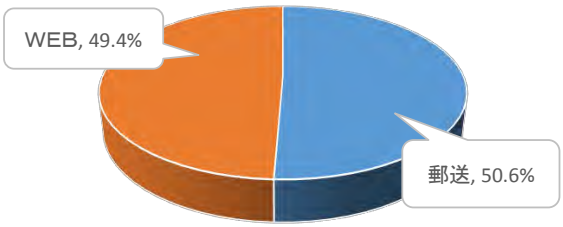
（２）年代

	人数	割合
２０歳代	16	10.4%
３０歳代	20	13.0%
４０歳代	34	22.1%
５０歳代	30	19.5%
６０歳代	23	14.9%
７０歳代	24	15.6%
８０歳以上	7	4.5%
合計	154	-



（３）回答方法

	人数	割合
郵送	78	50.6%
ＷＥＢ	76	49.4%
合計	154	-



※ 回答が択一または１つのみ選択の場合は「構成比」を、複数選択の場合は「回答比」を表示します。
※ 原則として自由記述部分は、ご本人の意を尊重し、文体・表現はそのままといたしました。
※ 割合の表示は、小数点以下２位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

１．町田市生涯学習センターについて

町田市教育委員会では、現在、「生涯学習センターのあり方及び効率的・効果的な管理運営手法」について検討を進めています。そこで、町田市生涯学習センターを利用していない方も含めて、町田市生涯学習センターの利用状況等の基礎資料とするため皆様のご意見をお聞かせください。

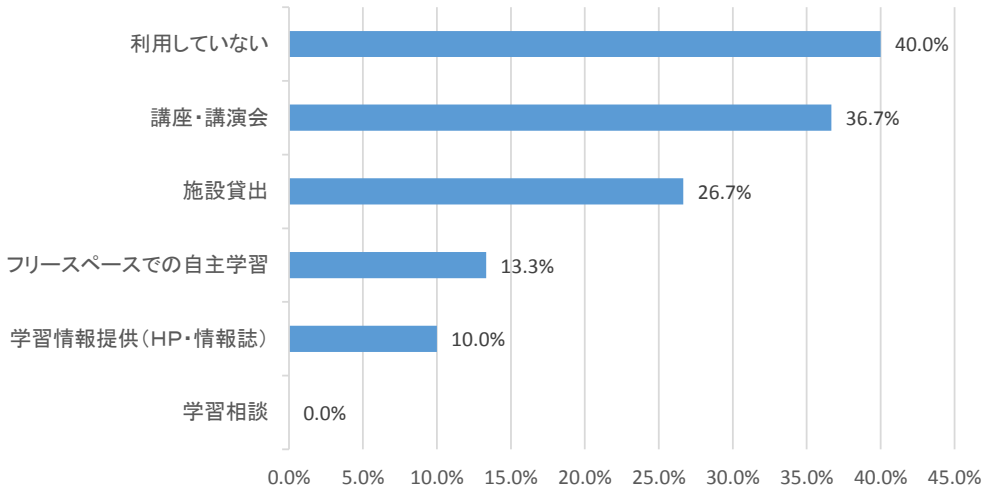
「市政モニターアンケート「町田市生涯学習センターについて」資料」をご覧いただき、ご回答ください。

問１　あなたは町田市生涯学習センターを知っていますか。当てはまるものに○をつけてください。　（１つだけ選択してください）

回答内容	回答数	構成比
知っており、利用したことがある	30	19.5%
知っているが、利用したことはない	58	37.7%
知らない	62	40.3%
無回答	4	2.6%

全体の４０．３%の方が、「知らない」と回答しました。

問２　問１で「１．知っており、利用したことがある」と答えた方にお聞きします。あなたはこの１年間、町田市生涯学習センターのサービスを利用しましたか。「市政モニターアンケート「町田市生涯学習センターについて」資料」の表面をご覧いただき、当てはまるものに○をつけてください。　（複数選択可）



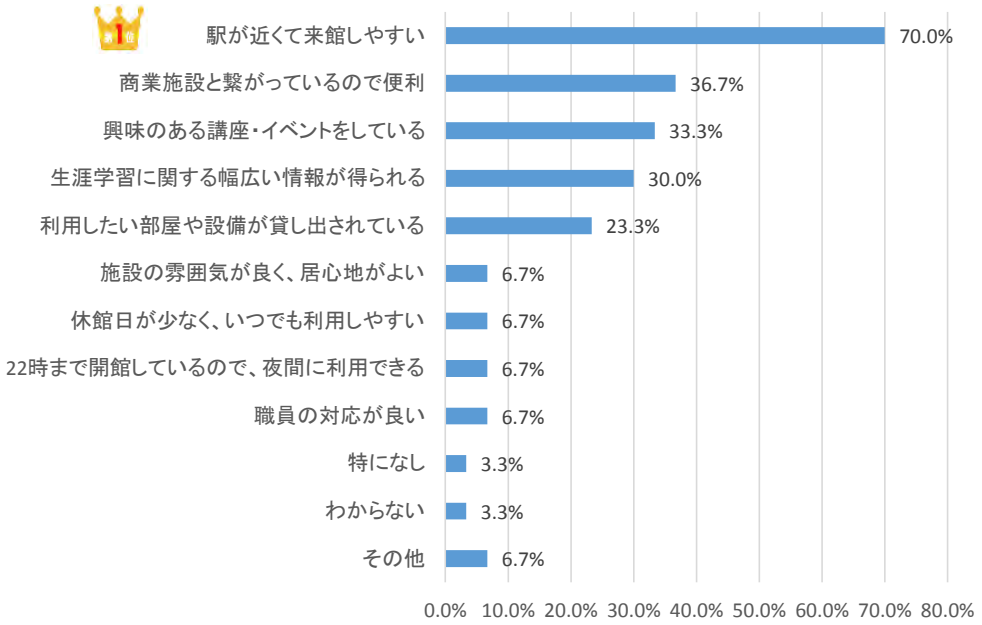
３０名中１２名が、「利用していない」と回答しました。

問３　問２にお答えいただいた方にお聞きします。町田市生涯学習センターを利用する頻度はどのくらいですか。当てはまるものに○をつけてください。
（１つだけ選択してください）

回答内容	回答数	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%
１週間に数回程度	0	0.0%
１週間に１回程度	1	3.3%
月に数回程度	3	10.0%
月に１回程度	3	10.0%
年に数回程度	8	26.7%
年に１回程度	5	16.7%
数年に１回程度以下	10	33.3%

回答者の３３．３％の方が、「数年に１回程度以下」と回答しました。

問４　問３にお答えいただいた方にお聞きします。町田市生涯学習センターの良いところはどこですか。当てはまるものに○をつけてください。
（複数選択可）

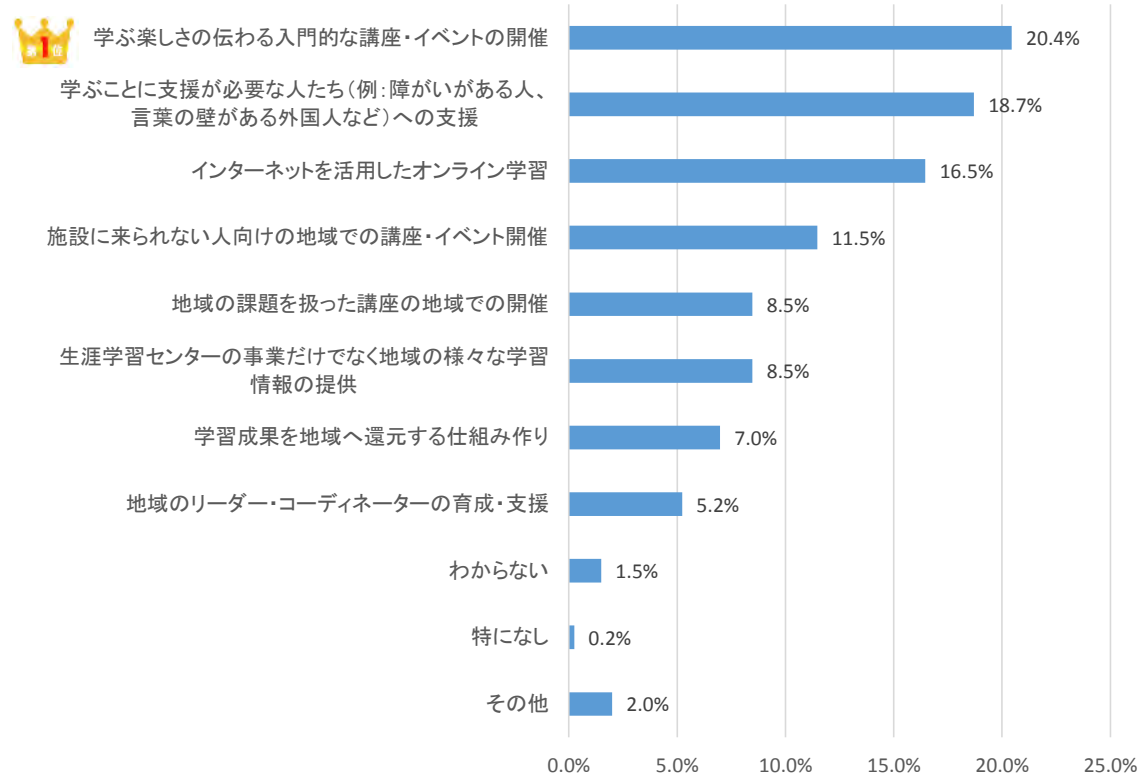


３０名中２１名が、「駅が近くて来館しやすい」と回答しました。

【その他のご意見】

気軽に市民だれでも利用できるのがよい
利用料が安い
フリースペース（昨年はコロナでなかなか使えなかった）で簡単な打ち合わせやなどが出来てよい。学生さんも気軽に利用している。市の施設にふさわしい。

問5　町田市生涯学習センターが今後、充実すべきと思うサービスは何ですか。当てはまるものに○をつけてください。（複数選択可）



…

１５４名中82名が、「学ぶ楽しさの伝わる入門的な講座・イベントの開催」と回答しました。

【その他のご意見】

109の上にあるのは知っているが、具体的に何をしているのか知らない。
何事も生涯勉強することは意義のあることだと思います。私も何か学習したいのですが今日まよっているというか何か分かりません。
退職後の高齢者の学ぶ意欲は、とても高いものと思います。体力、知力維持は、元気に過ごせる糧ともなると思います。シルバー人材センターで働ける為の技術、老人相手の”お話相手”ETC…
就職支援、資格取得の為、学習支援
元気な高齢者は参加できると思うが、堅苦しいことを言っていては無理。スマホも無理と言っているいる人けっこういますから。

町田市生涯学習センターが有る事をまずは宣伝した方が良いと思う。
孤立している人の社交場になるような事
一般人もさまざまな問題を抱える世の中、弁護士に相談できれば解決する問題もたくさんあると思う。そういった問題を緩和するため、弁護士に無料相談できる場、または、一般人が抱える問題への対処法を本物の非営利弁護士が列挙した辞典的なものを公開する。(ネットでも調べられるが、いかがわしいサイトが多すぎて信用ならない。庶民は弁護士費用もそう簡単に出せない。資料に自治体公認という信頼と責任を持たせる)
具体的に、こんな人だったら、こんな行政サービスが受けられる、のような例をいくつか挙げて、見本例などを情報提供したらどうかと思います。
町田がこれまでどのように歩んできたのか、そして今どのような問題を抱えているのか、さらに懸念される将来の課題は何かを学び考える場の提供。町田市は、急激な人口増加により多くの市民が市外からの転入者で占められています。新たな知識や情報の提供の前に、いろいろな世代の人々に、自分たちが住んでいる町田をよく知ってもらい、そして関心及び愛着を醸成してもらえるような活動があってもよいと考えます。
安い利用料で活動場所の提供を続けること。

問６　他市の生涯学習センターや公民館の中には、民間事業者が事業の実施や施設の管理運営を行っている施設があります。事業や施設の運営を民間事業者が行うことを、どう思われますか。「市政モニターアンケート「町田市生涯学習センターについて」資料」裏面をご覧いただき、当てはまるものに○をつけてください。
（１つだけ選択してください）

回答内容	回答数	構成比
サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい	64	41.6%
サービスが低下しないなら市でも民間でもいい	57	37.0%
市が直接、管理運営した方がいい	17	11.0%
わからない	7	4.5%
その他	8	5.2%
無回答	1	0.6%

…

全体の４１．６％の方が「サービスの向上と運営の効率化につながるのならば、民間に任せた方がいい」と回答しました。

【その他のご意見】

どちらとも言えません。要はやる気のある人、勢いのある人がやるべきです。市も民間もないのです。「人」なのです。
公的施設で行われた民間事業は、市の把握、方向性の管理責任があると思います。完全に民間任せより、行う内容の報告を義務に入れ、度々のチェックしたらいかがでしょうか？
相模原市に住んでいた頃、公民館の職員と一緒に学習した　①地域の問題　②教育の問題　若い母親の手伝いに子どもを預かったりボランティアの保母さんも１０年やっていた。

「サービスの向上＝サービスの低下はなし」であるならば市でも民間でも良いと考えます。後は、利用しやすい利用料であることが前提と考えます。
民間に任せて上手に宣伝、運営してもらった方が良い。
利益を出さないと運営できない民間企業に管理させることで、いわゆる公務員を減らして税金消費を減らすと同時に、時代に沿った新たなサービスを期待。逆に、歴史的文化財など、行政が管理するべきものは民間に任せず、しっかり自治体が管理するべき。
サービスの向上と運営費用が削減出来るのであれば、民間でも良いと思う。
民間が入ることで、営利目的や集客できる学習に偏るのは問題だが、広い世代に向けて幅広く学習する機会を色々な媒体で案内でき、講座の種類が増えたり、新しい目線で出来るなら、民間が入ることはメリットがあると思う。
民間への委託は、新たな知見の導入や効率的な運営の一手段として検討するのは必要だと思います。ただし、全体の運営方針や個々の活動内容は、当然ですが市が責任をもって市民の目線で市民の意見を汲み取って管理する体制を築いてもらいたい。そのうえで、個々の実際の活動についていろいろなknow-howを持っている民間の助けを借りるのはよいと思います。

問７　町田市生涯学習センターについて、ご意見やご提案があればお書きください。
（自由記述）

1.限られた人達しか使用していないように見える。2.もう少しPRが必要ではないか。3.興味ある講座やイベントが少ない。
調理室ですが快適に使用させて頂いています。欲を言えばもう少し時間に余裕が欲しいです。受付の方、後利用の都合もあると思いますが　もう少し、やさしい対応を望みます。
企画担当の方の思い入れの込もったユニークな演目が好感されます。(例えば外道のコンサート等)
これからは社会からリタイアした高齢者がどんどん増えます。まだまだ能力があるのに、それを使わないのはもったいないです。大いに利用すべきです。お年寄りも今までの経験に甘んずることなく死ぬまで学び続けることが大切だと考えます。
もっと広く、案内をだしてほしい。具体的な活動の様子を記事にして！
老人ホームをお手伝いしている生徒さん達は本当に喜んでもらっているといいます。それは心の友達、生涯学習にピッタリ合っています。
町田駅近くに行くのは大変なので他の地区に作ってほしい。
誰でも参加しやすい気軽なイベントが（交流会）たくさんあるといい。横のつながり、以前参加した講座で・・・広がりがなかった。敷居が高く感じられる（イメージですが）
おもしろそうだなと思う事業は６０歳以上を対象としていることが多いです。５０代でも子どもが独立し参加できる方もいると思うので対象を下げてもよいのでは。学んでみたいなと思うこともありますが、子どもが学生のうちはなかなか難しいです。自分の稼ぎを自分の為につかえるようになったら利用してみたいです。その時の為にも民間企業、大学ともどんどん協力して内容を充実していただきたいです。

これから未来のある若者に興味のある事を行っていって欲しい。
ことぶき大学事業があると今回始めて知りました。問５と同様な回答になりますが、告知を考えて頂きたい。団地内で聞いても(充分注意してマスク等)知らない人が大半でした。内容については参加したいなという意見多し、私も同感です。
前回の「公共施設の複合化」の取り組みは、半数の方が「知らない」と答えています。生涯学習センターもあまり知られていないと感じます。もっと、多数の人が答えられるようなアンケートの方が良いのでは？と思います。
近くに大学が私の地域ですが、２校有ります。大学の先生に講演等を年１回位の割合で開催して頂きたいと思っております。
町田市で働く人材育成の為、学習支援と職業斡旋
昭和音大の音楽教室で「日本昔話」教室を行っています。小さな子供達にほっこりする昔話の世界を紹介したい。「思いやり」「自然と生活」大事なことが沢山かくれている昔話。広められればと思います。
子どものアニメ映画鑑賞会が上映されると嬉しい。大人向けの昔の映画を上映して欲しい。
問5でも書きましたが、交通機関を使用してまで現地の学習センターまで行けるかの問題になります。高齢者は話す場所が欲しいだけです。それによって何かを初めたいとか出かけてみたいとかにつながる気がします。サロン的なものから高齢者の様子を把握して認知症、運動不足(ロコモティブシンドローム)などの予防が出来たら良いと思います。SNSを使用する人が増えたと言っていますが、私のまわりには一人もいません。それができる人は元気なポジティブな高齢者です。
生涯学習センターに行きたい気持ちもあるが高齢の為難しい
利用したことがないので、何とも言えませんが、現状どれくらいの人数の方、年齢層がどんな利用のし方をしているかについて集計し、検討、改善されているのでしょうか。その部分が不明なのでアンケートの回答が通りーぺんになってしまいました。
様々なテーマの講座や講演会とありますが、いつ、どこで開催されるかというのは何によって知ることができますか。我が家では新聞をやめたので、まちだ広報が配布されず、情報を何で得ることができるのかわかりません。
金井６丁目の自治会の役員をしていたとき、職員と一緒に環境を考えたり、ゴミ処理場見学の折、皆さんと一緒に考えたり楽しかった。相模原市の自治会役員をしていたとき、宇宙科学センターを見学したり、施設めぐりのバスを借りて市内の施設を見学して特に男性の役員さんらに喜ばれました。アメリカ大陸を横断した折はナサ宇宙科学センターを見学したりよかった。アメリカは広いことにびっくり、人間はどこの国の人もいい人たちでした。若いときは冒険することも大事。チャンスがあれば又行きたい。町田市に４０年も住んでいるのに海外ばかり行き、やっと地域に目を向けることもできました。パソコン教室で１０年、カレンダーや地域のことにも関心あり
玉川学園大学、桜美林大学との差別化を図って、町田市指定の講座や終了時に町田市への就職等の貢献度を担ったりしたほうがよい。
特にない
個人的なことなのですが、現在主人の介護が生活の中心になってしまい自分のことはできずにおりますので解答ができませんでした。申し訳ございません。

町田市民としては大いに期待しています。
各地域で発生している難題、事案を集約し市民全体の案件として相談出来る座談会的講座の開催を作り、又高齢者から若年者が合同で行えるコミュニティー(町田ならではの)を作る計画、このような点を広く集める役の方を育成支援の場
「町田市生涯学習センター」という名称は、聞いたことがあるが利用したことはありません。朝から晩まで仕事をしていると利用する機会もなければ詳細も知りませんでした。今回初めて市政モニターを希望したことはヨカッタと思います。新型コロナウイルス感染症の流行により「zoom」で会議等を行っているように「zoom」等を利用して内容を発表し、発信してみても良いかと思います。
講座を受けたいと思っていたが、施設が交通に不便なため　あきらめた事がある。交通の便なども記入してくれると助かります。
生涯学習センターを知っている人が少なすぎる。もっと市民の方が知る方法を考えた方が良いと思う。
生涯学習センターについては学習すること及び何か制作、もの作りなどの分野も必要ではないかと思います。問5の「８、成果を地域に還元する仕組み作り」など町田市の運営で学び、作った物などの販売など高齢者、定年退職後の技術者の生きがいにつながると思います。現在インターネット社会ではありますが、スマホ、ＰＣが使えない方も多く、独居の方も多いので気軽に集まれる広場的な場所もあると良いですね。（学習の場として）
町田駅から好立地とあるが常盤町在住の子育て世代には町田駅まで行くのは大変で利用しようと思わない。（２歳・５歳子育て中）バス、電車ではなく車で行ける所だといいなと思う。規模は小さくていいから分室のようなものが複数あると利用しやすい。HPを見たが「２０１８年度開催」と記載している情報写真が多く、情報が古いと感じた。情報の更新をもっと頻繁にした方がいいと思う。オンラインを活用して家でイベントや学習に参加できるようになったら嬉しい！！ので、子ども向けイベントをオンラインでして欲しい。歌や本の読み聞かせ、手遊び等。
成功している地域で運営方法を学び町田市全域で平等に使用できる様にすると認知度が上がると思います。
何故財政が厳しいのか。わかりやすくお金の流れを説明してほしい。
今までどのような講座を開講しているか知りませんでした。今後は興味のある講座があれば、スケジュール次第で参加したいと思います。
何をしているのかわからないというのが率直な感想です。HPのイベント情報を見ても、一目見てパッと分かるような記載でもないので、もう少し分かりやすい方がいいと感じました。
生涯学習において一番重要なことは、本人のやる気（本人が好きなことや趣味）を活かすこと。上から無理やりやらせる押しつけ学習は絶対やってはだめ。
いままで利用したことがないのですが、ネーミングから言って生涯学習センターといいますので、高齢化社会に向かい８０才、９０才になっても学べる場所があるのはよいと思う。今後、利用したいです。
無くてもいい

誰のために何をやっていて、どこにあるのかが広く知れていないように感じます。広告にも費用がかかるので、バランスが難しいですが、利用の拡大を目指すのであれば、より積極的に露出を増やすのが必要に思います。
名称だけで何が出来る施設か想像がつかない。考えた上でパッと感じるのは、高齢者向けのカルチャーセンターに聞こえる。思いきって全く違う名前にし、その施設の説明をしっかりし、市民に浸透させた方が、全世代が利用する気になると思う。(命名は、ばあん・まあち みたいな、「あ、自治体の特殊な施設なのですね。働いて忙しい私には関係ないかな」という雰囲気を持たせない)
施設使用料金の低料金維持。利用者の偏り、公平に。
語学などプラスアルファで学習できるイベントなどがあればいいと思います。今は小学生から英語を学習する時代です。それに加え、学校では勉強できない多言語を幼い頃から学習できることによってもっと視野を広げられるのではないかと思います。
特にありません。
どういう活動をしているのか、どういう施設なのか、何となくは知っていても詳しくは知らない人が多いと思うので、まずは周知させて利用促進をはかることが優先ではないかと思います。
あらゆる世代に使いやすいものがあるとよいです。
いつも通ると気になってはおりましたが、実際にどんなことが行なわれているのか、どんな方々が利用されているのかわからず、実際に利用したことがありませんでした。その辺りの情報を広い形で開示されてると、実際に利用してみようと思われる方も多いのではないでしょうかね。
お年寄りばかりが利用していると感じる。小学生などの習い事や親子体験教室のように全世帯に普及しなければ、高齢者施設化してしまい、のちに現在の利用者が亡くなった後は廃れて閉鎖されるだろう。
老若男女、それぞれの興味に合わせて選べる講座が複数あるといいと思う。
少し調べてみましたが、市としての体制としてはよくやっているのではないかと思われます。ただ民間はもっともっと自由闊達かもしれません。ここは検証してみないとわからないのであくまでも評論家的な傍観的な言い回しですみません。
いろいろなジャンルの学習ができるようにしてほしい。
視聴覚用に大型テレビを設置したら如何でしょうか？なお、6年前から要望として文書でお願いしていたが未だ導入されていない。理由：１．現在、スクリーンはあるが、プロジェクターは古く写りが悪い。２．今やテレビは大型化し写りも良く、価格も下がっている。
何をやっているところか、小学校や幼稚園等に年1回でもプリントを配ってくれたら少し目を通すかも。紙は無駄かもしれないが、紙なら必ず見る。
「町田市生涯学習センター」という名称が古めかしく、堅いイメージがあるので小・中・高生からアイデアを募り、新名称にした方が良い。

参加したことがないので意見や提案を述べることは難しいが、今回のアンケートで市民大学ＨＡＴＳの活動には興味を持った。地域活動に貢献することは、誰にでもやりがいを感じると思える。
自宅が学習センターの近くでないので、実際に通えない人にも郵送などで学習の機会を作るシステムがあっても良いのではないかと思います。
最初のきっかけがつかめないので何かを始める事が出来ないのが現状です。いずれは自分の趣味に合った何かを始めるつもりです。
生涯学習センターの認知度は非常に低いように感じます。いろいろな世代対象に多くの講座やイベントを展開されているようですが、小生の不勉強もあると思いますが、アピール不足を感じます。また、他の自治体でも同様な名称としているようですが、「生涯学習センター」と聞くと、勝手な思い込みかもしれませんが、「一線を退いたり、時間が空いる人たちが趣味的なことを学ぶ場」というイメージを持ってしまいます。もちろん、学習を通じて余暇を充実させることも必要ですが、もっと積極的に市民生活を豊かにする場として、そのようなイメージの名称としてアピールしたほうが良いように感じます。
高齢者のたまり場と化していることを是正しないと、今後の発展は望めないと考えます。もちろん、高齢者を対象とするサービスも残しつつ、既存のものを峻別した上で、より幅広い世代に訴求するサービスを検討しなくては良い取り組みも先細るだけかと思います。
告知が足りないように思う
使いやすい市民活動の場所として現状を維持してほしいです。
主に使用するならば施設貸し出しだと思いますが、町田は横に長く、小山からは遠いのでなかなか利用はできません。
地域活性化を主眼として、リーダーの講演を期待したい。また、そこから人とのネットワークへ発展させて、より多くの活動へと結びつけるのがよろしいかと。
施設が全般的に暗い感じがする。壁などの色を変えて明るくしたほうが良いと思います。駅に近い市の施設なので老若男女使用してもらいたいです。
便利な場所にあるようだが、どんなことをやっているのか、どんな講座があるのかわからない。参加してみたいものを見つけても、満員だったり。生涯学習センターの企画だったか忘れてしまったが、広報に載った何かの講座に参加したが、お年寄りばかりでちょっと居づらい雰囲気だった。若い人も学べる環境が欲しい。
知らない人が多いと思うので、アピール方法があればよいと思います。
図書館でもらったチラシから、参加したいイベントが生涯学習センターで行われており、その存在を知ることができましたが、会社員として忙しくしていた時にはその存在すら知らずにいました。もっと（広く市民に？）知られてもいいと思います！
人生のすべては、自分自身の失敗・過去の人々の失敗から学び、改善していくことだと思う。多くの人が、学ぶ楽しさに触れることができるように、様々な角度から活動してほしい。学ぶことにどんなメリットがあるのか、学ぶという行為が、どのように人生で繰り返されるかなど。
職業訓練的な資格取得を目指す講座が必要（CAD、マンション管理士、電検、介護士、食品衛生管理者などなど）職が増えるような活動しませんか？

NHK講座のような内容の充実があれば、利用する人も増えると思います。またイベントカレンダーの講座名もどのようなことをするのか内容がすぐに分かりにくいので、表示の仕方をもう少し改善する必要があるように感じました。（詳細を別のチラシで調べさせるのは不親切）
生涯学習センターについて、今回のアンケートで初めて知りました。今後、興味のある内容があったらぜひ利用したい。また、もっと早く知りたかった。
ワーキングプアなど収入格差が広がり、さらに働きたくても職に就くことが出来ない人が特に団塊ジュニア世代に増えていると聞きます。そのような人達が定職に就けるように生涯学習センターが利用できると良いと思います。例えば、今後団塊世代が次々と現役を引退し、外出する機会が減ってしまうと、やがて老化が進み支援が必要になる人が増えてしまうことが懸念されます。そこで、就業機会を欲する人に、現役を引退された方々から技術指導をしてもらうような地域支援事業に参加してもらうような機会創出ができると良いのでは、と思います。

ワークショップ「ホンネで話そう！“生涯学習センター”と“未来のこと”」

生涯学習センターの認知度・利用率が低い若年層のニーズを探るため、
ワークショップを開催し、地域で活動する３つの学生団体からご意見をお伺いしました。

生涯学習センター
イメージキャラクター
「**マニャミン**」と「**マナブウ**」

①町田創造プロジェクト（通称：ＭＳＰ）

町田創造プロジェクトとは？

市とともに町田の5年後、10年後、20年後の未来を考える若者グループです。若者の市政参画を推進し、まちづくりへの主体的参加及び意見表明を目的として設立しました。

市内在住、在勤、在学の15～18歳の方々で構成されています。

※ＷＳ参加者…男性（19歳1名）、女性（17歳1名、18歳1名、19歳2名）

ワークショップの概要

1．利用者アンケート実施※

※2020年10月に実施した利用者アンケート

2．施設見学

職員の案内による館内見学

3．意見交換

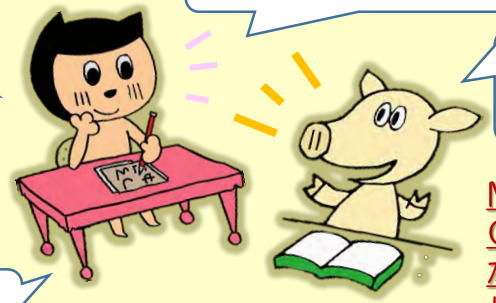
高校生（卒業生）目線の生涯学習センターのニーズを探る

MSPの皆さんに聞いた生涯学習センターの印象

講座をやっているのは知っていたけど、詳しくは知らなかった。

私たち世代が受けられる講座ってあるの？自分たちが対象になっているという感覚がない。

若者向けの事業がないというイメージ



駅から近いのはいいね

22時まで開いているのも便利。あんまりそういうところがないので

ＭＳＰとして生涯学習センター主催事業「ガクマチＥＸＰＯ」に参加していることから、施設の利用経験は全員あり、かつ施設貸出や自主学習スペースの利用経験がある方もいました。しかし、事業や取組についてはあまり知られていないことが分かりました。

町田創造プロジェクト（ＭＳＰ）のご意見　1/2

生涯学習センター職員

Q. 今後重視すべき事業として「イベント」の実施を挙げている方が多いのですが、若い人たちから見て、具体的にどんなイベントがあればいいなと思いますか？

オンライン・パソコン講座

「使い方も分からないのに、高校や大学で急にwordでレポート書けとか、PowerPointで何か作れとか言われてしまう。」

「オンラインのやり方もソフトの使い方も教えてくれるような、新大学生向けパソコン講座とかあるとうれしい。」

学校で教えてくれる機会はないのですか？

「紙渡されて、読んでくれと言われるだけ。『オンライン授業になるから配布した説明書のとおり設定してくれ』と言われても、上手くできる子とできない子がいる。」

「**スマホばっかりで、パソコンを触ったことのない子も結構いる**。Wordって何？というレベルの子も。パソコンを基礎知識から教えてほしい。」

パソコンの基礎的使い方というと高齢者向けの講座というイメージがあったのですが、認識を改めないといけません。

「**スマホなら教えることができるけど、パソコンは別物。**」

若者向けの性教育相談室

「**学校の授業では、恥ずかしくてちゃんと見られなかった。今になって見ておけばよかったと思っている。**気軽に若者が性について相談できる場が保護者以外にあるといいなと思います。今は友達に相談するしかないので、どうしても偏ってしまう。**学校以外の場で知識を得られる場と相談できる場があるといいな**と思う。」

みんなで学ぶ場（講座）と個別相談の場、どちらがいいですか？

「個別に相談できる場があるといいと思う。」

「児童相談所じゃない別な所で相談したい。」

例えば、相談先を紹介してもらうのはどう感じますか？また、情報の発信元が民間か公設かによって、信頼度や受け止め方は違いますか？

「よくわからないところには相談したくない。知っているところなら行くと思う。」

「**公共の施設だとしっかりしているイメージはある**。本当にしっかりしているかはわからないけど。」

「学校で相談先が書かれているカードが配られたりするけど、いまいちピンとこない。身近な相談先になるのであれば、ここに来たい。」

「相談先として、電話番号が書かれている事が多い。**若い世代は電話が苦手な人も多いため、直接、窓口に行きたい**と思います。」

「私は文字に残るのが嫌なので、LINEやメールの相談には抵抗があります。直接窓口で相談したい。」

一概にオンライン相談が便利ということでもないのですね。ちょっと話が変わりますが、講座の申込でも電話だと抵抗があるものですか？

「結構、ハードル高い。」「躊躇するよね。」

「家に固定電話がない家も増えている。家族がみんな携帯持っているので、必要ないです。」

「電話に限定するのではなく、ネットとか窓口とか何パターンかあったほうがいいです。」

若い人向けの講座・イベントを実施する際には、募集手段から変えないといけないですね。

町田創造プロジェクト（ＭＳＰ）のご意見　2/2

生涯学習センター職員

Q. 今後重視すべき事業として「イベント」の実施を挙げている方が多いのですが、若い人たちから見て、具体的にどんなイベントがあればいいなと思いますか？

新生活応援・料理講座

「**４月から新たに一人暮らしする人向けの料理講座があれば、学生は利用すると思う。**今、料理できない子が多いので。」

「気軽に教わりたいので、講師は大学生とかボランティアの方が良い。」

「ちゃんとした料理を教わりたいのではなく、忙しい時パパッとできるものを。」

「いい感じの手抜きご飯がいいな。」

メイク講座・相談会

「**校則ではメイク禁止だったのに、社会に出たら化粧しないのはマナー違反になる風潮はきつい。**」

「校則違反して高校生から化粧を楽しんでいた子の方が、大人になると評価されるというのは不条理。なんで学校で禁止していたのか分からない。」

「専門学校は就活まで時間がないから、メイクで苦しんでいる子はとくに多いです。」

「**講座でもいいけど、先輩に気軽に聞ける場が欲しい。**」

中高生の関心を惹くなら、どういうイベントを企画したらいい？

児童青少年課
MSP担当職員

MSPも今、仲間を増やしたいという思いがあってイベントを企画しています。どんなイベントが中高生の関心を惹くのかについて、以前メンバーで話したことがあります。

「生涯学習センターで活動されている**ガクマチなどの大学生に、進路相談や大学生活の様子を聞けるようなイベントをしたい**と考えています。」

「今、話のあった料理とかもそこから出た話です。**改まった形ではなくざっくばらんに聞ける場を設けた方がいい**です。」

なるほど。今の若い人って、縦のつながりってあまりないのでしょうか？

「ない。サークルに入らない子もいる。」

「今年は入学しても、コロナでほとんど学校に行けていないので、先輩は２人しか知らない。」

「MSPの活動をとおしてガクマチの大学生の方々と知り合えたので、**せっかくだったらその繋がりを深めたいよねという話をしています**。」

「私達だけでなく、中高生は大学生の話に興味があると思います。大学のどの学部に行こうとか。身近な先輩だけでなく、色んな人から話が聞けたら魅力的。」

「**子どもセンターは１９歳で切られちゃうので、そういうことを集まって話せるところがない。**」

「**学校で教えてくれないけど、社会人に必要なことは多いので、そういうことを聞ける場がほしい。**一人暮らしやパソコンの使い方、化粧はその一例。」

「税金の納め方とか。いきなり納めてね』ってなる」

「正直、大人に期待が持てない。日本が保守的で遅れている面だと思う。」

「**人として生きていくために必要なことは学校で教えてもらえず、放り出されている。学校で真面目にやってた子ほど、ギャップに苦しんでいる。**」

例えば新成人講座ということで税金や料理、一人暮らし、メイクの話がパックになっていたら需要はありますか？

「講座があれば嬉しいけど、気軽に先輩に聞ける場もほしい。」

②さがまち学生Club

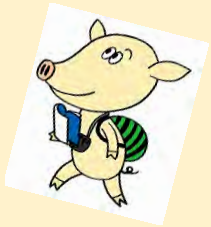
さがまち学生Clubとは？

さがまち学生Clubは「学生のチカラでまちを盛り上げる」をコンセプトに、相模原・町田地域の学生が地域の活性化及びまちづくりに繋がる活動を企画・実施していく学生主導型体験プロジェクトです。

さがまちコンソーシアム加盟大学の学生、相模原・町田エリアに在住の大学生で構成されています。

※WS参加者…5名（大学１年生1名、3年生2名、4年生2名）
うち町田市在住2名

ワークショップの概要



1．アイスブレイク＆自己紹介
「生涯学習センターってどんなところだと思いますか？
漢字一文字で書いてみてください」

2．質問①
「大学生から見た生涯学習センターの良い・悪いところって？」

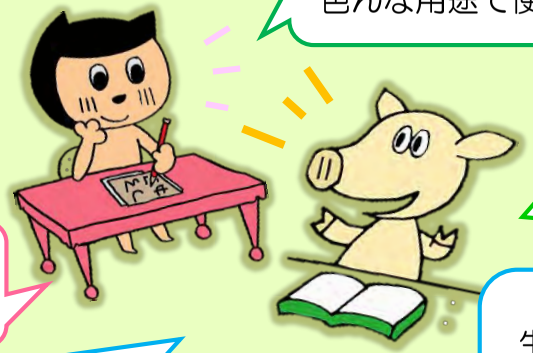
3．質問②
「あなたが生涯学習センターでやりたいことは何ですか？」

さがまち学生Clubの皆さんに聞いた生涯学習センターの印象

～漢字一文字で～

「親」です。
私は、「生涯」という言葉から「寄り添う」という言葉を思い浮かべました。
「親しい関係で学んでいく」イメージで「親」という漢字を書きました。

「混」です。
混沌としているイメージで、色んなことが行われている、色んな団体が、色んな用途で使っているということから「混」という漢字を書きました。



私は生まれも育ちも町田市ですが、利用経験は1回程度です 。高校の時、友人が自習やテスト勉強の時に使っているというのは聞いていて、「あるんだ」ということは知っていました。

私は大学1年生なので、コロナウィルスの影響もあり一度も行ったことがありません。

「楽」という漢字を書きました。
生涯学習センターはさがまち学生clubの活動で利用させていただくとともに、「学生活動報告会ガクマチEXPO」も参加させていただいています。楽しいイベントが多く、たくさんの方が盛り上がって楽しんでいるイメージがあります。

さがまち学生clubの活動で3年間、和室を利用させてもらいました。

さがまち学生Club のご意見　1/2

Q. 大学生から見た、生涯学習センターの良いところ、悪いところって何ですか？

生涯学習センター職員

良いところ

「**1つの場所で色んなことができるところ**です。思っていた以上に、色んなことを行っていて、色んな場所もあり、活用方法も色々と考えられると思うのでもっと認知度があっても良いのでは？と思います。」

「**色々な方々に学習機会の提供をしている点**が良いと思います。」

「**市民大学です**。私の大学でも外部や非常勤の先生の朗読講座などを市民の方が受けていると聞いたことがあり、『面白そうだな』と思っていました。**様々な環境の方が学べるのはいいなと思いました。**」

「**自由に使えるテーブルとイスがあるところ**。高校生等も勉強で使っているので、ファーストフード店などで勉強するより勉強がはかどりそう。」

「**駅近で行きやすいところ**」

悪いところ

「**認知度が低いところ**。私の地元では、地域のお祭りの練習場として使用している公共施設があり、多くの方に知られていて活用されています。市民がイベントやお祭りに参加する際の練習場などとして、もっと活用してもらうと良いのでは。」

「**高齢者向けのイベント等多く、若い人たちが参加できるイベントが少ない印象**を受けました。」

「**もっと色んな方と出会える、つながれる機会があれば良いのにと思いました**。先日の『学生活動報告会ガクマチEXPO』では、他大学の学生と興味をもっているボランティアのことでつながることができました。イベントやお祭りなどでも良いので、つながれるきっかけがもっとあると嬉しい。」

「21時になると『早く終われ、片付けろ』と必ず来るおじさん（管理員）が怖いと思った。」

「**公共施設感があって、『シーン』と静まり返っているところ**。若い人にはハードルが高いと思うので、もう少しわいわいしていたら気軽に入れるかも。」

Q. 生涯学習センターは利用者の70%が60歳以上です。何をやったら若い人が来てくれますか？

「**部屋の予約を初めてでも電話やインターネットで出来ると良い**。町田市周辺には美術大学も多く、活動する場所を必要としているクリエーターやミュージシャンも多いと思います。若者にも制作スペースやレコーディングスタジオの一環として使用できることをPRすると良いのでは。」

「リモートワークやオンライン授業では、自宅のWi-Fi環境が悪かったり、気分転換に場所を変えたい人もいると思うので、**電源とWi-Fiがあれば若者も使いやすい。Wi-Fi、電源、カフェ、長居できることが条件**だと思います。」

「HPは生涯学習センターの中が見えづらい上に、固いイメージで怖そうと感じた。**ポップに見える化することが必要**。」

「YouTubeやインスタグラムで発信されていると、ついついマネしたくなります。例えば、町田市で活躍している商店街の方やお店の方などが**生涯学習センターを使ってみた感想を発信**したり、自習スペースを使って勉強をしている学生に**突撃インタビュー**すると良いのでは。」

「私は町一中出身ですが、近隣の中学の子を含め友達は生涯学習センターを知りませんでした。学校の前にあるさるびあ図書館でみんな勉強していました。**中学生、高校生に知ってもらえれば、大学生になっても勉強などで使ってもらえると思います。**」

さがまち学生Club のご意見　2/2

Q. 中学生、高校生、大学生には、どうやって情報発信すると効果的ですか？

生涯学習センター職員

「見るか見ないかわからない何かの媒体で宣伝するより、**学校でプリントを配布したほうが効果がある**と思います。

「小さい子どもから小中学生と思うと、YouTubeが効果的だと思います。**子どもたちは、動画の方が記憶に残ると思います**。」

「生涯学習センターのTwitterは、フォローしている人やフォロワーが町田の学生団体や大学、施設やメディアであったりと双方向的なつながりが強いと思うので、**生涯学習センターの中がどういった様子なのかも発信していくと、フォローしている方を通して地域の方に届いていくと思う。**私も、さがまち学生clubを知ったきっかけは大学からのメールだったので、特定の地域の小・中学生、高校生であれば、**SNSより学校を通じたアクションのほうが比較的すぐに届くのでは**と思います。
学校を通じたアクションで知って、その後の２回目のコネクションとしてホームページやTwitterが効果的だと思います。そのホームページ、Twitter上に中の様子がわかるコンテンツがあるとわかりやすいと思います。」

あなたが生涯学習センターでやりたいことは何ですか？

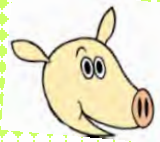
「**日常的には学習スペース**として活用したいです。**休日は、学生団体や地域の方との新たな交流の場として、イベントなどで活用**したいです。」

「私も**学習スペースとして使いたい**です。
また、カフェテリア（公民館喫茶）があることを今日初めて知ったので、ぜひ利用してみたいです。おいしいご飯や名物があると、行ってみたくなると思います。」

「『学びの場』『勉強できる場』にプラスして、コロナ禍であるからこそ、**生涯学習センターは『出会いが生まれる場』であって欲しい**と思いました。休日に若い人も参加できるイベントとして、例えばお笑い芸人のライブや、町田ゼルビアを応援するイベントなどを実施すると良いのでは。**その場に集い、町田市の方々が一つにつながれると良い**と思いました。」

「**『苦手なことを得意に！』**。私は絵が苦手で人にお見せできないレベルですが、アニメを見るのが好きです。町田にもコロナ禍で頑張ってかっこいい漫画を描いている方や面白い記事を書いているクリエーターがいると思うので、**絵や文章が苦手な子向けのコラボ企画**をすると良いのではないかと考えました。生涯学習センターに訪れて貰えるし、クリエーターの方たちの支援にもつながると思いました。」

「私はカードゲームやTRPGなどのアナログゲームが好きなのですが、ゲームを買っても友達は付いてこないので、人が集まらないと遊ぶことができません。そのため、ゲームカフェのような、皆でゲームができるイベントがあれば行きたいと思います。**友達がいなくても、一緒にやらなくてはできないものができる空間になると良いと思いました。**」



意見に出たような若者が集まれるイベントを、さがまち学生clubが企画して実施するということも、今後あり得そうですね。

さがまちコンソーシアム職員

③へりぽーと

へりぽーととは？

「ひとりの『だったらいいな』を地域のうれしいに変える」を理念のもと、町田市相原町を中心に活動している学生団体です。
「よりみち広場」（相原町）での地域の居場所づくりをはじめ、イベント企画・運営や協力など地域に根差した活動を行っています。

法政大学と神奈川大学の学生、卒業生で構成されています。

※ＷＳ参加者…大学4年生3名、新社会人3名（うち、町田市在勤1名）

ワークショップの概要

1．アイスブレイク＆自己紹介
「生涯学習センターってどんなところだと思いますか？

2．質問①
「どんな事業だったら参加したいと思いますか？
また、関わりたいと思いますか？」

3．意見交換
大学生・若者目線の生涯学習センターのニーズを探る

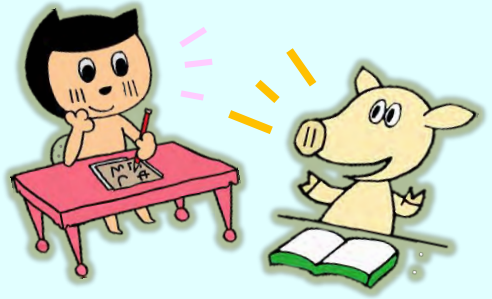
へりぽーとの皆さんに聞いた生涯学習センターの印象

駅から近く、使いやすい場所にある印象です。
次回のへりぽーとの活動は、市民文学館ことばらんどを利用しますが、やはり生涯学習センターの近さには敵わないと思います。

「地域の活動拠点」です。地域で活動されている方の居場所で、そこから色々なところに広がっているのがすごいなあと感じています。
「まこちゃん教室」でもお世話になっています。活動中もピアノの音が聴こえてきたり、ダンスをやっている方がいたりするので、いろんな活動で利用されているのだろうなあと感じています。

学生活動報告会ガクマチEXPOくらいでしかまだ関わりがないので、**色んなイベントを行っている施設**のイメージです。

町田市だけではないですが、**公共施設全般で年代の偏りを感じます**。私は生涯学習センターや市民講座などが好きで利用もしていますが、同世代で利用している人はいないので、「珍しい」とか「変わっている」と周りから言われます。



人と人が繋がるきっかけになる場所そのものであり、**明るくポジティブな印象**が生涯学習センターだと感じました

人が集まる場というイメージ。フリースペースで遊ぶ小学生や勉強している高校生、僕らみたいにイベントをやる人、高齢者の方など、いろんな方が集まっている場だと感じる。

へりぽーとのご意見　1/3

生涯学習センター職員

Q. 生涯学習センターがどんな事業だったら参加したいと思いますか？
また、関わりたいと思いますか？

「僕が生涯学習センターを知ったきっかけは、大学３年生の時、同じ団体の学生に『学生活動報告会ガクマチEXPOの学生会議に参加しないか』と誘われたことです。**若者の参加を促すには、なにかきっかけがなければいけない**と思います。

僕の地元（横浜市鶴見区）にある図書館と学習センターの複合施設では、一面にズラーっと机といすがたくさん並べてあるので、勉強している人や絵本を読む子ども、自由にカードゲームをして楽しんでいる子どもなど様々です。

町田市生涯学習センターは駅近のため、立地としては恵まれている。公共施設なので『お金がかからずに利用できるスペース」があるのは一つの魅力だと思います。」

「お金がかからない」というのは魅力なのですね。場所を借りるのではなく、ふらっと自由に来て、利用できる場というのが良いのでしょうか。

「ヘビーユーザーではなく**ミドルユーザーを増やすのであれば、きっかけを作るアイデアとして、気軽に来て自由に使えるスペースは有効**だと思いました。」

「**大学生を取り込みたいのであれば、その手前の年代層から認知度を高める必要があります。高校生であれば、勉強ができる場所を充実させるのは良いと思いました。**私の高校時代は、21時まで開いている図書館をテスト前頻繁に使っていました。中にはフードコードを利用していた友人も。生涯学習センターは広くて静かな環境なので、需要があると思います。」

「フリースペースの充実です。法政大学はアクセスが悪く、必ずしもキャンパスの設備を必要としない文系の専攻であったため、ゼミのメンバー全員にとって好アクセスの集まれる場所があれば良いのにと感じていました。生涯学習センターは駅近ですが、Wi-Fi環境や打合せスペースがないため候補には挙がりづらい。個人学習ができることも大切ですが、**大学生なら数人で打合せできるスペースがあったらヘビーユーザーになると思います。**」

「生涯学習センター主催で、**地域を知ることができる交流会のようなイベントを実施してほしい**です。社会人になり知らない土地に移り住んできて、職場内の人間関係だけではおもしろくないと感じており、**知り合いや友達を作るきっかけが欲しい**と思っています。大学生でも社会人でも地域に移り住んだ人が「町田はこんなカフェがあってオススメですよ」等を知ることが出来て、**参加をきっかけに地域の人とつながれるようなイベントがあれば参加したい**です。」

「**若者向けの『お金の講座』**。社会人としてお給料をいただいて生活していくため、キャリアを考えていく上での貯め方や使い方などを知ることができる講座があれば人が集まると思います。」

「**『若者が使える地域支援講座』**も必要。行政の制度や支援、サービスなど意外と知られていないけど活用できるものがあるので、需要があると思います。」

「**『若い人お帰りなさいパーティー』**を実施すると良いのでは。八王子市では、定年退職したお父さんを対象とした地域デビュー講座『お父さんお帰りなさいパーティー』という催しがあります。

町田市には大学も多く地域活動している学生もたくさんいるが、**一度就職すると忙しくてなかなか戻って来られない**。同窓会的なノリで若い人が戻ってくる日を設けた上で、**仕事をしながら自分のペースで続けられる活動や団体、催しの紹介をすることで地域活動や生涯学習センターへの来館に結びつくのでは、**と思いました。結局、**どの世代もそうですが、若い人もつながりや仕事以外の居場所を求めていると思います。**」

「私にとっては知っている人が（コミュニティーに）いるかどうかが大事なので、**『市民サークルの人や職員さんと知り合うきっかけづくり』が重要**。イベントや講座の内容にかかわらず、知っている人がいるだけで参加のハードルがだいぶ下がると思います。」

へりぽーとのご意見　2/3

「まこちゃん教室」では会場として生涯学習センターを利用していただいてますが、利用してみていかがですか。

「調理実習室を利用していましたが、適度な広さなので班に分かれた学習もやりやすかったです。また、生涯学習センターは和室があることが大きいと思います。他の部屋とは別のイメージのイベントもできますし、大きなホールなどもあり各部屋の個性があるので、その分他の施設と差別化が可能ではないでしょうか。」

「畳とふすまの醸し出す雰囲気や、平場なので皆で会場を作っていく良さもあると思います」

「地域との関係性」がここまでのキーワードですね。若い皆さんから見て、地域のこういう人たちとつながりたいという要望はありますか？
また、どういう方向の交流系のイベントにすれば、若い方にとって魅力が増すのか？ということを教えてください。

「個人的な意見ですが、世代間の交流をやみくもに求めているのではなく、**同じ価値観を持った人たちとつながりたいと思っています**。

私は地域活動が好きなので、**イベントをとおして似たような考え方や行動ができる方に出会える、つながれると思って参加しています**。」

「**私は世代間の交流というよりは、同世代、地元の高校生とつながりたいです**。私は高校から他市の学校に通っていたため、大学に入ったらもう一度地元でつながりや関係が作りたいと思い、地域活動を始めました。地元の高校生が集まれる場所という認識が伝われば、「ちょっと話したいな」と気軽に来館してもらえるのでは。」

「**『地域のつながりって難しいな』と感じています**。大学入学と同時に上京し、団体活動やボランティアをとおして町田市とつながることはありますが、近所のつながりはほとんどありません。**同じ若い世代が集まる場があれば、また違ったコミュニティーができてすごく良い**と思います。」

「私も**同世代（10代、20代）か30代くらいまでの方とつながりたい**と思います。へりぽーとの活動経験から言うと、地域で活動しているアクティブシニアの方たちとつながるのはそれほど難しいことではありません。一方、若い人たちはどこかにいるはずですが、地域にはいないと感じます。他の地域でも同様の悩みを聞くので、若い人の傾向なのだと思います。しかし、**地域のために活動したいと考えている若者はもっといるはずなので、だからこそつながりたい、会いたいと思います**。その方法をこれから考えます！といった感じです。」

それは、良い種になりそうですよね。例えば、ガクマチEXPO開催をきっかけに、地域に対する思いをもって活動している若者グループから問い合わせを頂くことがあります。地域で活動している若者同士がつながるきっかけが何かあると良いのだろうと感じました。

相模原市や多摩市などでも若者会議やグループがあると聞いています。
他市や近隣地域の若者グループとつながってみたいという想いはありますか？

「活動自体は知ってみたいとは感じます。」

他市や近隣地域の若者グループというよりも、町田市内で活動している若者グループとつながってみたいということでしょうか。

「**若者にこだわって若者コミュニティーを作りたいわけではないので、周辺で同じような活動（地域活動）をしている人に出会いたいという思いです**。でも、自分たちが町田で活動するための勉強になるので、活動の参考にするのであれは全国どこでも良いです。」

「他市のグループと集まるとなると、世代で集まるというよりも、距離がある分、なにかの目的がないと集まらないと思います。**価値観が同じという共通点があれば、どんな世代でもぜひ出会いたい**と思います。」

「**生涯学習センターで若者が関われる企画は、“アウトプットもの”がすごく多いので、他市の地域活動を知るとか、若者が学んだりする企画もあると良い**と思います。
ガクマチEXPOに大学4年間関わってきましたが、他を見て勉強するような機会がないと、マンネリ化するし、これ以上の発展は難しいと感じる。」

「団体のチームビルディングを学ぶとか、面白いイベント作りのコツとか、**学生団体が好きそうな為になる講座や勉強会があっても良い**と思います。」

「学生団体が取れる助成金についてとか…。」

「大人の人と話すコツ講座とか、行政の人とこうやって話すと良いとか…」

へりぽーとのご意見　3/3

生涯学習センターで学ぶことで、受講した学生さんが地域で展開することができるものが良いということですね。

「**アウトプットできる学生はすごくエネルギーがある学生だと思いますが、そういう学生は少ないと思います。インプット講座があれば、ヘビーユーザーが増えると思います**。」

先日の学生活動報告会ガクマチEXPOでは、学生同士の横のつながりやOB・OGや上下（高校生、大学生）のつながり、交流の要望もありましたね。その辺りの要望も聞かせてください。

「自分がやってきた学生の活動にOB・OGたちが入るというのは、卒業生も後輩も気を遣うと思うので、**OB・OGとして後輩の活動を見守る立場で参加するのなら良いと思います**。OB・OGは一定の能力を持った人たちだと思うので、**講座で教える側になるのも良い**と思う。」

へりぽーとは今のメンバーが立ち上げたので、OB・OGの方がいない環境だったと思います。参考にしていた人やものはありますか。

「メンバーみんなが、以前から団体やボランティアセンター等に入って活動していたので、それぞれの持ち寄りで企画を進めていきました。ほとんどが経験を活かせることや、学生同士の横のつながりを作って得意な学生団体にやってもらうなどだったと思います。**私たちの場合は、『よりみち広場』に関わる地域の方に『やってみたいのですが、どうでしょうか？』と相談しながら進めています。**コロナ禍で『よりみち郵便』を企画したときも、アイデアだけの私たちに、地域の方がたくさん知恵を貸してくれました。

先ほどの話で言うと、つながりは横も縦もどちらも欲しいと思います。ガクマチEXPOでは、卒業した先輩方を今でもすごく頼りにしています。**それぞれが専門知識を持っていて、自分よりもいろんなことを知っていて、それらを色々教えてもらいながら一緒に活動してくれると本当に頼りになりますし、そんな関係が築けるのはとても素晴らしいことだと思います**。一方で後輩にも色々頼みますが、**自分ができない分野の活動をバンバンやってくれる存在は刺激になります**。

横のつながりで『これだけ活動している学生の団体がいるんだ』ということが分かるのはすごく励みになります。**横も縦も、どちらの関係も大事だと思います**。」

生活動報告会ガクマチEXPOには、社会人になった卒業生のほか、昨年度からは高校生団体も関わっているため、従来のイベントから少し広がってきていると感じています。先ほど「地域活動の若者ネットワーク」的なものがないというお話にもありましたが、ガクマチEXPOを拡充することでその役割を担うという道もあると思います。一方で、学生がメインで行い、新陳代謝を図っていく方向性ももちろんあります。

皆さんの感覚としては、「地域活動の若者ネットワーク」的なものは、ガクマチEXPOとは別にあったほうが活動しやすいのでしょうか？

「ガクマチEXPOの拡充が「地域活動の若者ネットワーク」的なものになるとは考えていませんでした。ガクマチEXPOでは地域とつながる＝上の世代の人たちとつながる場所というイメージがあって、その方たちとつながるきっかけであるステップアップと考えていました。」

「ガクマチEXPOは昨年度で何回目でしたか。」

ガクマチEXPOは、3月で8回目となります。

「その積み重ねの賜物ですよね。**続けてきたからこそ、OB・OGとの関わりなどが持てるのだと思います**。もし、生涯学習センターで若者ネットワークをつくるのであれば、別組織をつくる必要はないと思います。ただし、**ガクマチEXPOはイベントとして、今まで通り現役生メインにしたほうが良い**とは思います。自分が現役生なら、あまりにもOB・OGが多すぎるのはやりづらいです。『俺らのときはこうだったんだけどさ～』とか…ちょっとつらいと思います。

現役生メインというのは守りつつ、ネットワークをつくるのであれば、そこに卒業生が関わっていくというのは良いと思います。」

若者グループ『MSP』も、高校生団体なのでサイクルが早く、半数以上が卒業生となっている状況です。**団体を立ち上げた方たちはかなりエネルギーを持っており、そういった方たちが地域からフェードアウトしてしまうのがすごくもったいないと考えています**。一方で、組織の新陳代謝も図っていく必要があります。とくに若い方を対象にする場合、行政では「子ども」「学生」というように年齢や所属母体で切ってしまうところがあるので、**継続して関係性が持てる何かが必要**という思いが個人的にはありました。

その“何か”が、どういう形であれば、団体の皆さんにとって参加しやすいのかご意見をたくさん頂けて、大変参考になりました。本日は、ありがとうございました！

学生活動報告会「ガクマチEXPO」とは？

2020年度オンラインイベントポスター

町田で活躍する学生が企画・運営する
地域連携・活性化イベントのことだよ！

市では、学習活動の支援として、町田市や近隣地域で活動する若者がより多くの方に学習成果を発表する機会の提供を行っています。

この一環として、大学と地域の連携・協働により様々な事業を展開する「公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム（通称：さがまちコンソーシアム）」と協働し、学生活動報告会『ガクマチEXPO』を開催しています。

『ガクマチEXPO』は、各地域で地域連携活動を行う学生団体が、学習や活動の成果を周知することで、地域活動の促進や新たな連携、さらなる地域活性化を目指します。また、学生が主体となってイベントを企画・運営することで、地域への情報発信や地域住民との関わり方を学びます。

町田市生涯学習センターのあり方見直し方針

２０２２年２月発行

発　　行　　町田市教育委員会生涯学習部生涯学習センター
〒194-0013　町田市原町田 6-8-1
電話　042-728-0071
刊行物番号　　２１－７６
印　　刷　　庁内印刷